

平成25年度
あきる野市環境白書



あきる野市

目次

はじめに	1
環境白書作成の背景	1
環境白書の構成	2
第1章 あきる野市の環境の現状	3
1 自然環境分野	3
2 生活環境分野	9
3 エネルギー環境分野	13
4 人の活動分野	20
第2章 環境基本計画の施策の進捗状況	25
1 環境基本計画とは	25
2 施策進捗状況評価	27
3 あきる野市環境委員会からの意見	51
資料編	
1 施策の進捗状況調査結果	55
2 「関連指標」の評価一覧	88
3 環境調査結果	90
4 放射線・放射性物質測定結果	93

はじめに

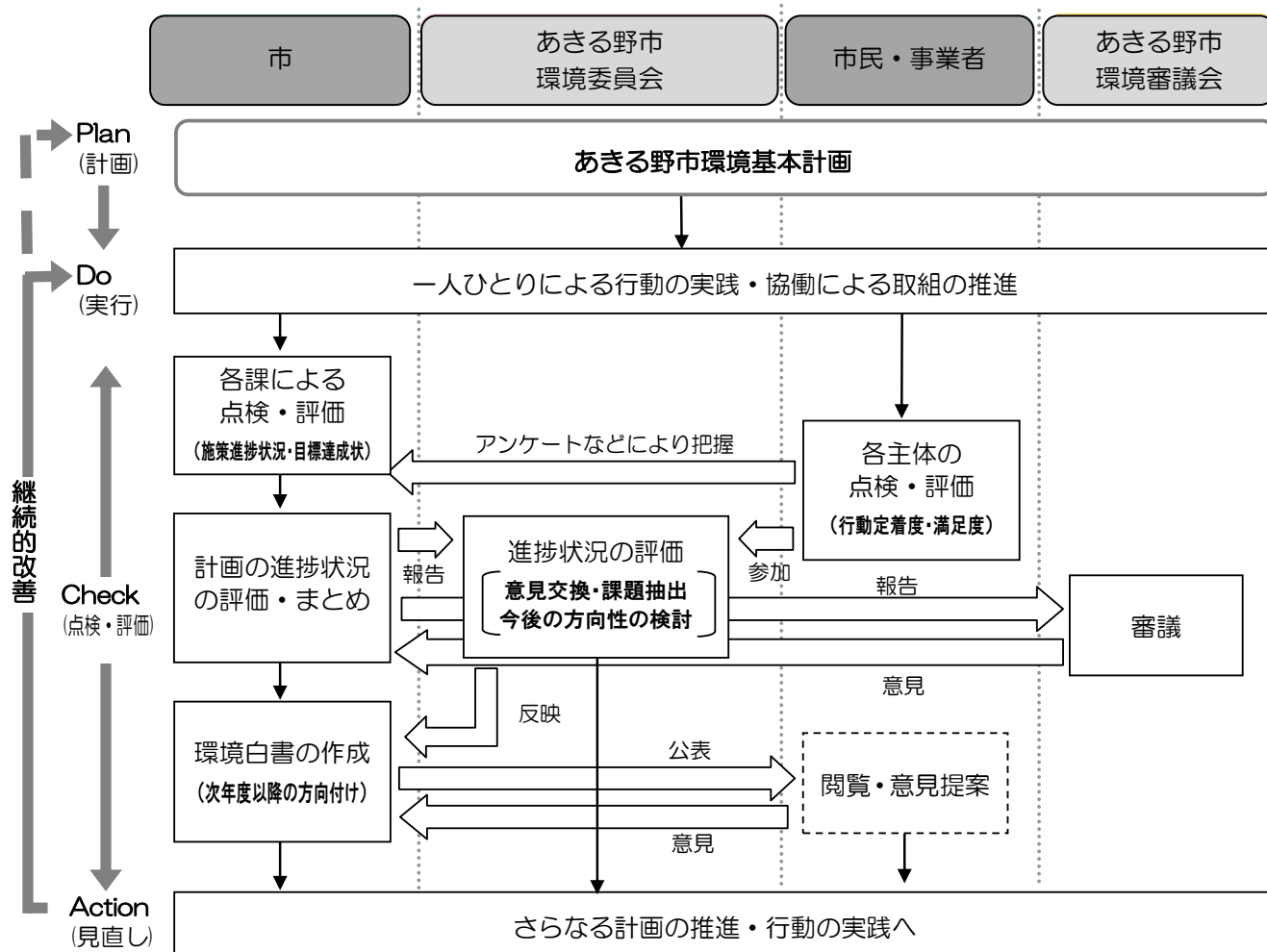
環境白書作成の背景

あきる野市では、平成 16 年 3 月に環境の保全、回復及び創造に関する基本理念を定め、市民・事業者・市の三者それぞれの責務や協働の責務等を定めた『あきる野市環境基本条例』を制定し、さらに同条例に基づき、平成 18 年 3 月に『あきる野市環境基本計画』（以下「環境基本計画」といいます。）を策定しました。平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行いました。

本書は、あきる野市の環境に関する現状及び環境基本計画で定めた施策の取組状況をとりまとめ、本市の環境行政の進捗状況を確認するとともに、今後の課題を把握することを目的としています。

また、環境基本計画（Plan）がどのように実行（Do）されたかを点検・評価（Check）した状況をまとめており、今後、環境基本計画のさらなる推進・行動の実践のために行う見直し（Action）のための資料として活用していきます。

●環境基本計画の進行管理の流れと役割



環境白書の構成

本書は、次の 2 章から構成され、平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月までの取組状況を中心にまとめています。

■第 1 章 あきる野市の環境の現状

あきる野市の自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野ごとの現状についてまとめています。

■第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

環境基本計画に掲げられている施策の進捗状況について報告しています。

■資料編

※組織名の表記について

本書は、平成 25 年度の報告であるため、平成 25 年度時点での体制で表記しています。

第1章 あきる野市の環境の現状

あきる野市は、都心から40～50km圏に位置し、秋川と平井川の二つの川を軸として、比較的緩やかな秋川丘陵・草花丘陵に囲まれる平坦部と、奥多摩の山々に連なる山間部から形成されています。平坦部は秋留台地からなり、南に秋川、北に平井川が流れ、市街地は二つの川沿いに形成しています。

本市は、市域の面積（7,334ha）の約6割を森林が占めており、多摩地域でも豊かな自然が残っています。その一方で、農地は年々減少を続け、宅地が増加傾向にあります。

本章では、あきる野市の環境の現状について、市が実施した環境調査結果を掲載するとともに、各分野（自然環境分野、生活環境分野、エネルギー環境分野、人の活動分野）の取組について概説します。

1 自然環境分野

1-1 自然環境調査

市内の森林や雑木林、農地などにおいては、生産価値の低下、林業・農業関係者の高齢化・後継者不足などの様々な要因によって、適正な維持管理が十分に行われていない状況にあります。

市では、市域の自然環境の状況を把握し、自然環境の保全すべき地域の設定や保全策の検討を行うため、平成21年度から市内の自然に専門的な知識を有する方や多くの市民の協力のもと、自然環境調査を実施しています。初めの3年間（平成21年度から平成23年度まで）の調査結果については、「あきる野市自然環境調査報告書（平成21年度～23年度）」としてとりまとめ、市内図書館やホームページでご覧いただくことができます。また、あきる野の自然環境を身近に感じてもらうため、リーフレット「知って守ろうあきる野の自然」で調査結果の一部を紹介しています。



<あきる野市自然環境調査報告書 平成21年度～23年度>

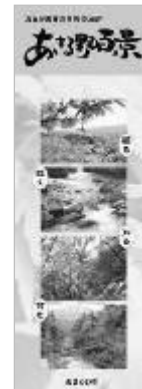


<リーフレット「知って守ろうあきる野の自然」>

1-2 あきる野百景の周知・活用

本市にとって自慢となる、未来の子どもたちに残したい「おらがまちの自慢の場所」として選定した「あきる野百景」（平成 21 年度決定）を広く市民に周知するため、リーフレットを作成し、配布しています。

また、「あきる野百景」を中心に、指定文化財や花の名所、里山などをめぐりながら、地域の良さを再発見し、郷土愛を育てていくことや健康づくりを目的とした「みんなで歩くあきる野百景めぐりマップ」を発行し、配布を行っています。これらは、市民の方はもとより、市外からの観光客の方々にも活用していただける内容となっています。



<リーフレット「あきる野百景」>



<あきる野百景めぐりマップ>



1-3 郷土の恵みの森づくり事業

1) 森づくり

郷土の恵みの森構想では、地域との協働の森づくりを進めています。昔道や尾根道の補修、景観の整備などは町内会・自治会が主体となって取り組んでいます。また、森林レンジャーあきる野による様々なイベントなども行われ、郷土の恵みの森事業の持続的な展開に必要な財源を確保するために「郷土の恵みの森づくり事業基金」も創設しています。

事業名	事業数	参加団体
昔道・尾根道補修等事業	10 事業	8 町内会・自治会
景観整備事業	10 事業	8 自治会

2) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成 22 年 5 月から専門知識をもつ 4 人による「森林レンジャーあきる野」を組織しています。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施しています。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修を行うとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木といった地域資源の掘り起こしなども行っています。さらに地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源のもつ魅力を市内外に向けて発信しています。



<倒木処理の様子>

3) 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民などによる「森林サポートレンジャーあきる野」(平成 26 年 3 月末現在 120 人) が、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業や森づくりイベントなどの支援を行っています。平成 25 年度は、15 回の活動が行われ、延べ 121 人が参加しました。



<景観整備の様子>

4) 森の子コレンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継ぎ、郷土愛を持った人材を育てることを目的に、森の子コレンジャーを組織し、1 年を通して活動をしています。平成 25 年度は、公募で募集した小学 4 年生から 6 年生までの 20 人が、12 回にわたり活動を行いました。



<レンジャー隊長から植樹の説明を受けるコレンジャー>



<ビオトープづくりの様子>

1-4 小宮ふるさと自然体験学校

小宮ふるさと自然体験学校は、平成 24 年 3 月 31 日をもって閉校となった小宮小学校を地域や自然環境に対する正確な知識と地域や自然を大切に思う気持ちを統合させた環境教育の推進を図る拠点施設とするため、平成 24 年 9 月 1 日に開校しました。自然体験学校では、市内外の学校や団体の体験事業などを実施しています。

利用形態	利用人数(H25.4~H26.3)
自然体験事業等	3,487 人
その他イベント等	2,697 人



<体験活動の様子>

1-5 産学公連携による取組

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成 23 年 7 月 13 日「あきる野市、明星大学及び NEC フィールディング株式会社との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携し取組を進めています。また、協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成 23 年 8 月 8 日、菅生町内会、明星大学、NEC フィールディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさと森づくりセンター及びあきる野市を構成員とする「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置されました。平成 25 年度からは西多摩マウンテンバイク友の会が構成員として加わり、この協議会において、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討を行い、各種事業を実施しています。

また、菅生若宮子ども体験の森の管理については、平成 24 年度までは地元町内会長等によって組織された「菅生若宮子ども体験の森事業実行委員会」に業務委託していましたが、平成 25 年度からは「あきる野菅生の森づくり協議会」の事業に統合しました。



<ワークショップ(菅生大沢地区での草刈り)の様子>



<木こり講座の様子>

平成 25 年度に実施された事業は次のとおりです。

里地活性化事業	
人材育成	
・人材育成講座(農業)「あきる野のうぎょう塾」	12 回開催
農産物の特産化	
トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、ニガウリ、ブルーベリー、花ミョウガ、葉物やその他 13 品目の栽培、直売所等での販売を実施	
里山活性化事業	
菅生大沢地区の里山再生	
・ワークショップ(保全活動と育成)	4 回開催
自然環境教育	
・環境教育イベント 里山の学校 (ツリークライミング体験)	1 回開催
・環境教育講座 木こり講座	3 回開催
菅生若宮子ども体験の森の管理	
萌芽更新の実施(木こり講座での伐採)、伐採樹木を利用したシイタケ栽培	

1-6 秋川流域ジオパークの推進

秋川流域は、緑と清流に恵まれ、歴史と文化が育まれた大地の中に、古生代から新生代にかけての 8 つの地層がまとまった形で分布しています。それぞれの地層からは、ステゴドンゾウ(ミエゾウ)をはじめ、海や陸に生きた生物の化石が数多く発見されていることから化石の宝庫ともいえる全国でも有数な地域であり、これらの地質・地形の保存が求められています。

また、このような貴重な大地と自然、文化を活用して、観光や商業など地域の活性化を目指すため、秋川流域市町村が連携して「秋川流域ジオパーク推進会議」を設置し、日本ジオパークの認定に向けた取組を進めています。

平成 25 年度は、ジオサイトを案内するガイドを育成するため人材育成講座を開催するとともに、流域住民への周知を図るため、行政主催の各種イベントにブース出展し、取組の PR を行いました。また、推進会議委員の知識向上のため、先進地の視察を行いました。



<ヨルイチ(化石鑑定団)の様子>



<下仁田ジオパーク視察の様子>

平成 25 年度に実施された事業は次のとおりです。

・秋川流域ジオパーク推進会議	2 回開催
・人材育成講座	8 回開催
・視察研修	
先進地視察(下仁田ジオパーク、箱根ジオパーク)	2 回実施
流域のジオ資源の視察(日の出町内ジオサイト、あきる野市内ジオサイト)	2 回実施
・イベントへの参加(ヨルイチ(あきる野市)、日の出町産業まつり、あきる野市産業祭)	3 回実施

2 生活環境分野

2-1 環境調査

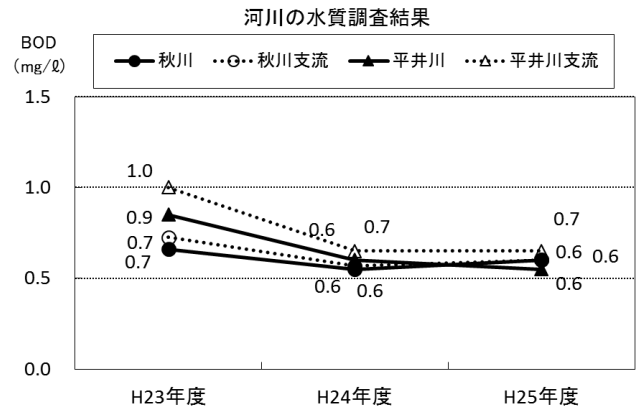
1) 河川の水質

市では、良好な生活環境を維持するために、市内18か所で、年4回の水質調査を実施しています。

水質汚濁の指標となるBODを見ると、秋川、秋川支流及び平井川は良好な水質を維持しています。また、平井川支流もわずかに値は高いものの良好な水質を維持しています。いずれの河川も平成25年度は環境基準を達成しています。

* BOD：生物化学的酸素要求量

水中の汚物を分解するため微生物が必要とする酸素の量。
値が大きいほど水質汚濁は著しいといえる。



データは、各河川の複数地点で年間4回（5・8・11・2月）実施している測定結果の平均値である。

河川環境基準

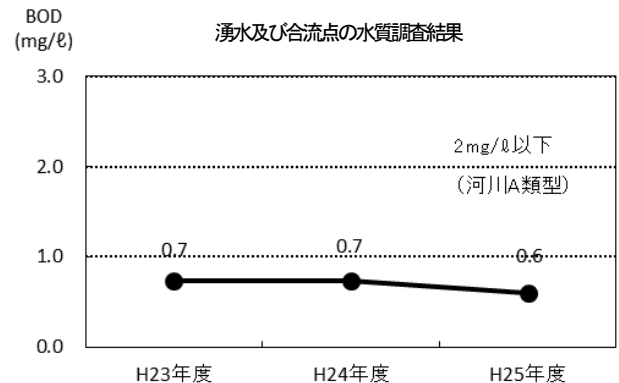
類型	河川名	環境基準
河川 AA 類型	秋川	1mg/l 以下
河川 A 類型	平井川	2mg/l 以下

2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質調査

本市は、河川沿いの崖線や秋留台地の縁の部分から湧水が流出しており、良好な自然環境を形成する大きな要素の一つとなっています。市では、年1回、湧水17か所、河川との合流点19か所で水質調査を実施しています。

各地点でのBODをみると、低い値を示しており、良好な水質が維持されています。

今後も引き続き良好な水質が維持されるよう監視を続けていきます。



データは、各地点で実施している測定結果の平均値である。

3) 地下水汚染調査

地下水は、身近な資源として利用されるだけでなく、環境を形成する上でも重要な要素の一つとなっています。

市では、市街地を概ね2キロメートル四方に区切り、その中の7か所（工場、事業所、住宅地近辺）の井戸水を採取し調査を行っています。

過去3年間、全ての地点において、環境基準を達成しており、良好な水質が維持されています。

なお、調査項目と環境基準は右表に示すとおりです。

地下水環境基準

調査項目	環境基準
トリクロロエチレン	0.03mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/l 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1mg/l 以下

4) 道路沿道調査

市では、市内の道路の4か所（国道411号線、都道166号線、五日市街道、睦橋通り）において騒音及び交通量を調査し、道路沿道環境の実態を把握しています。

調査結果では、要請限度を超過している場所はありませんが、今後、引き続き監視を続け、必要に応じて道路管理者等に騒音低減措置を要請していきます。

道路沿道調査結果

調査場所	*等価騒音レベル(dB)		*要請限度			交通量(台/10分)	
	昼間	夜間	*区域	昼間	夜間	昼間	夜間
国道411号線	71	67	b	75	70	171	38
都道166号線	68	63	a	75	70	130	26
五日市街道	66	58	c	75	70	100	33
睦橋通り	68	64	b	75	70	212	50

データは、平成25年10月7～8日に実施した市内4か所の調査結果である。

- * 等価騒音レベル：一定時間に測定された多数の騒音データを、エネルギー量で平均して何dBの騒音に相当するかを求めたものである。
- * 要請限度：環境省令で定める自動車騒音又は道路交通振動の限度。区市町村長は、要請限度を超えることにより道路周辺の生活環境が著しく損なわれると認めるときは、東京都公安委員会に対し措置をとることを要請できることになっている。
- * a 区域：第1・2種低層住居専用地域及び第1・2種中高層住居専用地域をいう。
- * b 区域：第1・2種住居地域、準住居地域及び用途地域の定めのない地域をいう。
- * c 区域：近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域をいう。

5) 大気中ダイオキシン類調査

ダイオキシン類は、工業的に製造する物質ではなく、ものの焼却の過程などで自然に生成される物質です。

市では、あきる野市役所、五日市出張所の屋上において年1回の測定を行っています。過去3年間の測定結果では、両地点とも環境基準を達成しています。

大気中ダイオキシン類調査結果

調査場所	測定結果(*pg-TEQ/m3)			環境基準
	H23年度	H24年度	H25年度	
あきる野市役所	0.011	0.010	0.0074	0.600
五日市出張所	0.011	0.010	0.0082	

- * pg：ピコグラム。1兆分の1グラム
- * TEQ：毒性の強さを加味したダイオキシン量の単位

6) 二酸化窒素調査

主要道路の交通量増加に伴う自動車の排気ガスの影響把握を目的として、年4回、市内22か所で測定しています。過去3年間の測定結果では、環境基準を達成しています。

二酸化窒素(NO₂)調査結果

測定結果(*ppm)			環境基準
H23年度	H24年度	H25年度	
0.015	0.015	0.016	0.040

データは、各道路で実施している測定結果の平均値である。

- * ppm：(parts per million)容積比や重量比を表す単位で、濃度や含有率を示す時に用い、100万分の1を1ppmという。例えばNO₂が1ppmとは、空気1m³中にNO₂が1cm³含まれる場合である。

7) 一般大気調査

浮遊粉じんは、大気中で気体のように長期間浮遊している粒子です。また、浮遊粉じんのうち粒径が $10\mu\text{m}$ 以下のものを浮遊粒子状物質といいます。

市では、市内 15 か所（平成 24 年度は、五日市出張所を除く 14 か所）について、浮遊粉じんの全体量を測定しています。浮遊粉じん量については、環境基準が設定されていないため、参考として浮遊粒子状物質の環境基準と比較しましたが、過去 3 年間の測定結果では、環境基準を達成しています。

浮遊粉じん調査結果

測定結果(mg/m^3)			(参考) 浮遊粒子状物質 環境基準
H23 年度	H24 年度	H25 年度	
0.0087	0.0458	0.0341	0.100

データは、各調査場所で実施している測定結果の平均値である。

8) 放射線・放射性物質の測定

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故を受け、市は、公共施設等の空間放射線測定、食品放射性物質検査を実施しています。

空間放射線については、現在月 1 回、市内 6 施設と山間部の 8 か所を定点として、測定を実施しています。

これらの測定ポイントで「あきる野市空間放射線測定等に関する基準（平成 23 年 11 月 24 日）」に示す毎時 0.23 マイクロシーベルト（追加被ばく線量年間 1 ミリシーベルト相当）を超える地点はありませんでした。

また、平成 23 年度に実施した市立小中学校・公園等、市民生活に関わる公共施設等の高い放射線量が予測されるポイント（233 施設 718 地点）の測定の結果、毎時 0.23 マイクロシーベルトを超え除染を実施した 28 施設 45 地点の内、25 施設 40 地点（3 施設 5 地点については、定点のため毎月測定を実施）について、経過観察のため再測定を継続しています。平成 25 年度は、11 月・12 月に測定を実施しましたが基準値を超える地点はありませんでした。

農産物等の放射性物質の検査は、原子力安全委員会の検査計画・品目・区域などの考え方に基づき、平成 23 年度から継続して、東京都が実施しています。また、小・中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材、秋川と五日市のファーマーズセンター及び瀬音の湯の直売所で販売される農産物など、消費者庁から貸与された計測器による、市独自の検査も継続しています。検査結果については、厚生労働省の定める基準値を超えるものではありませんでした。

市は、引き続き、空間放射線量の測定や食品等の放射性物質検査を実施し、広報及びホームページにて随時公表を行い、市民の皆様の安全安心に取り組んでいきます。

※市が実施した詳しい測定結果は、資料編に掲載しています。



<空間放射線測定の様子>

2-2 ごみ排出量

平成 25 年度のごみ総排出量は 23,337 トンで、前年度より約 164 トン減少しました。燃やせるごみについては、15,289 トンが排出されており、前年度より約 624 トン増加（+4.3%）しました。

1 人 1 日当たりのごみ排出量は 781 グラムでした。これは、全国の 963 グラム（平成 24 年度）*1 より少ないものの、都内 30 市町村（多摩地域）のうち排出量の多い順から 11 番目（昨年度 8 番目）に位置し、多摩地域の平均排出量である 732.2 グラム*2 を 49 グラムほど上回っています。

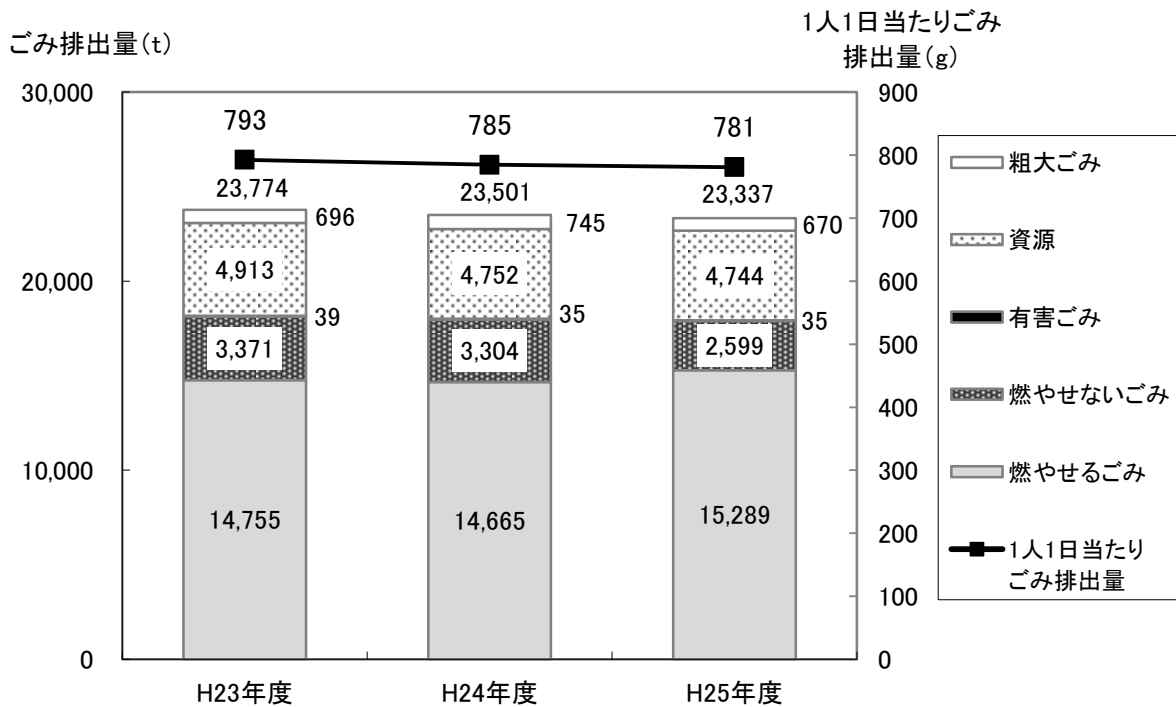
燃えやせるごみの増加については、本市から排出される一般廃棄物の焼却処理を行っている西秋川衛生組合において、熱回収施設の稼働（平成 26 年 4 月から本格稼働）に先立って行われた分別方法の見直しによると考えられます。

本市のごみには、庭の手入れなどに伴い発生する剪定枝や落ち葉などが比較的多く含まれることも考えられます。今後ごみの減量に向け、簡易包装の商品を選ぶ、ものは長く大切に使う、生ごみは捨てる前にひと搾りする、資源化できるものは資源として出すなど、生活の中で一人ひとりがごみを出さないようにすることが重要です。

*1 資料：一般廃棄物処理事業実態調査（環境省）

*2 資料：「多摩地域ごみ実態調査 平成 25 年度統計」（公益財団法人 東京市町村自治調査会）

ごみ排出量の推移



3 エネルギー環境分野

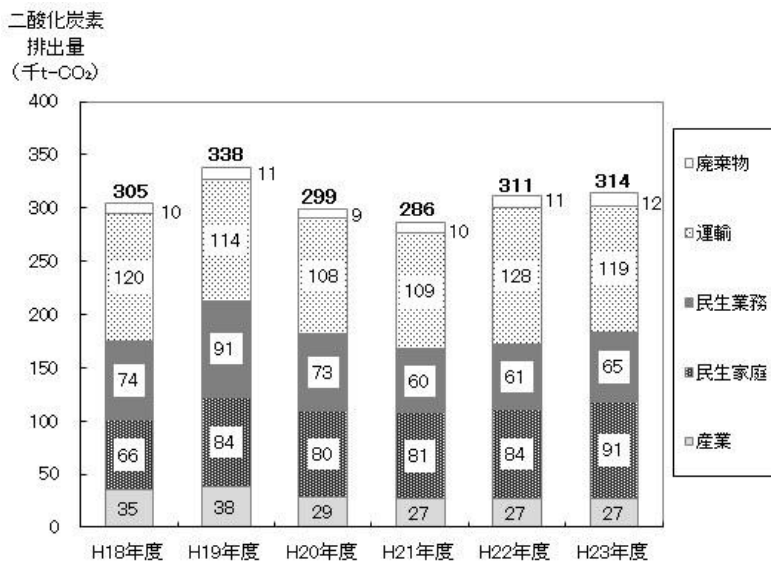
3-1 地球温暖化とあきる野市の温室効果ガス排出量

地球温暖化とは、大気中の二酸化炭素（CO₂）などの熱を吸収する性質のある「温室効果ガス」が、人間の経済活動などに伴って増加し、地球全体の気温が上昇する現象のことです。地球温暖化の進行により、異常気象や自然生態系、農業への影響などが懸念されています。

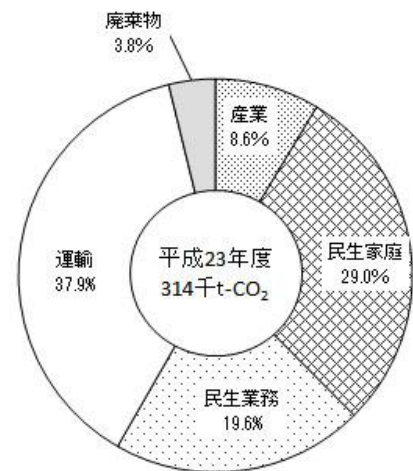
あきる野市の温室効果ガス排出量は、環境基本計画策定時（平成 17 年度）の 33 万 3 千トン CO₂ eq から平成 19 年度に一旦増加し、平成 20 年度、平成 21 年度と減少していましたが、平成 22 年度から増加し、平成 23 年度は 32 万 8 千トン CO₂ eq に増加しました。

また、温室効果ガス排出量の 96% を占める二酸化炭素については、平成 17 年度の約 32 万 4 千トン CO₂ から、平成 23 年度には約 31 万 4 千トン CO₂ へ減少しています。平成 23 年度の二酸化炭素の排出内訳は、運輸部門が 37.9% と最も多く、次いで民生家庭部門、民生業務部門となっています。

あきる野市における二酸化炭素排出量の推移



あきる野市における部門別二酸化炭素排出量の内訳



資料：「多摩地域の温室効果ガス排出量（1990 年度～2011 年度）」

（オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」）

3-2 市役所での地球温暖化対策の取組

市では、平成 13 年度から「あきる野市地球温暖化防止対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策の取組をはじめており、第一次計画、第二次計画を経て、平成 25 年度から第三次計画に取り組んでいます。

本計画では、第二次計画の期間中に指定管理者制度等に移行した施設（11 施設）を算定対象から除外するとともに、市が管理を行っている「ふるさと工房五日市」、節電対策の一つとして注目が集まっている「街路灯・防犯灯」を算定対象に加えています。

■あきる野市第三次地球温暖化防止対策実行計画

計画期間：平成 25 年度～平成 32 年度（8 年間）

基準排出量：4,935 トン CO₂

※平成 24 年度の排出量（4,846 トン CO₂）に単純見通し（小中学校おけるガスヒートポンプの導入など（+89 トン CO₂））を加えた値

計画目標：平成 32 年度における温室効果ガス排出量を 4,480 トン CO₂ 以下とする。

※東日本大震災以降、電力の排出係数の上昇により増加した分を削減し、震災前の水準以下とすることを目途とし、平成 22 年度の温室効果ガス排出量を基準に算定した。

算定方法：当該年度の排出係数（変動値）を用いて算定する。

※取組の成果を把握するため、基準年度（平成 24 年度）と同様の排出係数を用いた算定も行う。

取組内容：本計画における重点的な取組

- 街路灯・防犯灯における地球温暖化対策の推進
- 燃料使用量の削減による地球温暖化対策の推進
- 緑の活用による地球温暖化対策の推進
- 地球温暖化対策の発信と周知の推進

温室効果ガス排出量の推移

	年 度	H24	H25	目標値 (H32)
第三次計画	総排出量 (トン CO ₂)	4,846	4,903	4,480 以下
			4,850	

※平成 25 年度の値は、集計の速報値であるため、最終的な「温室効果ガス排出量等集計結果報告書」の値と異なる可能性があります。排出量の下段は、基準年度と同様の排出係数を用いて算定した参考値です。

推移のとおり、平成 25 年度の温室効果ガス排出量は、目標値を上回りました。この要因としては、電気の排出係数が高くなったことが主なものと推察されます。しかし、基準年度と同様の排出係数を用いて算定した値についても、微増となっているため、今後、省エネルギーに配慮した取組を進め、温室効果ガス排出量の削減を目指します。

3-3 あきる野市エコ活動

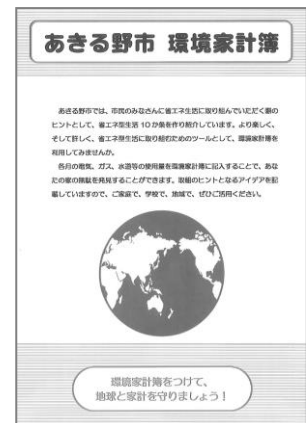
市では、平成 21 年 10 月から、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」に代わり、市独自の環境マネジメントシステム「あきる野市エコ活動」を策定し、取組を進めています。エコ活動は、対象施設を 22 の公共施設とし、各職場の一人ひとりの意識やノウハウを高め、さらなる省エネルギー、省資源、廃棄物削減などを目指しています。平成 23 年に発生した東日本大震災以降、引き続き節電等に積極的に取り組んでいます。



<あきる野市エコ手帳>

3-5 環境家計簿

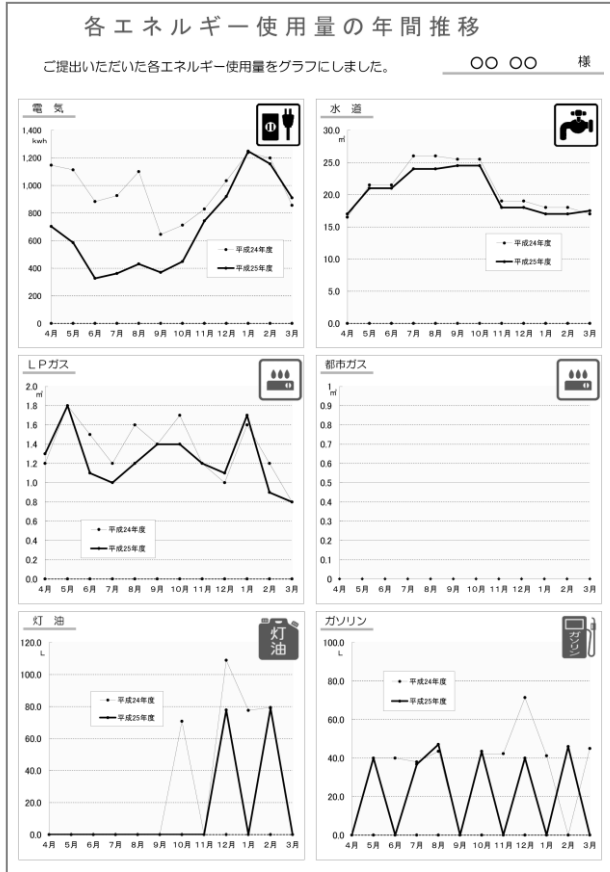
平成 20 年度に策定した「省エネ型生活 10 か条」をさらに普及させるため、各家庭で月々のエネルギー使用量からどのくらいの温室効果ガス（二酸化炭素）が排出されているかを記録する「環境家計簿」の普及を図っています。月々のデータを記録することで、私たちの生活から排出される二酸化炭素の量の目安がわかり、省エネに対する意識のさらなる向上を目指します。



<あきる野市 環境家計簿>

3-6 省エネモニター

市では、省エネモニターの募集を行っています。また、平成 22 年度からは、新エネルギー・省エネルギー利用機器設置費補助金の交付を受けた方もモニターに加わり、平成 25 年度には 145 人の省エネモニターが、「省エネ型生活 10 か条」を中心とした省エネ生活に取り組んでいます。モニターから提出されたデータは、家庭ごとにグラフ化したものや省エネのひと工夫としてとりまとめ、各モニターにフィードバックするとともに、CO₂ 排出量やエネルギー使用量の平均値を市ホームページで紹介しています。



省エネモニター 私のひと工夫

省エネモニターの皆様が各家庭で実践している省エネ活動「私のひと工夫」をまとめました。

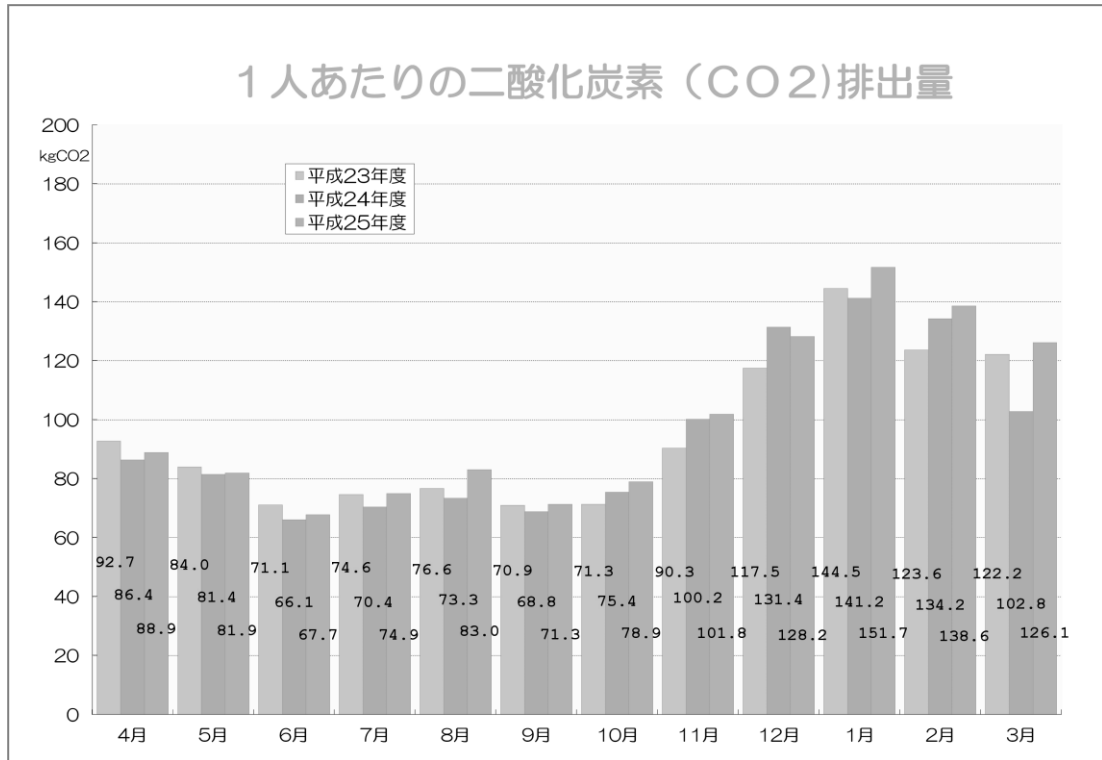
自動車の工夫

- 自動車の使用を抑える。
- 自動車を使わず、徒歩、公共交通機関や自転車を活用する。
- 自動車に乗るときは必要以上の荷物は積まない。
- 自動車を使わず、保育園の送り迎えを自転車にし、通勤を電車にすることにした。
- 車を運転するときは急発進等をやめ、エコドライブを心がける。
- 近場の買い物及び用事はバイクで。
- 車のエアコンは極力使わない。
- マイカーを持たず、電動アシスト自転車を使用する。

エアコン・冷暖房の工夫

- 家のエアコンは極力使わない。
- エアコンの使用時間を短くする。
- 埋め込み型エアコンなどで、個別ブローカーで電源を落としている。
- 帰宅後、すぐにエアコンを入れず、窓を開け室内の熱を追い出してから入れる。
- 冷暖房を使用するときは、なるべく一部屋にする。
- 暖房は1℃でも下げて、冷房は1℃上げて使用するようにする。
- 冷暖房を使用するときは、ドアの開閉に気をつけて、効率性に配慮する。
- 冷暖房を使用するときに、電源コンセントにタイマースイッチを使用し、「連続利用」せず使用する。
- ファンヒーター（灯油）は朝1時間のみ使用。
- 夏は涼しい、冬は暖かい服装でエネルギー消費を少なくするよう常に注意を払い行動する。
- 暖房はなるべく使わず湯たんぽで代用。
- 灯油ストーブを使い始め、湯沸しや煮物に利用している。
- こたつは電気を使わず、ファンヒーターからダクトを利用している。
- 灯油ストーブはあえて使わず、コタツメインで頑張る。
- 早めにカーテンを開け、窓際が冷えないようにした。
- リビング階段に簡易カーテン（つっぱり棒に布を通したものを）を取り付け、エアコンの効率を良くしている。
- 窓とカーテンの間に市販の熱を逃さないカーテンみたいなものをつけた。
- 夏に向けてエアコン室外機用日よけシートを購入。

<省エネモニターへのフィードバック（抜粋）>



<省エネモニター結果（抜粋）（市ホームページより）>

3-7 新エネルギーの活用

公共施設では、平成 21 年度に前田小学校に 3.96kw、御堂中学校に 15kw、平成 22 年度には屋城小学校に 3.08kw の太陽光発電システムを設置し、電力使用量の一部を賄っています。

市では、情報提供を行うとともに、家庭における新エネルギー・省エネルギー機器設置の際の補助を行いました。

3-8 グリーンカーテン普及事業

1) ゴーヤの苗・種の市民配布

平成 25 年 5 月 18 日に開催されたリサイクルフェア会場内において、あきる野市環境委員会と共同でゴーヤの苗と種を配布しました。

- ・ 苗 900 ポット (1 人 3 ポット、300 人)
- ・ 種 300 袋 (1 人 1 袋、1 袋 12 粒入)



<ゴーヤの苗・種配布の様子>

2) グリーンカーテンコンテスト

平成 24 年度から、夏季の省エネルギー対策に有効なグリーンカーテンを使った取組事例を募集し、優れた取組を広く周知することにより、地球温暖化対策の推進と省エネルギーの意識啓発を図るため、グリーンカーテンコンテストを開催しています。優秀な取組については、平成 25 年 11 月 10 日(日)のあきる野市産業祭会場で表彰を行いました。

■参加対象

当該年度の春以降、新たにつる性植物の種又は苗を植え、市内の住宅などの建物にグリーンカーテンを設置した方

■参加者

- ・ 住宅部門(個人) 18 件
- ・ 団体部門 9 件

■審査

あきる野市環境委員会において、現地確認状況及び提出書類の内容を踏まえ、景観、設置の効果、独自の工夫及び取組過程などから、環境委員 18 人により採点を行い、その結果を参考に審査を行いました。

■受賞者

・住宅部門（個人）

最優秀賞（1件）



優秀賞（4件）



特別賞（1件）

西側



南側



• 団体部門

最優秀賞（1件）



優秀賞（2件）



4 人の活動分野

4-1 一斉清掃

市では、町内会・自治会、秋川漁業協同組合（五日市地区）、PTA等の協力により、春、秋の年2回、市内各地の道路や河川などの清掃を実施しています。

主な活動実績は、次のとおりです。

あきる野市一斉清掃概要

	平成25年春	平成25年秋
参加人数(人)	16,710	15,387
回収量(t)	24.60	24.18



<一斉清掃の様子>

4-2 リサイクルフェア

市では、ごみ減量化・資源化をはじめとする環境問題について、資源循環型社会の構築に向けて、市民のみなさんの意識の啓発を図ることを目的とし、春、秋の年2回、リサイクルフェアを実施しています。主な活動実績は、次のとおりです。

あきる野市リサイクルフェア概要

	第36回	第37回
実施日	平成25年5月18日(土)	平成25年11月9日(土)
会場	都立秋留台公園	都立秋留台公園
参加者数(人)	3,500(推定)	14,000(推定)

■主な催事

- ・フリーマーケット
- ・リサイクル品（家具等）再利用コーナー
- ・修理屋さんコーナー（おもちゃ修理、包丁研ぎ）
- ・ごみ会議コーナー（生ごみ堆肥化講習会、落葉堆肥化の啓発）
- ・環境問題啓発用絵画（図画）・ポスター展示コーナー
- ・環境コーナー 廃食油石けんの無料配布 など



<リサイクルフェア（リサイクル品抽選会）の様子>

4-3 産業祭「エココーナー」

市では、市民に環境に対する意識を高めてもらうため、産業祭会場内に「エココーナー」を設けています。平成 25 年 11 月 9 日（土）、10 日（日）に開催された産業祭では、グリーンカーテンコンテストの受賞者等の展示を行い、次年度以降に向けて取組の啓発を行うとともに、グリーンカーテンに一番多く使われていたゴーヤを使い、ゴーヤ茶の試飲とゴーヤジャム入りホットケーキの試食を提供しました。また、市が取り組む外来生物対策や秋川流域ジオパークの取組の一環としてジオ資源について紹介を行いました。



<産業祭「環境展」の様子>

4-4 港区環境交流事業

市では、戸倉の刈寄地区に「みなと区民の森」を設けるなど、これまで港区と交流を図ってきています。こうしたことから、海に面した自然を有する港区と山や川などの自然を有するあきる野市のそれぞれの特性を活かし、平成 18 年度から子どもたちの交流事業を行っています。

平成 25 年度は、7 月 25 日（木）に親子 20 組 40 人（あきる野市・港区各 10 組 20 人）の参加を得て、中央防波堤とドイツ大使館を訪れ、日本とドイツの環境にやさしい取組について学びました。



<中央防波堤見学の様子>



<ドイツ大使館での学習の様子>

4-5 自然環境調査におけるイベント

市では、平成 21 年度から実施している自然環境調査の中で、市民の方により自然を知ってもらうため、また、より自然に親しんでもらうために、市民が参加できる体験型のイベントを実施しています。

平成 25 年度は、平井川で川の生き物調査（ガサガサ調査）を行いました。

自然環境調査におけるイベントの概要

	ガサガサで生き物調べ
実施日	平成 25 年 8 月 31 日
参加人数	37 人
主催	自然環境調査部会 動物班



<ガサガサ調査の様子>



<採集した生き物の観察の様子>

4-6 ごみ会議

「あきる野ごみ会議」は、市民・事業者・市が協働し、ごみ発生抑制の推進などを目的として、平成 16 年 11 月に設置されました。

ごみの減量やリサイクルの重要性を市民に PR するための「ごみ情報誌(へらすぞう)」の発行や市民・事業者・市はそれぞれどのように行動し、どのように協力できるのか、などを考えながら、ごみ減量に向けての活動をしています。

■平成 25 年度の主な活動実績

- ・全体会議 12 回開催
- ・へらすぞう発行 1 回
- ・生ごみ減量 PR (生ごみの堆肥化講習会の開催)
- ・リサイクルフェアへの参加
- ・夏休み親子教室(ダンポスト) など



ごみ情報誌「へらすぞう」

4-7 清流保全

市では、市内の河川の浄化及び河川環境の保全を図ることにより、良好な水質及び水量が確保された流水と親しみある水辺環境とが織り成す清流を守り残すため、平成 15 年 3 月に清流保全条例を制定し、「清流保全協力員」を設置しました。

清流保全協力員は、町内会・自治会の代表、市内の河川に関係する団体等からの代表による計 24 人で組織しており、河川の水質調査、ホタルの生息状況の調査などを実施しています。

平成 25 年度は、清流保全を呼びかける看板を盆堀川沿い 2 箇所新たに設置しました。また、平井川沿いの遊歩道に犬のふん持ち帰りを呼びかける看板を増設しました。



<盆堀川沿いに新たに設置された看板>

4-8 ホタルの里づくり

市では、地域における自然環境の保全と住みよいまちづくりを推進するため、町内会・自治会を中心として行うホタルの里づくり事業について、補助金の交付を行っています。平成 25 年度は、4 団体に補助を行い、1 団体に公園内の清掃や水路の美化などによるホタルの保全活動を委託しました。

また、地域活性化事業の一環として 1 団体に対し支援を行っています。

4-9 違反広告物撤去

市内の道路、水路、公園などに違法に設置された立看板や広告物などについて、平成 17 年 2 月に、市民と市が協働で撤去し、安全な歩行者空間の確保及び美観風致の維持を図り、市民の生活環境を保全することを目的に「あきる野市違反広告物撤去協力員制度」を制定しました。平成 26 年 3 月現在 184 人の方が登録し、日々活動を実施しています。市でも、毎月の道路パトロール等において違法看板撤去を実施しています。平成 25 年度は市民と市で合わせて 893 枚を撤去しました。

4-10 環境委員会

あきる野市環境委員会は、環境基本計画の望ましい環境像である「歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野」の達成を目指す、市民、事業者、市の協働組織で、市民 14 人（公募 6 人、地区の代表 6 人、団体 2 人）、事業者 4 人、市職員 2 人の計 20 人で構成しています。環境基本計画の施策の進捗状況の点検評価や、市民・事業者・市の協働による取組の企画や推進を行っています。

平成 25 年度は、計 8 回の会議を開催しました。また、グリーンカーテン普及のため、5 月に開催されたリサイクルフェアでのゴーヤの苗及び種の配布、グリーンカーテンコンテストの審査、産業祭での「環境展」などの啓発活動を行いました。



<環境委員会委員によるゴーヤの苗配布の様子>

		開催日	内 容
第 二 期	第 16 回会議	平成 25 年 4 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度実績報告及び平成 25 年度スケジュールについて ・グリーンカーテンコンテストについて ・あきる野市リサイクルフェアにおけるゴーヤの苗・種の配布について
	啓発活動	平成 25 年 5 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> あきる野市リサイクルフェア(環境啓発コーナー)参加 ・グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布 ・グリーンカーテン啓発チラシ等の配布
	第 17 回会議	平成 25 年 6 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画施策進捗状況の点検について ・環境基本計画改定に向けての意見・提案・要望の提出について
	第 18 回会議	平成 25 年 7 月 23 日	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンコンテストの審査方法について
	啓発活動	平成 25 年 8 月 5 日 ～ 8 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> グリーンカーテン啓発事業の実施 ・グリーンカーテンコンテスト申込箇所現地確認
	第 19 回会議	平成 25 年 8 月 21 日	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画施策進捗状況の点検評価について ・環境基本計画に対する環境委員会からの提言について ・グリーンカーテンコンテストについて
	啓発活動	平成 25 年 9 月 3 日 ～ 9 月 6 日	<ul style="list-style-type: none"> グリーンカーテン啓発事業の実施 ・グリーンカーテンコンテスト審査
	第 20 回会議	平成 25 年 9 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンカーテンコンテストの審査について ・環境白書について
第 三 期	第 1 回	平成 25 年 10 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長及び副委員長の選出 ・あきる野市産業祭における「環境展」の出展について
	啓発活動	平成 25 年 11 月 9 日 ～ 11 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> 環境展(あきる野市産業祭エココーナー)参加 ・グリーンカーテンコンテスト結果等の展示 ・「ゴーヤのれしび」の配布 ・ゴーヤ茶の試飲、ゴーヤジャム入りホットケーキの試食 ・エコドライブの展示 ・エコドライブ一度チェックの実施 ・「わたしのエコドライブ宣言」の募集 ・外来生物対策の展示等
	啓発活動	平成 25 年 11 月 10 日	グリーンカーテンコンテスト入賞者表彰 (あきる野市産業祭会場)
	第 2 回	平成 25 年 11 月 20 日	・環境委員会の活動について
	第 3 回	平成 26 年 1 月 16 日	・環境委員会の活動について

第 2 章 環境基本計画の施策の進捗状況

本章では、環境基本計画の概略とともに、重点施策と一般施策に関する進捗状況について報告します。

1 環境基本計画とは

1-1 概要

市では、あきる野市環境基本条例に基づき、平成 18 年 3 月、環境基本計画を策定しました。

環境基本計画は、持続的発展が可能な社会の実現に向けて、環境の保全、回復及び創造に関する施策の方向性と具体的な展開方策などを示すとともに、市民・事業者・市の各主体がとるべき行動を示すことを目的としています。あきる野市総合計画の環境分野を担う計画であり、市の環境行政の根幹となるものです。

平成 23 年 3 月には、環境基本計画の後期 5 か年の重点的に取り組むべき施策を定めるとともに、一般施策について一部改訂を行い、「あきる野市環境基本計画【改訂版】」を策定しました。

1-2 望ましい環境像

環境基本計画では、あきる野市の環境の特性と課題を踏まえ、21 世紀半ばを見据えた望ましい環境像と、その実現に向けた 4 つの分野別の目標を設定しています。

【あきる野市の望ましい環境像】

歩きたくなるまち 住みたくなるまち あきる野

《自然環境分野の目標》

豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ

《生活環境分野の目標》

公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする

《エネルギー環境分野の目標》

わがまちから地球温暖化に対応する

《人の活動分野の目標》

市民・事業者・市が協働して行動していく

1-3 施策の体系

環境基本計画では、望ましい環境像の実現に向けた分野別の目標の実現に向けて、実施すべき施策を示しています。

分野別の目標	目標達成に向けた方針	施策	重点施策
《自然環境分野》 豊かな緑に囲まれた清流を次世代に引き継ぐ	1. 豊かな水と緑を守る仕組みの充実	(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価	①あきる野の自然を知る ②あきる野の自然を守る ③郷土の恵みの森を守り育む
		(2) 実効性の高い保全の仕組みづくり	
		(3) 市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現	
	2. 骨格をなす5つの環境軸の保全	(1) 森林の保全と活用	
		(2) 里山の保全と活用	
		(3) 秋留台地一帯の農地の保全と活用	
(4) 秋川・平井川流域の総合的な保全			
(5) 地質・地形の保存と活用			
《生活環境分野》 公害のない、魅力あふれる循環型のまちとする	1. 健康で安全な循環型のまちの実現	(1) 公害の防止	①美しい川を守り育む ②農地・農業を守る ③資源を循環させる ④美しいまちをつくる
		(2) 循環型社会の構築	
	2. 身近な自然を生かしたまちの創造	(1) 市街地における緑の確保	
		(2) 魅力ある川づくり	
	3. 美しく清潔なまちの形成	(1) 景観の整備	
		(2) 清潔なまちづくり	
《エネルギー環境分野》 わがまちから地球温暖化に対応する	1. 省エネルギーの推進	(1) 市全体での省エネルギーの推進	①省エネルギーを進める ②新エネルギーを導入する
		(2) 自動車対策	
		(3) 電力使用量の削減	
	2. 新エネルギーの導入	(1) 新エネルギー技術の活用	
		(2) リサイクル型エネルギーの利用	
		(3) 最新動向の把握及び調査研究	
	3. 森林・緑地の拡大によるCO ₂ の吸収	(1) 森林の保全	
		(2) 緑化の推進	
《人の活動分野》 市民・事業者・市が協働して行動していく	1. 市民・事業者・市の協働による取組の推進	(1) 情報の共有	①人づくりを進める
		(2) 環境教育の推進	
		(3) 環境パートナーシップの形成	
		(4) 様々な仕組みの検討	

2 施策進捗状況評価

重点施策、一般施策・事業の進捗状況、評価結果を報告します。各担当課の実績等については、資料編をご覧ください。

<凡例>

【重点施策、一般施策・事業の評価基準について】

A：定常的实施	継続して事業が実施されている。
B：一部着手	計画策定など具体的な検討を行っている。または、平成27年度までの計画期間で、毎年実施する事業ではないが、順次実施している。
C：未着手	予算確保が困難、組織・人員が不十分、関連事業の完了が前提となっているなどの理由で、事業に着手できていない。
F：完了	事業が完了（終了）した。

【重点施策の展開スケジュールの実績について】

A：定常的实施	
B：一部着手	
C：未着手	
F：完了	完了（終了）

※重点施策の展開スケジュールに対し、進捗状況の評価を左図のように示しています。

自然環境分野

2-1 豊かな水と緑を守る仕組みの充実

【目標】

- ・ 市内の自然環境が適正に評価されている。
- ・ 市内の豊かな自然の保全に、みんなで取り組んでいる。

(1) 市内全域の自然環境の実態把握と評価

- ① 自然環境調査の実施
(→重点：あきる野の自然を知る)
- ② 適正評価と保全の方向付け
(→重点：あきる野の自然を守る)

＜重点施策の展開スケジュール＞

	年 度					平成 25 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
市域全体の自然を知る						
・自然環境調査の実施 〔環境政策課〕	予定	調査完了	フォロー調査 検討・実施			A
	実績	調査完了				
・あきる野百景などの周知・活用 〔環境政策課・観光商工課、観光まちづくり活動課〕	予定	周知・活用				A
	実績					
・生物多様性についての情報提供・普及啓発（講座、イベントの開催等） 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A
	実績					
自然の保全・管理活動の実践						
・あきる野版 RD 種の選定 〔環境政策課〕	予定	資料収集・分析・選定				B
	実績					
・適正評価及びモデル地区等の選定 〔環境政策課〕	予定	検討・選定				B
	実績					
・モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施 〔環境政策課〕	予定	検討・実施				A
	実績					
・生物多様性の保全のための方針の確立 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・策定				B
	実績					
・外来生物対策 〔環境政策課〕	予定	調査・検討・実施				A
	実績					

(2)実効性の高い保全の仕組みづくり

- ① 新たな緑地保全制度の確立
- ② 新たな保全制度を支える仕組みづくり

＜施策・事業＞

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	緑地保全制度の実態の評価（評価の指針等の作成、実態評価）	環境政策課	B
	実効性の高い保全制度の検討・確立	環境政策課	B
②	財源の強化・拡充	環境政策課 財政課	A
	ボランティアの育成・活用	環境政策課	A
	多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	環境政策課 農林課	A

(3)市民の声が生かせる、環境に配慮したまちづくりの実現

- ① 計画段階での市民参加の仕組みづくり
- ② 環境に配慮したまちづくりの方針づくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	開発計画への市民参加の仕組み化	都市計画課	A
	景観形成モデル地区の設定	都市計画課 区画整理推進室	C
②	自然環境に適合した既存計画、線引き・用途地域等の見直し	都市計画課	B
	環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	都市計画課	C
	地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	都市計画課 区画整理推進室	A

2-2 骨格をなす5つの環境軸の保全

【目標】

- ・ 本市の自然の骨格である、森林、里山、農地、河川と、これらの基盤である地質・地形をみんなで守っている。

(1) 森林の保全と活用

- ① 森林の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー特性を活かした森づくりー)
- ③ 森林の保全・活用に向けた体制づくり
(→重点：郷土の恵みの森を守り育む ー構想実現に向けての仕組みづくりー)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
次世代につなぐ森づくり							
・地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・古道・散策コース及び景観の整備 〔環境政策課〕	予定	実施					A
	実績						
・森の魅力発信 〔環境政策課〕	予定	情報発信					A
	実績						
森づくりの体制の整備							
・町内会・自治会等との連携 〔環境政策課〕	予定	連携					A
	実績						
・森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備 〔環境政策課〕	予定	整備・活用					A
	実績						
・郷土の恵みの森づくり事業基金の運用 〔環境政策課〕	予定	運用					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
①	森林の環境面からの機能評価	農林課 環境政策課	A
	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大 (モデル地区による「美林の里」づくり)	農林課 環境政策課	A
②	森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進	農林課	A
	森林資源の需要の喚起(新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)	農林課	A
③	市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)	農林課 環境政策課	A
	活動資金の確保(緑地保全基金の活用の検討(再掲))	農林課 環境政策課 財政課	A
	森林保全・活用のための整備の推進	農林課 環境政策課	A

(2)里山の保全と活用

- ① 里山の多面的な評価の実施
- ② 里山環境の保全・活用方策の検討
- ③ 里山の保全・活用に向けた体制づくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
①	里山の現状調査の実施	環境政策課	B
	評価と利活用方針の検討	環境政策課	A
②	モデル地区での保安全管理活動の実践	環境政策課	A
	各地域での保全策の検討	環境政策課 農林課	A
	緑地保全基金の活用(再掲)	環境政策課 財政課	A
③	ボランティアの育成・活用(再掲)	環境政策課 生涯学習スポー ツ課	A
	学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	環境政策課 指導室	A

(3)秋留台地一帯の農地の保全と活用

- ① 農地の多面的な評価の実施
- ② 新たな保全・活用方策の検討
- ③ 多様な担い手の育成

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	農業振興計画との整合	農林課	A
	農地の環境面からの機能のPR	環境政策課	B
②	中山間地域ふれあい農業の検討	農林課	C
	あきる野産の農産物の利用拡大の検討	農林課	A
	遊休農地の活用方策の検討・推進（学校農園、市民農園など）	農林課 指導室	A
③	人材育成と活用の仕組みづくり （農業委員会との連携・後継者の育成支援）	農林課	B

(4)秋川・平井川流域の総合的な保全

- ① 流域の自然環境の保全
- ② 河川環境の保全・創出
- ③ 水量・水質の改善

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	環境政策課 生活環境課	A
②	秋川・平井川流域における環境保全の推進	環境政策課 生活環境課 生涯学習スポー ツ課	A
③	公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	農林課	A
	湧水の保全（湧水調査、湧水のPR、雨水浸透の促進）	環境政策課 生活環境課 都市計画課	A
	親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	建設課	C
	崖線地区の保全（市街化調整区域への指定変更、公有地化）	環境政策課 都市計画課	A
	市民意識の啓発	生活環境課	A
	モデル地区での水質浄化活動	環境政策課 生活環境課	C

(5)地質・地形の保存と活用

- ① 地質・地形の適正評価と保存
- ② 保存・活用のための仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	適正な評価の実施	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
②	財源の確保	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財の指定、開発の抑制	生涯学習スポーツ課 都市計画課	A
③	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	生涯学習スポーツ課 環境政策課	A
	文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	生涯学習スポーツ課	A

生活環境分野

2-3 健康で安全な循環型のまちの実現

【目標】

- ・ 誰もが健康で安全な暮らしができています。
- ・ 限りある資源が無駄なく利用され、循環型のまちづくりが進められている。

(1) 公害の防止

- ① 公害に関する現状把握
- ② 大気汚染防止対策の充実
- ③ 水質汚濁防止対策の充実
(→重点：美しい川を守り育む ー水がきれいな川づくりー)
- ④ 騒音防止対策の充実
- ⑤ 有害化学物質対策の充実
- ⑥ その他の公害防止・生活環境対策の充実

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
事業所排水対策							
・ 排水水質調査・是正指導 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
生活排水対策							
・ 下水道への接続啓発・普及 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 下水道の整備 〔管理課〕	予定	継続					A
	実績						
・ 合併処理浄化槽の設置補助（補助金） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
①	環境に関する情報の収集・公開（広報等）	生活環境課	A
	環境関連講座の開催	生活環境課	B
	環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	生活環境課	A
②	自動車による大気汚染の低減（自動車利用の抑制、エコドライブの推奨）	環境政策課 総務課	A
	公共交通機関等の利用促進（駐輪場の整備、るのバス等の充実）	企画政策課 地域防災課	A
	低公害車の率先導入	地域防災課 総務課	A
	低公害車の普及・啓発（情報提供）	環境政策課	A
	粉じん防止対策の充実	生活環境課	A
	悪臭防止対策の充実	生活環境課	A
③	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）	生活環境課	A
	下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	管理課	C
④	工場・事業場からの騒音防止対策の充実	生活環境課	A
	道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	建設課	C
	近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	生活環境課	A
	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	企画政策課	A
⑤	有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	生活環境課	A
	有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	生活環境課	A
⑥	振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	生活環境課	A
	土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	生活環境課	A
	家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	農林課	A
	地下水保全対策の充実（揚水規制）	生活環境課 農林課	A
	光害防止対策の研究	生活環境課	A

(2)循環型社会の構築

- ① 体系的な循環型システム構築の推進
(→重点：資源を循環させる)
- ② 環境に配慮した収集・処理の推進

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
循環型社会構築の推進							
・「ごみ会議」の運営・推進 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・ごみ減量・リサイクル意識の啓発 (情報誌「へらすぞう」の発行等) 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・落ち葉の堆肥化の推進 〔生活環境課〕	予定	モデル地区		実施			A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	グリーン購入の推進（考え方や商品等の紹介・PR）	生活環境課	C
	省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	生活環境課	A
	エコショップ認定制度の検討	生活環境課 観光商工課	C
	リサイクルフェアの実施	生活環境課	A
	廃食油石けんづくりの普及	生活環境課	A
	生ごみリサイクルの促進（生ごみ処理機導入補助・EM菌バケツ貸出）	生活環境課	A
	省資源型経営の推奨	生活環境課	C
	ごみの戸別収集・有料化	生活環境課	A
	資源集団回収の実施	生活環境課	A
	ペットボトル等拠点回収実施	生活環境課	A
	新たなリサイクルシステムの検討	生活環境課	A
	剪定枝等のリサイクル方法の検討	生活環境課	A
	放置自転車リサイクルの実施	地域防災課	A

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
②	環境低負荷型の収集の実現（効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化）	生活環境課	A
	ごみ焼却に伴う環境負荷の低減（ダイオキシン類の発生抑制等）	生活環境課	A
	清掃工場の適正管理	生活環境課	A

2-4 身近な自然を生かしたまちの創造

【目標】

- ・ 市街地の中に緑があふれ、誰もが身近にふれあっている。
- ・ 子どもたちが遊び、人々が集う魅力ある水辺が整備されている。

(1) 市街地における緑の確保

- ① 公共の緑の充実
- ② 住宅・工場施設等の緑化
- ③ 農地や樹林地の保全（→重点：農地・農業を守る）

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
地元野菜の普及・活用（食育）						
・ 施設園芸（温室等）化 〔農林課〕	予定	事業展開				A
	実績					
・ 保育園給食等への供給検討・実施 〔農林課〕	予定	検討・実施				A
	実績					
・ 地元産野菜を題材にした食育の推進 〔農林課・健康課〕	予定	実施				A
	実績					
農業の振興・支援						
・ 後継者の育成支援 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 獣害防止対策の実施 （被害状況のモニタリング、電気柵設置） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					
農地の適正管理と活用						
・ 生産緑地制度の推進・管理 追加指定（希望者把握・協議） 〔農林課・都市計画課〕	予定	継続				A
	実績					
・ 市民農園制度の活用 取組方策の検討（遊休農地の活用ほか） 〔農林課〕	予定	継続				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	公園の整備の推進	管理課 建設課 区画整理推進室 環境政策課	A
②	緑化の推進（開発時の緑化指導）	環境政策課 都市計画課	A
	緑化の効果のPR	環境政策課	A
③	保存樹木・保存緑地の指定	環境政策課	A
	みどりの大切さのPR	環境政策課	A

(2)魅力ある川づくり

- ① 親しめる川の保全・整備
(→重点：美しい川を守り育むーホタルが棲め、子どもが遊べる川づくりー)
- ② 川のある景観の保全と活用
- ③ 水と緑のネットワークの形成

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成 25 年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
市民参加による清流の保全							
・清流保全協力員活動（看板の設置等） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・市民参加型イベントの検討・実施 〔環境政策課〕	予定	継続					B
	実績						
・活動の公表の検討 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						
・河川景観の整備 〔生活環境課・建設課〕	予定	継続・協力依頼					A
	実績						
・川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・ 清掃活動・不法投棄防止） 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ホタルが棲める川づくり							
・ホタルが見られる場所の調査 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	調査・分析					A
	実績						
・ホタルが棲める川づくり（ホタルの保護 など） 〔環境政策課〕	予定	地域ごとに展開					A
	実績						

	年 度					平成 25 年度	
		H23	H24	H25	H26	H27	評価
子どもの水辺事業の推進 〔生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	親水散策路の整備の推進（再掲）	建設課	C
②	あきる野百景の保全・活用の検討	環境政策課	A
③	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	観光商工課 観光まちづくり 活動課 建設課	A
	水と緑のマップの充実	環境政策課	A

2-5 美しく清潔なまちの形成

【目標】

- ・ みんなで一緒に、市内をきれいにする活動や街並みづくりを進めている。
- ・ ごみのない、美しく魅力的な街並みが形成されている。

(1) 景観の整備

- ① 快適な街並みの形成
(→重点：美しいまちをつくる - 「歩きたくなる」みちづくり-)
- ② 魅力的で憩いの場となる街並みの形成
- ③ あきる野の顔づくり

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
良好な街並みづくり（地区計画） （区画整理事業区域・線引き変更箇所） 〔区画整理推進室・都市計画課〕	予定	継続					A
	実績						
歩きやすいみちづくり （散策路・遊歩道の整備） 〔建設課・観光商工課・観光まちづくり活動課・ 環境政策課〕	予定	検討・実施					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	良好な街並みづくり（地区計画の活用）	都市計画課	A
	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	都市計画課 環境政策課	C
	市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a. マナーやルール、b. まちづくり教育・組織づくり）	区画整理推進室 環境政策課	A
	商店街の景観整備	観光商工課	C
②	まちかど広場等の整備	建設課	B
	買い物マップの作成	観光商工課	C
	観光スポットのPR	観光商工課 観光まちづくり 活動課	A
③	不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	管理課	A
	電線の地中化の検討	区画整理推進室 管理課	C

(2)清潔なまちづくり

- ① たばこ・ごみのポイ捨て防止
(→重点：美しいまちをつくる ーわがまちの清掃活動の推進ー)
- ② 不法投棄の防止
- ③ 道路・公園・公共建物等の管理
- ④ 犬、猫等ペットに関する指導・啓発

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発） 〔環境政策課・生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
一斉清掃の実施 〔生活環境課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収） 〔生活環境課〕	予定	継続					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	ポイ捨て防止などの対策の研究	環境政策課 生活環境課	B
②	不法投棄防止対策の充実	生活環境課	A
③	ごみ会議の開催	生活環境課	A
	道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	建設課 管理課 生活環境課	A
	空き地の適正管理	生活環境課	A
④	ペットの飼い方等の意識啓発	健康課	A
	苦情対策	生活環境課 健康課	A

エネルギー環境分野

2-6 省エネルギーの推進

【目標】

- みんなで省エネルギー行動を進めている。
- 本市からのCO₂排出量が減っている。

(1) 市全体での省エネルギーの推進

① 市全域でのエネルギー使用量の把握

(→重点：省エネルギーを進める –省エネルギーのまちづくり–)

② 動機付けとなる仕組みづくり

(→重点：省エネルギーを進める –動機付けとなる仕組みづくり–)

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度 評価	
		H23	H24	H25	H26		H27
地球温暖化対策地域推進計画の策定 〔環境政策課〕	予定	策定					B
	実績						
省エネ教育の推進							
・学校での教育プログラムの実施 〔指導室〕	予定	実施					A
	実績						
・事業所への働きかけ 〔環境政策課〕	予定	実施					B
	実績						
制度の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						
カーボン・オフセットの活用							
・現行の取組の把握・整理・検証 〔農林課・環境政策課〕	予定	検証					B
	実績						
・広域的な連携による研究 〔農林課・環境政策課〕	予定	調査・研究					B
	実績						
・森づくりと連携したカーボン・オフセッ トの仕組みづくり・活用の検討 〔農林課・環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	市全域の温室効果ガス排出量の把握	環境政策課	A

(2)自動車対策

- ① 自動車利用の抑制
(→重点：省エネルギーを進める ―エコドライブを推進する―)
- ② クリーンエネルギー自動車の導入促進

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成25年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
エコドライブの普及・啓発							
・各種支援制度の利用等の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					A
	実績						
・啓発の実施 〔環境政策課〕	予定	継続・強化					A
	実績						
・講習会（座学・実技）等の開催 〔環境政策課・総務課・職員課〕	予定	座学	実技				A
	実績						
自転車利用の促進							
・施設整備の実施 〔地域防災課・建設課〕	予定	検討					B
	実績						
・自転車優遇方策の検討 〔環境政策課〕	予定	検討					B
	実績						

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	「車に乗らない日」の普及・啓発	環境政策課	C
	公共交通機関の利用促進	環境政策課 企画政策課	A
	自転車専用のインフラ整備	建設課	C
②	低公害車の率先導入（再掲）	総務課 地域防災課	A
	低公害車の普及・啓発（再掲）	環境政策課	A
	燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施（エコエネルギー ステーションの設置研究ほか）	環境政策課 企画政策課	C

(3)電力使用量の削減

- ① 家庭での省エネルギー対策
(→重点：省エネルギーを進める 一家庭での省エネルギー対策一)
- ② 事業所での省エネルギー対策

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度 評価
	H23	H24	H25	H26	H27	
省エネルギー対策の普及・啓発						
・情報提供と協力呼びかけ 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・セミナーの開催 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				B
	実績					
省エネ型生活 10 か条・環境家計簿の普及						
・省エネ型生活 10 か条・環境家計簿等の 普及 〔環境政策課〕	予定	普及				A
	実績					
・省エネモニター制度の実施 〔環境政策課〕	予定	募集・登録				A
	実績					
雨水貯留槽設置の導入促進						
・雨水貯留槽の設置支援 〔環境政策課〕	予定	補助				F
	実績	終了				

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発（エコハウス等の情報提供）	環境政策課	A
②	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発	環境政策課	A
	事業所のエネルギーマネジメントの普及	環境政策課	B
	中小事業所や商店に対する普及・啓発	環境政策課	A
	公共施設での「あきる野エコ活動」の推進	総務課	A

2-7 新エネルギーの導入

【目標】

- ・ 太陽光や森林資源などを有効活用した新エネルギーを導入している。
- ・ 市民の新エネルギーへの関心が高まり、積極的に利用している。

(1)新エネルギー技術の活用

- ① 家庭・事業所での新エネルギー技術の導入促進
(→重点：新エネルギーを導入する)
- ② 公共施設への新発電技術の導入

<重点施策の展開スケジュール>

	年 度					平成 25 年度
		H23	H24	H25	H26	H27
家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進						
・ 情報提供と普及促進 〔環境政策課〕	予定	継続・強化				A
	実績					
・ 新エネルギー・省エネルギー機器の設置 支援 〔環境政策課〕	予定	補助				A
	実績					

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	事業所での新エネルギーの導入促進	環境政策課	A
	新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発	環境政策課	A
②	木質バイオマスの利用促進	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	A
	普及啓発・環境教育の実施	観光まちづくり 活動課 農林課 環境政策課	A

(2)リサイクル型エネルギーの利用

① ごみ焼却熱の再利用

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
①	焼却炉の効率的な稼働の促進	生活環境課	A
	ごみ焼却余熱の利用	生活環境課 西秋川衛生組合	B

(3)最新動向の把握及び調査研究

<施策・事業>

環境基本計画の内容		担当課	平成 25 年度 評価
関連する施策・事業			
新たな新エネルギー技術の導入検討		環境政策課 施設営繕課	B

2-8 森林・緑地の拡大によるCO₂の吸収

【目標】

- ・ 森林が適正に管理され、CO₂が吸収されている。
- ・ 市街地内にも緑がたくさんあり、CO₂が吸収されている。

(1) 森林の保全

- ① CO₂吸収量の確保
- ② CO₂吸収源の育成（地域林業の活性化）

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	森林のCO ₂ 吸収量に関する普及・啓発	農林課 環境政策課 指導室	A
	森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	農林課 環境政策課	A
②	総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	農林課	A
	地域林業の活性化（再掲）	農林課	A
	材木生産の合理化とブランドイメージの向上	農林課 観光商工課	A
	木材加工産業の育成	農林課 観光商工課	A

(2) 緑化の推進

- ① CO₂吸収量の拡大のための緑化

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	街路樹、公園樹木の拡大	建設課 管理課 環境政策課	A
	家庭等での植樹の推進（再掲）	環境政策課 農林課	A
	グリーンリサイクル（落ち葉・剪定枝）の推進（再掲）	生活環境課	A

人の活動分野

2-9 市民・事業者・市の協働による取組の推進

【目標】

- ・ 誰もが環境に関する情報をいつでも見ることができる。
- ・ 一人ひとりが自主的に環境行動を実践している。
- ・ 市民・事業者・市が協働して、環境行動を展開している。

(1) 情報の共有

- ① 環境に関する情報提供・交流
- ② 情報共有化のための仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成25年度 評価
①	「環境白書」の作成・公表	環境政策課	A
	環境に関する情報の収集・公開	環境政策課 図書館	A
	研究・活動実績等の発表の場づくり	環境政策課	C
②	環境情報サイトの立ち上げ	環境政策課	B
	環境情報コーナー等の機能整備の検討	環境政策課 図書館	A

(2) 環境教育の推進

- ① 環境教育の充実
(→重点：人づくりを進める)

<重点施策の展開スケジュール>

		年 度					平成25年度 評価
		H23	H24	H25	H26	H27	
環境教育の場の充実 〔環境政策課・指導室・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						
人材の育成及び活用 〔環境政策課・生涯学習スポーツ課〕	予定	継続					A
	実績						

(3)環境パートナーシップの形成

- ① 市民・事業者・市の具体的な役割の設定

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	協働・団体等のネットワーク化	環境政策課	C
	市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境政策課	A
	問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境政策課	A

(4)様々な仕組みの検討

- ① 計画推進の基盤づくり
② 市民・事業者の行動促進の仕組みづくり

<施策・事業>

環境基本計画の内容 関連する施策・事業		担当課	平成 25 年度 評価
①	財源の確保の検討	環境政策課	C
	ボランティアの活用の仕組みづくり	環境政策課	A
	点検・評価への参加の充実	環境政策課	A
②	家庭版・学校版 I S O 等の仕組み検討	環境政策課	C
	事業者のマネジメントシステム導入支援	環境政策課	C
	経済的手法の研究	環境政策課	C

3 あきる野市環境委員会からの意見

環境委員会では、自然環境、生活環境、エネルギー環境の3分野のグループに分かれ、環境基本計画の施策の進捗状況について点検評価を行っています。ここに、環境委員会から提出された意見をとりとまとめ、掲載します。

3-1 環境基本計画の施策のあり方

進展が見られない施策の中には、環境基本計画と他の計画との間で整合性が取れていないことに主な原因があると思われる施策がある。環境基本計画を実施する上で他の既存計画との矛盾や齟齬が生じたときには、庁内に横断的な組織を作り既存計画の抜本的な見直しを含めて検討していくべきと考える。計画の見直しに当たっては、広く市民の意見を聞く場を設け、市民の意見を新しい計画に反映していただきたい。

環境基本計画の中には、未着手のままの施策がいくつか見られ、その理由は人員、予算不足のほか、関係主体との調整が必要なものや物理的に不可能であるものもある。次期計画策定時には、関係主体もまじえて実現可能性を検討の上、計画として掲げられる部分のみを盛り込むべきと考える。

環境基本計画を制定された際に「施策」が設定されたと思うが、あきる野市独自で制定された施策と、国や東京都の指導等で施策制定されたものの区別（分類）が判ると作業がし易いと、重点施策への関心度も関係してくるのではないかと考える。

落ち葉の堆肥化は、引き続きゴミ減量の一つの手段として、堆肥枠の設置場所や管理の仕組みを検討し、利用者を広げるなどして、需要と供給のバランスを取って推進していくべきと考える。

ネオニコチノイド系農薬をはじめとする化学物質の広がりやLED照明の街灯設置などは、生物に対する影響が未知数であり、将来的に市民の健康や市の財産である生物多様性などが損なわれるなどの懸念がある。影響が出た時に、化学物質やLEDとの関連性を証明するのは不可能に近いが、指標となる生物を定め、決められた場所と項目の調査を継続し、動向を把握することは、対応策の検討や施策の方向性の決定に際して判断材料となるため、目的を明確にしたモニタリング調査を継続的に実施していくべきと考える。

本市は、都内にありながら農耕地が広がっており、また生物多様性の保全と活用を進めていこうとする中、農薬など化学物質に関する情報に注目し、積極的に収集するとともに、地場産業の事業者に向け分かりやすく情報提供していくべきと考える。

3-2 環境委員会として推進していく施策・事業、市民協働で担う役割

自然環境分野に関しては、今後、生物多様性地域戦略が大きな柱になると思われる。「あきる野市生物多様性地域戦略」では、8つの地域毎に課題や取組が示されている。それぞれの地域で、住民・事業者・環境市民団体・学校などの教育機関、あきる野市、関係行政機関等がどれだけ課題や目標について共通理解を持ち、それぞれの役割を果たすことができるかが、取組の成否を決めるのではないかと考える。

その際、まずは、地域毎に市民が生物多様性地域戦略についての理解を深め、自分の住む地域の生物多様性の課題について意見を出し合う場を作ってはいかがか。環境委員会は、その場において一定の役割を果たせるのではないかと考える。

堆肥枠の有効活用、歩きやすい散策路づくり、ホテルの棲める環境づくりなど、きめ細やかで継続的な管理が必要な事業は、自治会など地域住民の関心と協力が欠かせない。郷土の恵みの森づくりなどあきる野市ならではの先進事例もあるので、他の事業でも積極的に自治会へはたらきかけ、協働へ向け、できることから進めていくべきと考える。

環境委員が「知る活動」等で活動できるしくみや、環境に関する勉強会等の機会を積極的に導入することや、市民や企業に向けても講演会や講習会を企画する事で、環境に関する興味を啓発するプログラムを設定する事と、一度に沢山の情報を詰め込んだパンフレット等の印刷物を発行せず、テーマごとに頻繁に情報を提供し、環境に関する意識の向上を狙われてはどうか。

また、印刷物の発行に向けては、発行前に環境委員会で審議する機会を設ける事を希望する。

資料編

【評価の基準】
 A:定常的实施
 B:一部着手
 C:未着手
 F:完了

1 施策の進捗状況調査結果

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	市域全体の自然を知る	自然環境調査の実施	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施した。	A	A	自然環境調査部会によるフォロー調査を実施する。	環境政策課 (環境政策係)
					あきる野百景などの周知・活用	市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置している。昨年度に引き続き、五日市郷土館での展示のため、写真パネルを貸し出した。また、必要に応じて情報・画像提供を行った。	A	A	継続して市ホームページに掲載するとともに、公共施設や観光施設にパンフレットを設置する。また、必要に応じて情報・画像提供やパネルの貸し出しを行う。	環境政策課 (環境政策係)
						市庁舎パンフレットラックでの配布及び直接請求による郵送により、あきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に案内書として配布し、市のPRを行った。	A		散策コースの案内書としてあきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	観光商工課
						観光キャラバンや観光ボランティア事業を通じ、あきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に案内書として配布し、市のPRを行った。	A		散策コースの案内書としてあきる野百景めぐりマップを市民及び市外の観光客に配布し、市のPRを図る。	観光まちづくり活動課 (H25～)
					生物多様性についての情報提供・普及啓発(講座、イベントの開催等)	「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを市内公共施設、イベント等で配布するとともに、市ホームページに掲載した。また、平成 21 年度から 23 年度までの調査結果をまとめた「あきる野市自然環境調査報告書(平成 21 年度～23 年度)」を市内公共施設に設置するとともに、市ホームページで公表した。産業祭「環境展」で外来生物についての周知等を行った。	A	継続して「知って守ろうあきる野の自然」のリーフレットを市内公共施設、イベント等で配布するとともに、市ホームページに掲載する。また、「あきる野市自然環境調査報告書(平成 21 年度～23 年度)」を市内公共施設に設置するとともに、市ホームページに掲載する。 「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定(9月頃を予定)を踏まえ、概要版による周知のほか、産業祭「環境展」にて生物多様性に関する展示を行う。	環境政策課 (環境政策係)	
市内全小学校の校外学習に同行し、市内の自然環境、生物の多様性について解説を行った。森林レンジャーあきる野による講演会「森への誘い～森林レンジャーが見てきたあきる野の現状とその未来～」を9月21日に開催した。 11月9日・10日に開催したあきる野市産業祭において、市内の動植物や滝・沢、巨樹などの地域資源の写真展示を行った。 12月21日には、港区において、「みなとパートナーシップ環境展」が開催され、森林レンジャーあきる野による本市の自然環境等に関するパネル展示を行うとともに「あきる野、森物語」と題して講演会を行った。	A	小学校の校外学習の支援を行うとともに情報提供、啓発イベントを開催する。	環境政策課 (環境の森推進係)							

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点 市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	あきる野版 RD 種の選定	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定に並行して選定作業、公表の範囲の検討を進めた。	B	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて決定する。公表の範囲などは、自然環境調査部会などの関連団体と調整のうえ決定する。	環境政策課 (環境政策係)
				あきる野版 RD 種の選定	森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、植物、脊椎動物等の分布調査や生息調査を継続して行っている。これにより、植物では 34 種、動物では合計 60 種(哺乳類 3 種類、鳥類 34 種類、爬虫類 4 種類、両生類 5 種類、魚類 4 種類、昆虫 10 種類)の絶滅危惧種(東京都の 2010 年レッドリストによる)を確認している。	B	動植物の分布調査や生息調査を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				適正評価及びモデル地区等の選定	モデル地区の選定には至っていない。	C	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定に合わせ、モデル地区(保全地区)のあり方などを検討するとともに、その後の取組(条例など)に活かしていく。	環境政策課 (環境政策係)
				適正評価及びモデル地区等の選定	森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行った。	B	森林の整備状況や健全性の調査を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	モデル地区を選定していないため、モデル地区での保全活動は実施していない。 東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施した。 外来生物対策として、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施した。 また、モデル地区が存在せずとも、保全・管理活動が必要と認められるものについては、関係団体等との調整により、保全・管理活動を実施した。	B	東京都里山保全地域である「横沢入」において、都や各種団体と連携し、保全活動を実施する。 外来生物対策として、町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施する。 モデル地区の選定を待たずに保全対策が急がれるものについては、随時対応を図っていく。	環境政策課 (環境政策係)
				モデル地区等における保全・管理活動の検討・実施	産学官が連携して菅生地区をモデルとした森づくりを進めている。この取組を具体的に進めるため、NEC フィールディング(株)、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会、NPO 法人ふるさと森づくりセンター、あきる野市の 7 者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会において、ワークショップ方式で多様な生物が生息する里地里山の再生と保全に向けた森づくりに取り組んでいる。	A	あきる野菅生の森づくり協議会の取組を進める。	環境政策課 (環境の森推進係)
				生物多様性の保全のための方針の確立	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定に伴い、本市の生物多様性の保全のための方針について検討している。	B	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定に伴い、本市の生物多様性の保全のための方針を定める。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	重点	市内全域の自然環境の実態把握と評価	自然の保全・管理活動の実践	生物多様性の保全のための方針の確立	森林レンジャーあきる野により、市内の森林の整備状況や健全性の調査を行うとともに、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行い、絶滅危惧種や外来生物の確認をし、健全な生態系の維持を努めるよう対策を講じている。	B	B	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)		
					外来生物対策	町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施した。タイワンリス対策及びオオキンケイギクに関する呼びかけは、一定の成果が得られたため、市ホームページによる周知(オオキンケイギク)のみとした。また、今後の外来生物対策のあり方などについて、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で検討した。	A	A	町内会・自治会、猟友会と連携しアライグマ・ハクビシン対策を実施する。その他の外来生物対策については、被害状況等を見ながら、必要に応じて実施する。また、今後の外来生物対策のあり方などについて、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)		
						森林レンジャーあきる野により、市内の森林において、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類等の分布調査や生息調査を継続して行った。また、アライグマ・ハクビシンの対策について、情報提供等の協力を行った。	A		森林レンジャーあきる野による調査及び情報提供を継続するとともに、箱わなによるアライグマ・ハクビシンの捕獲を実施する。	環境政策課 (環境の森推進係)		
		一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	緑地保全制度の実態の評価 (評価の指針等の作成、実態評価)	評価の指針等の作成等には至っていないが、市役所全課へ市施設における剪定等の配慮を呼びかけるとともに、様々な機会を捉え、同様の配慮の働きかけを行った。また、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、街路樹や公共施設の緑のあり方を検討した。	B	B	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、街路樹や公共施設の緑のあり方を定める。また、市役所全課へ市施設における剪定等の配慮を呼びかけ、担当課で樹木の枝打ちや伐採をする際の相談を受け付けるとともに、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の庁内プロジェクトチームにおいて、同様の配慮を呼びかける。	環境政策課 (環境政策係)			
				実効性の高い保全制度の検討・確立	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、ソーニングなどの保全の方策について検討した。	B		「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて確立する。	環境政策課 (環境政策係)			
					産学官が連携して菅生地区をモデルとした森づくりを進めており、NEC フィールドイニング㈱、明星大学、菅生町内会、あきる野青年会議所、西多摩マウンテンバイク友の会、NPO 法人ふるさと森づくりセンター、あきる野市の 7 者で組織するあきる野菅生の森づくり協議会で実施している里山活性化事業において、様々な主体が協働して森づくりに取り組んでいる。この取組を進めていく中で、新しい森づくりの担い手の育成や森づくりの方法などを探りつつ、実効性の高い保全の方法を検討し確立していく。	B	B	平成 25 年度の取組を継続するとともに、植樹計画を策定していく予定である。	環境政策課 (環境の森推進係)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	実効性の高い保全の仕組みづくり	財源の強化・拡充	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、財源確保の方策について検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて決定する。	環境政策課 (環境政策係)
					郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、サントリーフーズ㈱と新四季創造㈱とあきる野市の三者の契約に基づき、瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付を受けている。	A		平成 25 年度の実績を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					平成 25 年度については実施していない	A		実施予定なし	財政課
				ボランティアの育成・活用	外来生物対策として「農と生態系を守り隊」の取組が実施された。 「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、ボランティアの育成・活用について検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」や「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の策定、さらに「(仮)あきる野市第二次環境基本計画」の検討を通じ、人材の育成などについて検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」が、町内会・自治会が行う昔道や尾根道の補修、景観整備に支援を行った。平成 23 年度からは、市職員のほかに森づくりに関心のある方(市民・企業・団体)を加え(平成 26 年 3 月末現在 120 人)、11 回の活動に 87 人が参加した。	A		平成 25 年度の実績を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				多様な主体が連携した体制・仕組みづくり	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性の保全と活用に向けた多様な主体の連携などについて検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で検討する。	環境政策課 (環境政策係)
					郷土の恵みの森構想に基づき、地域との協働の森づくりに 15 の町内会・自治会が取り組んでいる。この取組に森林レンジャーあきる野及び森林サポートレンジャーが支援している。 産学官が連携して営生地区をモデルとしてワークショップ方式で多様な生物が生息する里地里山の再生と保全に向けた森づくりに取り組んでいる。 自然や郷土を愛し、あきる野の自然と文化を守り引き継いでくれる森の守り人を育成するため、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子レンジャーとして組織(小学校 4 年生から 6 年生までの 20 人)し、1 年間、四季を通じて森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。	A		平成 25 年度の実績を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
					緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布した。	A		緑地の環境保全、景観の保全のため、蓮華草の種を農業者に配布する。	農林課

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
自然環境	豊かな水と緑を守る仕組みの充実	一般	市民の声がかけられる、環境に配慮したまちづくりの実現	開発計画への市民参加の仕組み化	土地利用計画策定の際、委員の市民参加及びパブリックコメントの募集を実施するが、案件がなかった。	A	A	土地利用方針等のパブリックコメントの募集を実施予定。	都市計画課			
				景観形成モデル地区の設定	実施していない	C	C	実施予定なし	都市計画課			
					実施していない	C	C	実施予定なし	区画整理推進室			
				自然環境に適合した既存計画、線引き・用途区域等の見直し	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行った。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	B	B	数箇所の編入について、計画・東京都協議を行う。なお、編入に当たっては、計画的な土地利用が必要であり、緑地の創出も行う。	都市計画課			
				環境配慮型まちづくり方針・指針の策定	実施していない	C	C	実施予定なし	都市計画課			
				地域別環境づくりの方針の活用（地区計画制度の活用）	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定の検討を行った。	A	A	地区計画制度をすでに定めている地区については、地区の実情に即したまちづくりを進めている。また、新たな地区計画設定箇所の検討を行う。	都市計画課			
	実施していない	C	C		実施予定なし	区画整理推進室						
	骨格をなす5つの環境軸の保全	重点	森林の保全と活用	森林の環境面からの機能評価	林床植物の生育を促すため、森林再生及び枝打ちを実施し、日照の確保を行った。	A	A	林床植物の生育を促すため、森林再生及び枝打ちを実施し、日照の確保を行う。	農林課			
					郷土の恵みの森構想や郷土の恵みの森づくり基本計画において、7つの地区に区分した整備方針に基づき、各町内会や自治会が普道・尾根道の整備や景観整備に継続して取り組んでいる。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課（環境の森推進係）			
				公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（モデル地区による「美林の里」づくり）	平成 26 年度景観整備事業に向けての全体計画及び補助申請を東京都へ行った。	A	A	森林資源活用整備事業にてグミノ木尾根の景観整備を行う。	農林課			
					産学官による森づくりにおいて、モデル地区である菅生地区の大沢にある市有地を地域の方を中心にワークショップ形式で残土による盛り土部の土地利用の方針の検討、整備を行っている。	B	A	平成 25 年度と同様ワークショップ方式で検討を行い、植樹計画を策定する予定。	環境政策課（環境の森推進係）			
				次世代につなぐ森づくり	地域の魅力を高める森づくり（モデルプラン）の推進	深沢地区は、五日市憲法草案の発見された深沢家の土蔵や南沢のアジサイ、深沢小さな美術館、大カシなどの観光資源が存在しており、深沢川周辺や南沢地区においても景観整備を実施している。また、大カシから堀田尾根にかけての尾根道の整備及び森づくりによる散策コースの整備を継続している。本地区には落合自治会や養沢自治会との連携により整備された尾根道とあわせ、武蔵五日市駅～大カシ～堀田尾根～金比羅尾根～星竹林道～瀬音の湯という山歩きのコースが維持され、小学生の校外学習としても利用している。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課（環境の森推進係）		

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
自然環境	骨格をなす 5 つの環境軸の保全	重点	森林の保全と活用	古道・散策コース及び景観の整備	8 つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備を、8 つの自治会により、道路補修や植樹など景観整備を継続して行っている。これらの事業の実施により、前述のとおり、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつか確保されたコースを維持している。	A	A	9 つの町内会・自治会による昔道・尾根道整備事業及び 9 つの自治会による景観整備事業を実施する予定である。		環境政策課 (環境の森推進係)		
					森の魅力発信	森林レンジャーあきる野主催の「謎のグミ御前への道」「森と人とけものこと」と及びオール東京 62 市区町村共同事業の一環で「野生動物が暮らせる森づくり体験」ツアーを実施した。 産学官の連携では、チェーンソーの使い方の基礎を学び、雑木林の管理を体験する「木こりの講座」、環境学習「里山の学校 ツリークライミング体験」を実施した。また、森林レンジャーあきる野、森の子レンジャーの活動も継続して行っている。	A	A	森林レンジャーあきる野による、山歩きツアーやイベントを実施するとともに森の子レンジャーの活動も継続していく。		環境政策課 (環境の森推進係)	
				森林整備計画等に基づく林業振興・森林保全策の推進		森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道の開設（3 路線）・改良（2 路線）を行った。また、水源かん養機能の向上や生活環境等の保全を図るため、治山治水事業に取り組んでいる。	A	A	森林資源の高度利用を促進し、林業経営の安定及び適切な森林の維持管理を行うため、林道の開設（2 路線）・改良（2 路線）を行う。また、水源かん養機能の向上や生活環境等の保全を図るため、治山治水事業に取り組む。		農林課	
				森林資源の需要の喚起 (新たな資源価値の付加・間伐材等の積極的活用)		みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内整備を実施した。	A	A	みなと区民の森づくり、新宿区民の森、サントリー天然水の森奥多摩事業で作業道整備事業や林内調査を実施予定		農林課	
		重点	森林の保全と活用	森づくりの体制の整備	町内会・自治会等との連携	郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会が取り組んでいる昔道・尾根道の補修や景観を整備する郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付するとともに、森林レンジャーあきる野や森林サポートレンジャーあきる野等が整備作業等を支援した。平成 25 年度においては、昔道や尾根道の補修事業及び景観整備事業を合わせて 20 地区で実施した。	A	A	昔道・尾根道の補修等事業及び景観整備事業を合わせて、22 地区で実施する予定である。		環境政策課 (環境の森推進係)	
					森林レンジャー・森林サポートレンジャー組織の整備	森林レンジャーあきる野を中心として、市職員及び森づくりに関心のある市民等を加えた森林サポートレンジャーあきる野による活動を行った。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)	
				森づくりの体制の整備	郷土の恵みの森づくり事業基金の運用	郷土の恵みの森づくり事業を推進するために寄せられた寄附金については、郷土の恵みの森づくり事業基金に積み立てており、予算編成上の必要性により活用している。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。		環境政策課 (環境の森推進係)	

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
自然環境	骨格をなす 5 つの環境軸の保全	一般	森林の保全と活用	市民参加の森づくり事業の推進 (ボランティアの育成・活用の仕組みづくり)	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施した。	A	A	森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と各町内会・自治会と合同で整備事業を実施予定	農林課
					町内会・自治会が取り組んでいる郷土の恵みの森づくり事業については、地域住民や森林サポートレンジャーあきる野が協働して整備事業を進めている。一部地域においては、民間の任意団体がボランティアでこのような整備に協力して活動をしている。 また、産学官の連携による森づくりにおいては、あきる野管生の森づくり協議会を組織し、構成する各団体により森づくりの取組をボランティアで進めている。	A		平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				実施していない	C	実施予定なし	農林課		
				「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、財源確保の方策について検討した。	B	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて決定する。	環境政策課 (環境政策係)		
				郷土の恵みの森づくり事業を目的に寄付をした方に対し、秋川渓谷瀬音の湯の招待券を贈呈している。また、サントリーフーズ(株)と新四季創造(株)とあきる野市の三者の契約に基づき瀬音の湯に設置した清涼飲料水の自動販売機の売上金の一部を本事業へ指定寄付として受けている。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 (環境の森推進係)	
			当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ 200 万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。 戸倉に所在する分収林地の立木払収入を基金に積み立て、活動資金の確保を行った。	A		立木払収入などの市有林から得た収入や、郷土の恵みの森事業指定寄附金について基金に積み立て、活動資金の確保を図る。	財政課		
			森林保全・活用のための整備の推進	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工した。	A	A	林道鍾乳洞沢線、南沢線、盆堀線、伝名沢線の工事を施工予定	農林課	
				森林管理のための林道整備に関係する取組としては、町内会・自治会が郷土の恵みの森づくり事業として取り組んでいる普通道・尾根道の整備を 8 町内会・自治会により 10 ルートの整備を行った。	A		普通道・尾根道整備については、9 町内会・自治会により 11 ルートの整備を予定している。	環境政策課 (環境の森推進係)	
			里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	自然環境調査においてフォロー調査を実施した。また、横沢入については都の里山保全地域に指定され、都が調査を実施している。 さらに、今後の調査のあり方などについて、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で検討した。	B	B	自然環境調査部会においてフォロー調査を実施する。また、横沢入里山保全地域においても都の調査を継続実施する。 今後の調査のあり方などは、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」に合わせて検討する。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度				平成 26 年度		担当課
					実績		評価		予定・進捗		
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	里山の現状調査の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)		
				評価と利活用方針の検討	自然環境調査においてフォロー調査を実施した。また、横沢入については、都の里山保全地域のため、都により評価や検討がされている。 自然環境調査結果の評価や里山の利活用方針の検討などは、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定の中で実施した。	A	A	自然環境調査においてフォロー調査を実施する。また、横沢入については、都の里山保全地域のため、都により評価や検討がされると思われる。 自然環境調査結果の評価や里山の利活用方針の検討などは、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定の中で実施する。	環境政策課 (環境政策係)		
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)		
				モデル地区での保全管理活動の実践	モデル地区の選定には至っていないが、保全・管理が急がれる場所については、随時対応した。(トウキョウサンショウウオ、希少植物等) また、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、モデル地区(保全地区)のあり方などを検討した。	B	A	モデル地区の選定には至っていないが、保全・管理が急がれる場所については、随時対応する。 また、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、モデル地区(保全地区)のあり方などを検討する。	環境政策課 (環境政策係)		
					菅生地区において、良好な里山環境という地域資源を生かしつつ、産学官による森づくりを地域の方を中心に取組を進めている。その他、本地区には、良好な里山環境の中、南北に散策に適したゆるやかな尾根道があり、地域の方により尾根道の整備が行われている。	A		産学官において取り組んでいる菅生地区の森づくりについては、植樹計画の策定を行い森づくりを進め、尾根道整備についても継続して行っていく。	環境政策課 (環境の森推進係)		
				各地域での保全策の検討	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で各地域の保全策について検討した。また、保全対策が急がれるところについては、関係団体との調整のうえ、保全策を実施した。	A	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で各地域の保全策について検討する。また、保全対策が急がれるところについては、関係団体との調整のうえ、保全策を実施する。	環境政策課 (環境政策係)		
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)		
					横沢入保全活動として、林道の整備(雪害対策)を実施した。	A		横沢入保全活動として、林道の草刈りを実施予定	農林課		
				緑地保全基金の活用(再掲)	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性に関する財源確保の方策に合わせ、緑地保全基金の活用について検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて決定する。	環境政策課 (環境政策係)		
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境の森推進係)		
					当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当し、郷土の恵みの森づくり事業基金を有効に活用した。	A		当初予算において郷土の恵みの森づくり森林レンジャー事業へ200万円を充当するなど、郷土の恵みの森づくり事業基金の有効活用を図り、森づくりを推進する。	財政課		
				ボランティアの育成・活用(再掲)	横沢入ではボランティアの活用により里山保全が図られている。	A	A	継続実施する。	環境政策課 (環境政策係)		

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
					実績		予定・進捗		
						評価			
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	里山の保全と活用	ボランティアの育成・活用（再掲）	町内会・自治会との協働により、郷土の恵みの森づくりを推進するため、市職員及び市内外の森づくりに関心のあるボランティアで組織する「森林サポートレンジャーあきる野」が、町内会・自治会が行う普道や尾根道の補修、景観整備とともに、森づくりイベントなどの支援を行った。平成 25 年度は、11 回の活動に 87 人が参加した。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
				五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。	A	五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施する。		生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）	
				市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を終了したので市民解説員として 4 名を認定した。	A	市民解説員人材育成入門講座を全て受講し、解説実習を終了した方を市民解説員として認定する。2 名（予定）		生涯学習スポーツ課 （H24：公民館）	
				学校里山ゾーンの設定・学習体験活動の実施	学校里山ゾーンの設定はしていないが、横沢入では増戸小児童による稲作体験が実施されている。また、他の小学校においても稲作体験や地域の特性を生かした体験授業が行われている。	B	A	平成 25 年度と同様である。	環境政策課 （環境政策係）
					小学校（市内 11 校、市外 1 校）を対象にした自然体験学習を行った。また「森の子コロンジャー」については、自然を楽しむことの先にある「より深く自然を学ぶ」活動を行った。	A		平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
					郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加した。また、小宮ふるさと自然体験学校での自然体験学習を各小学校で実施した。	A		郷土の恵みの森構想に基づき、近隣小・中学校で体験活動に参加していく。 また、小宮ふるさと自然体験学校での自然体験学習を各小学校で実施していく。	指導室
			秋留台地一帯の農地の保全と活用	農業振興計画との整合	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施した。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発した。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施した。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行った。 ・農地の散策や収穫体験を実施した。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地を認定農業者等に利用集積を実施する。 ・農業後継者に農業技術研修への参加を啓発する。 ・獣害対策として、追い払い等実施し、狩猟免許取得に対して、補助事業を実施する。 ・畜舎の衛生管理用の薬剤を配布し、指導を行う。 ・農地の散策や収穫体験を実施する。 	農林課
				農地の環境面からの機能の PR	「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、地産地消をはじめ、農地の有する様々な機能や PR の必要性について検討された。	B	B	「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の方向性を踏まえて手法等検討する。	環境政策課 （環境政策係）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績		評価			予定・進捗
自然環境	骨格をなす 5 つの環境軸の保全	一般	秋留台地一帯の農地の保全と活用	中山間地域ふれあい農業の検討	検討は行ったが実施に至っていない。	C	C	農地の利用集積により農産物の生産・販売の促進に向け検討する。	農林課
				あきる野産の農産物の利用拡大の検討	地元産野菜の学校給食へ使用を進めた。	A	A	地元産野菜の学校給食へ使用を進める。	農林課
				遊休農地の活用方策の検討・推進 (学校農園、市民農園など)	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図った。	A	A	地主の意向調査に基づき、遊休農地の利用集積を図る。	農林課
					総合的な学習の時間等を通して、農地を借りて農業体験を実施した。	A		前年同様に実施していく。	指導室
		人材育成と活用の仕組みづくり (農業委員会との連携・後継者の育成支援)	農業委員会と認定農業者、農業後継者との意見交換会を実施し交流を図った。	B	B	農業委員会と認定農業者、農業後継者との意見交換会等を実施し交流を図る。	農林課		
		秋川・平井川流域の総合的な保全	流域の一体的な保全（水と緑の環境保全）	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。	環境政策課 (環境政策係)	
				秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。	生活環境課 (生活環境係)	
			秋川・平井川流域における環境保全の推進	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。 また、オオキンケイギクやオオカワチシャ等、河川周辺の生態系に影響を与える外来種対策を実施した。	A	A	平井川流域連絡会に参画し、河川の保全等に取り組む。 また、オオキンケイギクやオオカワチシャ等、河川周辺の生態系に影響を与える外来種対策を実施する。	環境政策課 (環境政策係)	
				秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組んだ。 市民や清流保全協力員からの通報により、河川等での水質異状事故（4 件）に対応した。	A		秋川・平井川流域生活排水対策連絡協議会に参画し、河川の保全等に取り組む。 市民や清流保全協力員からの通報により、河川等での水質異状事故に対応する。	生活環境課 (生活環境係)	
				平井川こどもの水辺協議会の構成団体として参画（1 回 7 月 29 日）	A		平井川こどもの水辺協議会の構成団体として参画予定	生涯学習スポーツ課 (H24：生涯学習推進課)	
			公有林を主体とした広葉樹林帯の拡大（再掲）	戸倉、乙津地区においてスギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹の植栽を行った。（花粉対策事業）	A	A	スギを伐採し、花粉の少ないスギ、広葉樹を植栽することで針広混交林化を図る。また、森林資源活用事業で景観伐採跡地に広葉樹を植栽し、針広混交林化を図る。	農林課	
		湧水の保全 (湧水調査、湧水の PR、雨水浸透の促進)	東京都が、湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等 57 箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行った。	A	A	東京都が、湧水への関心を高め、その保護と回復を図るため、水量、水質、その由来、景観などに優れた湧水等 57 箇所を「東京の名湧水」として選定しており、市内で選定されている「二宮神社のお池」「八雲神社」について、市のホームページでも周知を行う。	環境政策課 (環境政策係)		
			東京都の湧水マップの見直しに伴い湧水地点の確認を行ない、湧水の状況把握をするとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図った。	A		環境調査を通じて湧水の状況を把握するとともに、清流保全条例等により、湧水の保全や雨水浸透の促進について啓発を図る。	生活環境課 (生活環境係)		
			開発指導要綱に基づき、雨水浸透を指導している。	A		雨水浸透を指導する。	都市計画課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績		予定・進捗			
					評価				
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	秋川・平井川流域の総合的な保全	親しめる環境づくり（親水散策路の整備）	実施していない	C	C	実施予定なし	建設課
				崖線地区の保全 （市街化調整区域への指定変更、公有地化）	保存緑地として管理（市有地）するとともに、保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行った。	A	A	保存緑地として管理（市有地）するとともに、保存緑地や公開緑地として、保全できる箇所について、保全の支援等を行う。	環境政策課 （環境政策係）
					線引き変更の検討	C		線引き変更の検討	都市計画課
				市民意識の啓発	清流保全を呼びかける看板を設置している。なお、平成 25 年度は新たに盆堀川2箇所及び平井川2箇所に清流保全等の看板を設置した。また、清流保全協力員によるパトロールを実施している。	A	A	平成 25 年度と同様に実施する。清流保全協力員から意見・要望等があった場合には必要に応じて対応する。	生活環境課 （生活環境係）
			モデル地区での水質浄化活動	モデル地区の選定には至っておらず、水質浄化活動は実施していない。モデル地区については、「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、あり方などを検討した。	C	C	「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、モデル地区のあり方や水質浄化活動の必要性について検討する。	環境政策課 （環境政策係）	
				モデル地区の設定がされておらず、実施していない。	C		実施予定なし	生活環境課 （生活環境係）	
			地質・地形の保存と活用	適正な評価の実施	実施していない	C	A	実施予定なし	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）
		自然環境調査部会地質班については、秋川流域ジオパーク推進会議に参画し、日本ジオパーク認定に向けた取組を進めた。			A	秋川流域ジオパーク推進会議において、日本ジオパーク認定に向け取組を進める。		環境政策課 （環境政策係）	
		財源の確保		実施していない	C	A	実施予定なし	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）	
				平成 24 年 4 月にあきる野市、日の出町、檜原村をはじめ、有識者、観光協会、商工会、流域住民などが連携し、秋川流域ジオパーク推進会議を組織し、日本ジオパーク認定に向けた取組を始めた。この取組に当たって、多摩・島しょ広域連携活動助成金を受けている。	A		平成 26 年度においても、多摩・島しょ広域連携助成金を活用する。	環境政策課 （環境の森推進係）	
		文化財の指定、開発の抑制		都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の礫石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開した。	A	A	都指定名勝「奥御岳景園地」、天然記念物「六枚屏風岩」、「大岳鍾乳洞」、「南沢鳥の礫石灰岩産地」を所有者の管理の下に保存、公開する。	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）	
			実施していない	C	実施予定なし		都市計画課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課				
				実績	評価	予定・進捗						
自然環境	骨格をなす5つの環境軸の保全	一般	地質・地形の保存と活用	郷土学習の支援（多様な連携づくり）	公民館との事業連携をはじめ、横沢入里山保全地域運営協議会及び自然環境調査部会へのオブザーバー参加等を行った。	A	公民館との事業連携をはじめ、横沢入里山保全地域運営協議会及び自然環境調査部会へのオブザーバー参加等を行う。	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）				
					森林レンジャーあきる野が主催する森や動植物に関連する各種イベントを実施した。また、小学校の環境学習の支援を行った。	A			平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課（環境の森推進係）		
					「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の公共施設への設置を行った。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成 21 年度～23 年度）」を図書館等で閲覧できるようにするとともに、学校等へ配布した。	A			「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の公共施設への設置を継続する。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成 21 年度～23 年度）」の図書館等での公開を継続する。さらに、「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の検討の中で、学習教材とできるような冊子等の作成について検討する。	環境政策課（環境政策係）		
				都民や市民への広報活動（文化財図書等の発行）	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巖石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図った。また、ミエソウの化石複製の展示を行った。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PR を行った。さらに、「一肩のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とした。	A	東京都文化財ウィークに参加するとともに、所有者に呼びかけ、南沢鳥の巖石灰層等の公開を支援し、特質ある地形・地質の周知を図る。また、ミエソウの化石複製の展示を行う。また、自然関連書籍を多摩郷土誌フェアにおいて販売し、PR を行う。さらに、「一肩のぶどう」に天然記念物や地形の特質等を紹介し、その周知を図るとともに保全意識の啓発の機会とする。	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）				
					「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の配布を行った。また、「あきる野市自然環境調査報告書（平成 21 年度～23 年度）」を図書館等の公共施設で閲覧できるようにするとともに、市ホームページで公表した。	A			リーフレットの配布を継続する。また、自然環境調査報告書を図書館等の公共施設で閲覧できるようにするとともに、市ホームページで公表する。	環境政策課（環境政策係）		
					自然に関わる講座、写真展や資料の展示を行い、地形・地質等の特性についての環境保全啓発の機会とした。	A			自然に関わる講座、写真展や資料の展示を行い、地形・地質等の特性についての環境保全啓発の機会とする。	生涯学習スポーツ課（H24：生涯学習推進課）		
				文化財講座等の開催（市民カレッジ、市民解説員の活動推進）	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を 29 回実施した。	A	市民カレッジ等（主に市民解説員養成講座）・市内探訪（市民解説員による市内案内）を 33 回実施（予定を含む）	生涯学習スポーツ課（H24：公民館）				
					環境に関する情報の収集・公開（広報等）	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）			
				生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	環境関連講座の開催	B	B	実施予定なし	生活環境課（生活環境係）
								環境調査の実施（項目等の見直し・充実）	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）
これまでと同様に必要な環境調査を実施するとともに、環境の変化に合わせ、項目の見直し等を行っている。	A	A	平成 25 年度と同様である。					生活環境課（生活環境係）				

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	自動車による大気汚染の低減 (自動車利用の抑制、エコドライブの推奨)	<ul style="list-style-type: none"> 市として次の内容に取り組んだ。 市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進した。 給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行った。 月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行った。 エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付した。 産業祭「環境展」において来場者を対象にエコドライブ一度チェックを実施するとともに、啓発用ステッカーを配布した。 総務課・職員課と連携し、全職員を対象にエコドライブに関するセルフチェックを実施した。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 市として次の内容に取り組む。 市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。 月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。 エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 産業祭「環境展」において普及啓発事業を実施する。 市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。 	環境政策課 (環境政策係)
				本庁舎の庁用自動車の燃料使用量の削減に努め、平成 24 年度比で 1211.8ℓ (3.7%) 減少した。また、その他 21 の外部施設については、24 年度比で 1193.2ℓ (28.7%) 減少した。	A		公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、CO2 の排出量の削減(庁用自転車活用を含め)を推進する。	総務課	
				公共交通機関等の利用促進 (駐輪場の整備、るのバス等の充実)	会議回数 10 回 JR 五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR 五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。	A	A	JR 五日市線複線化促進協議会等の活動を通じ、JR 五日市線の改善要望など、公共交通の利便性の向上に取り組む。	企画政策課
					「低排出ガス重量車」に認定されている車両をコミュニティバスとして導入している(平成 23 年度購入車両：るのバス)。	A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。(平成 23 年度購入車両：るのバス)。	地域防災課
				低公害車の率先導入	「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している(平成 25 年度購入車両：第 7 分団本部のポンプ車)。	A	A	引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。	地域防災課
					低公害車を 3 台導入した。	A		低公害車 4 台の導入予定	総務課
				低公害車の普及・啓発(情報提供)	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。 ただし、低公害車の普及に関する施策は一段落を迎えており、次世代自動車等に関する施策に移行しつつあるため、低公害車に関する情報等は非常に少なくなっている。	A	A	平成 25 年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)
				粉じん防止対策の充実	粉じん苦情件数：2 件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して粉じん発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 (生活環境係)

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
					実績		評価			予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般		悪臭防止対策の充実	悪臭苦情件数：12 件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。		A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して悪臭発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 (生活環境係)	
				重点	事業所排水対策	排水水質調査・是正指導	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施した結果、環境基準を超過した事業所はなかった。		A	A	水質汚濁防止法の特定施設に該当する事業所に対し、排水の水質調査を実施する。
		生活排水対策	下水道への接続啓発・普及			広報、接続依頼通知の発送を行った。		A	A	広報、接続依頼通知の発送、戸別訪問によるチラシの配布を予定。	管理課 (H24：下水道課)
			下水道の整備		下水道の整備面積約 2 ヘクタールを実施した。		A	A	下水道の整備面積約 2 ヘクタールを実施する予定である。	管理課 (H24：下水道課)	
			合併処理浄化槽の設置補助（補助金）		合併処理浄化槽設置補助件数：10 件 既存単独浄化槽撤去補助件数：1 基 生活排水対策の一環として、国、都、市で下水道設置認可区域外における合併処理浄化槽設置に補助金を交付した。		A	A	制度等については、前年度と同様である。 補助件数として、 設置補助基数：13 基（目安） 単独浄化槽撤去補助：1 基（目安）	生活環境課 (生活環境係)	
		一般	家庭・事業所排水対策（普及・啓発の実施）		水質汚濁（排水に係るもの）苦情件数：1 件 合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求めている。		A	A	合併処理浄化槽設置補助金の交付等を通じて適切な排水処理について啓発を図るとともに、苦情が発生した際には必要な指導を行い、改善を求める。	生活環境課 (生活環境係)	
					下水道事業認可区域外の地域における汚水処理施設設置検討	実施していない		C	C	実施予定なし	管理課 (H24：下水道課)
			工場・事業場からの騒音防止対策の充実	工場・事業場に関する騒音苦情件数：3 件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。		A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して騒音発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 (生活環境係)		
			道路交通騒音対策の実施（都等への要望）	実施していない		C	C	要望に応じて実施する。	建設課		
		近隣騒音防止対策の充実（啓発・指導）	近接騒音苦情件数：17 件 苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行っている。		A	A	苦情が発生した際に、現地を確認のうえ、必要な指導等を行う。	生活環境課 (生活環境係)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	一般	公害の防止	航空騒音対策の実施（関係機関への要請）	苦情件数：40 件 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望している。また、未然防止措置として、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請している。	A	A	苦情件数：5 件 （平成 26 年 5 月 9 日現在） 苦情が寄せられた際に騒音発生の時間帯等を把握し、横田防衛事務所に確認するとともに、配慮を要望する。 未然防止措置としては、市の行事等を事前に横田防衛事務所に伝え、訓練計画策定の際に配慮を要請する。また、国に対し、防衛施設周辺整備全国協議会を通じて騒音や訓練等の対策に関する要望をしている。	企画政策課
				有害化学物質に係る情報の充実（情報提供）	東京都等を通じて寄せられる有害化学物質の情報等について、必要に応じて周知を図っている。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
				有害化学物質の使用の適正化の促進（届出に係る指導）	有害化学物質使用届出件数：13 件 有害化学物質を使用している事業者に対し、毎年、使用量報告を提出してもらい、使用の適正化を推進している。	A	A	有害化学物質使用届出件数：13 件（目安） 平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
				振動防止対策の充実（苦情に伴う指導）	振動苦情件数：1 件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求めている。	A	A	都条例である「環境確保条例」等に基づき、工場等に対して振動発生防止を指導するとともに、苦情が発生した際には、苦情原因者に対して必要な指導を実施し、改善を求める。	生活環境課 （生活環境係）
				土壌汚染防止対策の実施（指導や調査の奨励）	土壌汚染調査結果報告書提出件数：4 件 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導している。	A	A	土壌汚染調査結果報告書提出件数：1 件（目安） 都条例である「環境確保条例」等に基づき、有害化学物質を取り扱っていた工場等を除却する際に、土壌汚染調査の実施及び報告の提出等を指導する。	生活環境課 （生活環境係）
				家畜のふん尿等の衛生管理の推進（指導、巡回・指導、排せつ物処理施設の整備）	<ul style="list-style-type: none"> 畜産農家の巡回指導を実施 畜産衛生管理に対する補助金の支援 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 畜産農家の巡回指導を実施 畜産衛生管理に対する補助金の支援 	農林課
				地下水保全対策の充実（揚水規制）	地下水揚水量報告書提出件数：18 件 一定規模以上の揚水施設を設置する際は届出書を提出してもらうとともに、毎年、揚水量報告書を提出してもらい、適正な地下水の揚水に努めている。	A	A	地下水揚水量報告書提出件数：18 件（目安） 平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）
					かん水施設管理組合が維持管理している。	A		かん水施設管理組合が維持管理していく。	農林課
光害防止対策の研究	光害に対する苦情件数：0 件 現在のところ、光害に対する苦情は寄せられていないが、国のガイドラインの内容の把握など、研究に努めている。	A	A	国のガイドラインの内容の把握など、研究に努める。	生活環境課 （生活環境係）				

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	重点	循環型社会構築の推進	「ごみ会議」の運営・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議開催 12 回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンポスト）など 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議開催 5 回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・西秋川衛生組合新炉見学会 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンポスト） 	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				ごみ減量・リサイクル意識の啓発 (情報誌「へらすぞう」の発行等)	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的にリサイクルフェアを年 2 回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）、秋には、環境問題啓発ポスター展示を実施。情報誌「へらすぞう」発行 1 回	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				落ち葉の堆肥化の推進	草花公園に堆肥化枠を新たに 1 基設置し、市内 4 箇所地元自治会等の協力を得て落ち葉の堆肥化を実践した。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				グリーン購入の推進 (考え方や商品等の紹介・PR)	実施していない	C	C	リサイクルフェア等で周知を図る。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				省資源（レジ袋削減・簡易包装等）・ロングライフ（長寿命）化の推進（情報提供・意識啓発）	リサイクルフェア及びへらすぞうで啓発した。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	C	商工会の協力を得て検討する。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
		一般	循環型社会の構築	エコショップ認定制度の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	観光商工課			
				リサイクルフェアの実施	ごみの減量、資源化をはじめとする環境問題の啓発を目的に年 2 回実施。フリーマーケット、不要家具等の再利用コーナー、修理やさんコーナー（玩具・包丁砥ぎ）秋には、環境問題啓発ポスター展示等を実施	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				廃食油石けんづくりの普及	廃食油を利用した石けんづくりは、現在のところ 3 団体（年間 10 回）が実施しており、秋のリサイクルフェアでは、来場者に配布し、普及を図っている。	A	A	平成 26 年度から 2 団体の活動となる。	生活環境課 (生活環境係)			
				生ごみリサイクルの促進 (生ごみ処理機導入補助・EM 菌バケツ貸出)	生ごみ堆肥化処理機器購入費の補助及び EM 菌バケツ貸与、段ボール方式生ごみ処理講習会の実施 コンポスト 16 基 EM 菌バケツ 95 世帯 183 個	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			
				省資源型経営の推奨	実施していない	C	C	周知方法等を検討する。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
生活環境	健康で安全な循環型のまちの実現	循環型社会の構築	ごみの戸別収集・有料化	平成 16 年 4 月からごみの戸別収集・有料化を継続実施している。 ・総収集量 23,501 t (平成 24 年度) → 23,337 t (平成 25 年度) ・燃やせるごみ 14,665 t (平成 24 年度) → 15,289 t (平成 25 年度) ・燃やせないごみ 3,304 t (平成 24 年度) → 2,599 t (平成 25 年度)	A	A	ごみの戸別収集・有料化を継続する。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
			資源集団回収の実施	ごみの減量、資源化を推進し資源循環型社会の推進を図る。 109 団体 回収量 2,043 トン	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	健康で安全な循環型のまちの実現	循環型社会の構築	ペットボトル等拠点回収実施	毎週 2 回拠点回収する。 ・ A 地区 回収箇所 51 箇所 / 回収日数 103 日 ・ B 地区 回収箇所 64 箇所 / 回収日数 103 日 回収量 計 137 トン	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
			新たなリサイクルシステムの検討	平成 28 年度に予定しているリサイクルセンター稼働に向けて検討を行っている。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
			剪定枝等のリサイクル方法の検討	落ち葉の堆肥化枠を市内 4 箇所に設置している。(うち 1 箇所は、平成 25 年度設置)	A	A	平成 26 年度も継続していく。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
			放置自転車リサイクルの実施	市が管理する自転車等駐車場に放置された自転車 16 台を公共若しくは公共的団体に無償譲渡し、9 台を民間業者に売却し再活用してもらっている。	A	A	引き続き、公共的・民間の活用により再利用に取り組む。	地域防災課
			環境低負荷型の収集の実現 (効率的な収集ルートを選定、収集車の低公害化)	委託事業により、環境低負荷型の収集を行った。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
			ごみ焼却に伴う環境負荷の低減 (ダイオキシン類の発生抑制等)	市のごみは、西秋川衛生組合の焼却場で焼却処理しているが、環境基準に対応するよう施設の管理をしている。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	身近な自然を生かしたまちの創造	市街地における緑の確保	公園の整備の推進	・各公園にさつき等の植樹をした。(森の下公園、さくら公園、萩野公園、峯谷戸緑地) ・民間遊び場の補助金 1 件	A	A	各公園に植樹を予定	管理課
			実施していない		B		予定あり	建設課
			実施していない		C		実施予定なし	区画整理推進室

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	公園の整備の推進	市役所全課へ市施設における剪定等の配慮を呼びかけるとともに、様々な機会を捉え、同様の配慮の働きかけを行った。 また、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、街路樹や公共施設の緑のあり方を検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、街路樹や公共施設の緑のあり方を検討する。また、市役所全課へ市施設における剪定等の配慮を呼びかけ、担当課で樹木の枝打ちや伐採をする際の相談を受け付けるとともに、「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の庁内プロジェクトチームにおいて、同様の配慮を呼びかける。	環境政策課 (環境政策係)		
				緑化の推進(開発時の緑化指導)	ふるさとの緑地保全条例に基づき、緑化指導を行っている。	A	A	平成 25 年度と同様である。	環境政策課 (環境政策係)	
					開発指導要綱に基づき指導を行っている。	A		平成 25 年度と同様である。	都市計画課	
		計画	市街地における緑の確保	緑化の効果のPR	春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗(3ポット×300人)及び種(300袋)を配布するとともに、グリーンカーテン講習会を実施した。また、グリーンカーテンコンテスト(参加者:個人18、団体9)を実施した。	A	A	公共施設でグリーンカーテン用のゴーヤの種を配布する。また、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗及び種を配布する。前年に引き続きグリーンカーテンコンテストを実施する。 「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」及び「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の策定に伴いPRする。	環境政策課 (環境政策係)	
				地元野菜の普及・活用(食育)	施設園芸(温室等)化	要望調査を実施した。 3直売所の農作物売上調査の実施した。	A	A	要望調査を実施する。 3直売所の農作物売上調査の実施	農林課
					保育園給食等への供給検討・実施	学校給食への導入を図った。	A	A	学校給食への導入を図る。	農林課
				地元産野菜を題材にした食育の推進	学校給食に地元産野菜を使用した。 ・提供野菜 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜、トウモロコシ	A	A	学校給食に地元産野菜を使用を図る。 ・提供野菜(予定) 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜、トウモロコシ	農林課	
					簡単料理レシピの募集と地域講習会(1回)の開催 ファーマーズセンター等へ「旬クッキングレシピ」を設置。(季節に合わせて4回実施)	A		簡単料理レシピ地域講習会と出前講座の開催。 旬クッキングレシピの配布による地産地消の推進。	健康課	
				農業の振興・支援	後継者の育成支援	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	A	A	補助金の支援 先進地視察の実施 農業委員会との意見交換会の実施	農林課

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
						実績		評価	予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	市街地における緑の確保	農業の振興・支援	獣害防止対策の実施（被害状況のモニタリング、電気柵設置）	あきる野の農と生態系を守り隊を発足し、猟友会会員などの捕獲従事者の育成・確保を図った。 獣害防止対策の実施（被害状況の調査、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援等	A	A	あきる野の農と生態系を守り隊を発足し、猟友会会員などの捕獲従事者の育成・確保を図る。 獣害防止対策の実施（被害状況の調査、電気柵の貸し出し） わな免許取得の支援等	農林課	
				農地の適正管理と活用	生産緑地制度の推進・管理・追加指定（希望者把握・協議）	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。 定期的なパトロールは年 1 回実施する。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	A	A	農地パトロールを実施し、不耕作地の指導をする。 定期的なパトロールは年 1 回実施する。 生産緑地の追加指定を随時実施している。	農林課	
					市民農園制度の活用 ・取組方策の検討（遊休農地の活用ほか）	新たな担い手の育成・確保のため、規模の大きい市民農園を秋川農業協同組合と連携し、秋川ファーマーズセンターに開設した。 市民農園利用者に農業講習会を年 2 回実施した。	A	A	規模の大きい研修農園（市民農園）を新規就農を目指す者に貸し出し、あきる野農業の新たな担い手として育成していく。 市民農園利用者に農業講習会を年 2 回実施する。	農林課	
					保存樹木・保存緑地の指定	平成 25 年度では、新たな保存緑地の指定はなかった。	A	A	保存緑地の指定を推進する。	環境政策課（環境政策係）	
				一般	みどりの大切さの PR	地球温暖化対策として、市広報・ホームページで PR した。 また、夏の節電対策のリーフレットの中で、地球温暖化対策におけるみどりの効果について PR し、各戸配布した。	A	A	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」及び「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」を通じて、さらに PR を行う。	環境政策課（環境政策係）	
					市民参加による清流の保全	清流保全協力員活動（看板の設置等）	清流保全条例に基づき設置した清流保全協力員の協力のもと、河川パトロール、水質調査（COD）、ホテルの生息状況調査等を実施している。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）
	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	魅力ある川づくり	市民参加型イベントの検討・実施	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施した。（8月31日）	B	B	自然環境調査において、市民参加型の水生生物調査「ガサガサで生き物調べ」を実施予定。	環境政策課（環境政策係）		
				活動の公表の検討	実施していない	C	A	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）		
					一斉清掃の実施	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（生活/清掃）		
				河川景観の整備	河川管理者に依頼し、草刈り等を行った。（4か所）	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（生活環境係）		
					実施していない	C	A	実施予定なし	建設課		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	重点	魅力ある川づくり	市民参加による清流の保全	川遊びのマナー等の向上（マナーの周知・清掃活動・不法投棄防止）	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行っている。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努めた。	A	A	ホームページを活用し、マナー向上の啓発を行う。また、市民一斉清掃の実施や不法投棄防止パトロールを行い、河川環境の維持に努める。	生活環境課 （生活/清掃）
				ホタルが見られる場所の調査	実施していない	C	A	実施予定なし	環境政策課 （環境の森推進係）	
					自然環境調査部会の昆虫担当が不在となったことから、実施していない。	B		「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、今後の自然環境に関する調査のあり方を検討するに当たり、昆虫に関する調査のあり方も含めて考えていく。	環境政策課 （環境政策係）	
					清流保全協力員の協力のもと、ホタルの生息状況調査を実施した。	A		過去の調査結果をもとに追跡調査を実施する。	生活環境課 （生活環境係）	
				ホタルが棲める川づくり	ホタルが棲める川づくり（ホタルの保護など）	ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に実施している河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組について、ホタルの里づくり推進事業補助金を交付し支援をした。支援は、深沢自治会ほたるの会、南郷用水ホタルの会（雨間町内会）、落合自治会ほたるの会及び一の谷地区ほたるの会の4団体である。また、圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園については、区域内に水路もありホタルが生息しているため、菅生ホタルの里づくりの会に対し、公園内の清掃等や水路の美化等によるホタルの保全活動を業務委託している。	A	A	平成 25 年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
						実施していない。 「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、ホタルをはじめとする様々な生きものの棲む川づくりについて検討した。	B			
		子どもの水辺事業の推進	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席（1回 7月29日） ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示	A	A	平井川こどもの水辺協議会への参画 ・会議の開催支援と出席（1回） ・川ガキ新聞、募集チラシ等の配布協力、カレンダーの掲示予定	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）			
		親水散策路の整備の推進（再掲）	実施していない	C	C	実施予定なし	建設課			
		あきる野百景の保全・活用の検討	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施した。	A	A	観光商工課において「みんなで歩くあきる野百景めぐり」のパンフレットを配布・活用しながら、観光ボランティアの取組を実施する。	環境政策課 （環境政策係）			
		散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	分かれ道等に誘導標識を設置した。	A	A	必要に応じて対応を図る。	観光商工課			
一般										

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
					実績	評価	予定・進捗		
生活環境	身近な自然を生かしたまちの創造	一般	魅力ある川づくり	散策路・遊歩道の整備（親水散策路の整備：再掲）	危険箇所への注意喚起の看板設置、応急修理等を行った。	A	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。	観光まちづくり活動課（H25～）
				実施していない	C	実施予定なし		建設課	
			水と緑のマップの充実	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の無料配布、「あきる野市自然環境調査報告書（平成 21 年度～23 年度）」の公開により、市民への周知を進めた。	A	A	「知って守ろうあきる野の自然」（リーフレット）の無料配布、「あきる野市自然環境調査報告書（平成 21 年度～23 年度）」の公開により、市民への周知を進める。また、「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の策定を通じて、マップなどの生物多様性に関する情報の発信方法も検討する。	環境政策課（環境政策係）	
	美しく清潔なまちの形成	重点	景観の整備	良好な街並みづくり（地区計画）（区画整理事業区域・線引き変更箇所）	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催（計 3 回開催） 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定への資料作成 ・事業認可への資料作成 ・まちづくり協議会の開催（計 6 回予定） 	区画整理推進室
					平成 25 年度については実施していない。	A		線引き変更に伴い検討する。	都市計画課
				歩きやすいみちづくり（散策路、遊歩道の整備）	実施していない	C	実施予定なし	建設課	
					平成 25 年度は実施していない ※観光まちづくり活動課で対応	A	必要に応じて対応を図る。	観光商工課	
					危険箇所への注意喚起の看板設置、応急修理等を行った。	A	市内の散策ルートについて、倒木や雑草の処理及び誘導標識の設置等の対応を図る。	観光まちづくり活動課（H25～）	
					平成 25 年度においても 8 つの町内会・自治会により、昔道・尾根道の整備が行われており、同じく 8 つの自治会により、景観整備が行われている。これらの事業の実施により、武蔵五日市駅から瀬音の湯までのコースをはじめ、既存の登山道などとあわせていくつかのコースが維持されている。これに加え、景観整備により植えられた樹木等は、散策等で訪れる観光客の目を楽しませている。	A	A	平成 26 年度については、9 町内会・自治会により昔道・尾根道整備を予定しており、9 自治会により景観整備を予定している。	環境政策課（環境の森推進係）
		良好な街並みづくり（地区計画の活用）	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進めている。	A	A	地区計画に基づき、地区の特性にあった良好な環境のまちづくりを進める。	都市計画課		
	一般	景観保全・形成の方向性の決定（都市景観ガイドラインの策定等）	実施していない	C	未定	都市計画課			
			実施していない	C	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	景観の整備	市民参加型のまちづくりに向けた意識啓発（a.マナーやルール、b.まちづくり教育・組織づくり）	・二宮まちづくり協議会の開催（視察研修含む計3回開催） ・引田まちづくり協議会の開催（計3回開催）	A	A	・二宮まちづくり協議会の開催（視察研修含む計3回予定） ・引田まちづくり協議会の開催（計6回予定）	区画整理推進室
				実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
				商店街の景観整備	実施していない	C	C	実施予定なし	観光商工課
				まちかど広場等の整備	平成 25 年度については実施していない。	B	B	実施予定なし	建設課
				買い物マップの作成	実施していない	C	C	実施予定なし	観光商工課
				観光スポットのPR	ホームページでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A	A	ホームページでの情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	観光商工課
					ホームページ、携帯サイト及びFacebook、LINE等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを行った。	A		ホームページ、携帯サイト及びFacebook、LINE等での情報発信やパンフレットの設置により、PRを図る。	観光まちづくり活動課（H25～）
				不適正な屋外広告物（看板等）の指導、撤去	893 枚を撤去した	A	A	1,000 枚の撤去を予定している。	管理課
		電線の地中化の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	区画整理推進室		
			実施していない	C		実施予定なし	管理課		
		重点	清潔なまちづくり	たばこ・ごみのポイ捨て防止（意識啓発）	産業祭においてたばこのマナー向上の普及啓発を図った。	B	A	平成 26 年度及び平成 27 年度の 2 か年で策定を予定している「（仮）あきる野市第二次環境基本計画」において、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた取組のあり方を検討する。また、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた情報収集は継続して実施する。	環境政策課（環境政策係）
					ごみ捨て禁止、不法投棄禁止の看板を設置している。	A		平成 25 年度と同様である。	生活環境課（清掃・リサイクル係）
				一斉清掃の実施	年 2 回、春、秋に実施 春 16,710 人参加 24.60 トン収集 秋 15,387 人参加 24.18 トン収集	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課（清掃・リサイクル係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
					実績	評価	予定・進捗		
生活環境	美しく清潔なまちの形成	重点	清潔なまちづくり	ボランティア活動の推進（ボランティア袋の配布、収集ごみ等の回収）	配布箇所 11 施設 配布枚数 ・可燃大 972 組 ・可燃小 236 組 ・不燃大 337 組 ・不燃小 225 組	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				ポイ捨て防止などの対策の研究	現状から、新たなポイ捨て防止などの対策の研究はしていない。 ただし、JT などとの情報交換は継続している。	B	B	平成 26 年度及び平成 27 年度の 2 か年で策定を予定している「（仮）あきる野市第二次環境基本計画」において、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた取組のあり方を研究する。 また、たばこ・ごみのポイ捨て防止に向けた情報収集は継続して実施する。	環境政策課 （環境政策係）
					実施していない	C		実施予定なし	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				不法投棄防止対策の充実	シルバー人材センターに委託し、不法投棄防止パトロールの実施及び不法投棄がされやすい場所に不法投棄防止の看板を設置している。	A	A	平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
		一般		ごみ会議の開催	・全体会議開催 12 回 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・生ごみ処理講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）など	A	A	・全体会議開催 5 回 ・情報誌「へらすぞう」編集会議 ・西秋川衛生組合新炉見学会 ・情報誌「へらすぞう」の発行 ・生ごみ堆肥化講習会の開催 ・リサイクルフェアへの参加 ・夏休み親子教室（ダンボスト）	生活環境課 （清掃・リサイクル係）
				道路・公園・公共建物等の適正管理の実施	街路樹の剪定、道路の路面清掃、道路側溝等の清掃を行った。	A	A	街路樹の剪定、道路の路面清掃、道路側溝等の清掃を行う。	建設課
					アダプト制度の導入により、市民団体等による管理を実施した。 昨年度より 1 団体増加し全体で 6 団体。	A		アダプト制度の登録団体の更なる拡大を行い、市民団体等による管理を実施する。	管理課
					一斉清掃の実施や、ボランティアとして清掃する方にボランティア袋の配布を行った。	A		平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （清掃・リサイクル係）

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
生活環境	美しく清潔なまちの形成	一般	清潔なまちづくり	空き地の適正管理	あき地の適正管理に対する苦情件数：26 件 あき地の管理適正化に関する条例に基づき、管理のされていないあき地の所有者に対し、草刈り等を実施するよう指導している。	A	A	あき地の適正管理に対する苦情件数：30 件（目安） 平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）			
				ペットの飼い方等の意識啓発	広報紙等によりペットの飼い方等の啓発活動を実施した。	A	A	平成 25 年度と同様に継続実施する。	健康課			
				苦情対策	ペットに関する苦情件数：4 件 ペットに関する苦情については、東京都や健康課と連携し、対応しているところであり、環境衛生の観点から、可能な範囲で、飼い主に対して適正な飼育の依頼をしている。	A	A	ペットに関する苦情件数：3 件（目安） 平成 25 年度と同様である。	生活環境課 （生活環境係）			
					（犬のフン、鳴き声の苦情）苦情者等に啓発用注意看板（小看板）を配布、また、広報紙等によりマナーを守るよう啓発活動を実施した。	A		平成 25 年度と同様に継続実施する。	健康課			
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	地球温暖化対策地域推進計画の策定	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画（案）」について、国の動向に合わせて必要な修正を加え、市として計画案を決定した。	B	B	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」を策定するとともに、概要版を作成し、周知を図る。	環境政策課 （環境政策係）			
		一般		市全域の温室効果ガス排出量の把握	328,000 t-CO ₂ eq（2011 年） ※出典：オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果：多摩地域の温室効果ガス排出量（1990 年度～2011 年度）	A	A	オール東京 62 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において温室効果ガス排出量を算定する。	環境政策課 （環境政策係）			
		重点		省エネ教育の推進	学校での教育プログラムの実施	節電、節水に関する授業を全校で取り組んだ。また、ゴーヤなどの育成を通して省エネ教育に取り組んだ。	A	A	環境教育の授業を全校で取り組む。	指導室		
					事業所への働きかけ	商工会で独自に施策を実施しているため、市においては夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を行うとともに、コンテストへの参加を呼びかけた。 また、夏の節電対策リーフレットを作成し、商工会を通じて配布した。	B	B	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における地球温暖化対策を呼びかける。 また、夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を図る。	環境政策課 （環境政策係）		
				制度の検討	国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画策定と併せ検討した。	A	A	国や都、他自治体の取組について情報収集を行うとともに、地球温暖化対策地域推進計画が策定された後は、計画に沿った支援策等を検討・実施する予定である。	環境政策課 （環境政策係）			

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
				実績	評価	予定・進捗				
エネルギー環境	省エネルギーの推進	重点	市全体での省エネルギーの推進	カーボン・オフセットの活用	現行の取組の把握・整理・検証	実施していない	C	B	実施予定なし	農林課
					実施していない	B	実施予定なし		環境政策課 (環境政策係)	
				広域的な連携による研究	実施していない	C	B	実施予定なし	農林課	
					実施していない	B		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
				森づくりと連携したカーボン・オフセットの仕組みづくり・活用の検討	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行った。	A	A	港区や新宿区の取組に対し、森林の提供を行う。	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			自動車対策	エコドライブの普及・啓発	各種支援制度の利用等の検討	経済産業省の自治体への支援制度が終了したことから、九都県市あおぞらネットワークウェブサイトの「エコドライブ一度チェック」を利用し、全職員対象にセルフチェックを行った。	A	A	各種支援制度を調査・研究する。	環境政策課 (環境政策係)
			自動車対策	エコドライブの普及・啓発	啓発の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・庁用車にエコドライブ啓発ステッカーを掲出した。 ・庁用車の燃費把握を行い、職員へのフィードバックを行った。 ・庁内情報システムの掲示板を利用し、月末にタイヤの空気圧の確認及び給油時の燃費確認の呼びかけを行った。 ・産業祭「環境展」において来場者を対象にエコドライブ一度チェックを実施するとともに、啓発用ステッカーを配布した。 ・市全職員を対象に、九都県市あおぞらネットワークウェブサイトの「エコドライブ一度チェック」を利用し、セルフチェックを行った。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の短距離移動については、電動アシスト自転車をはじめとする自転車利用を推進する。 ・給油量と給油時の走行距離を把握し、燃費の記録・確認を行う。 ・月末の給油時にタイヤの空気圧確認の呼びかけを行う。 ・エコドライブ実践中ステッカーを庁用車に貼付する。 ・産業祭「環境展」において普及啓発事業を実施する。 ・市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。 	環境政策課 (環境政策係)
					講習会（座学・実技）等の開催	経済産業省の自治体への支援制度が終了したことから、九都県市あおぞらネットワークウェブサイトの「エコドライブ一度チェック」を利用し、総務課・職員課と連携し、全職員対象にセルフチェックを行った。	A	A	市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
						実績		評価			予定・進捗	
エネルギー 環境	省エネルギーの推進	重点	自動車対策	エコドライブの普及・啓発	講習会（座学・実技）等の開催	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、内部監査で職員にエコドライブの把握状況の確認をすると共に毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導している。	A	A	公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、啓発、普及をしていくと共に市民の模範となるよう職員に対し毎月の庁用自動車の点検時に総務課長から指導していく。	総務課		
						また、総務課、職員課、環境政策課の連携によるエコドライブ推進の一環として、全職員を対象にエコドライブに関するセルフチェック（エコドライバー度チェック）を実施した。	A		市民の模範となるよう職員に対し啓発事業を継続する。	職員課		
				自転車利用の促進	施設整備の実施	実施していない	C	B	実施予定なし	地域防災課		
						実施していない	B		実施予定なし	建設課		
					自転車優遇方策の検討	実施していない	B	B	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）		
				一般	自動車対策	車に乗らない日」の普及・啓発	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）	
		公共交通機関の利用促進	実施していない			C	A	実施予定なし	環境政策課（環境政策係）			
			会議回数 10 回 JR 五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR 五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組んでいる。			A		A	JR 五日市線複線化促進協議会等の活動を通じて、JR 五日市線の要望活動など、公共交通の利便性向上に取り組む。	企画政策課		
		自転車専用のインフラ整備	実施していない			C	C	実施予定なし	建設課			
		低公害車の率先導入（再掲）	低公害車を 3 台導入した。			A	A	低公害車 4 台の導入予定	総務課			
			「低排出ガス重量車」に認定されている車両を消防車として導入している（平成 25 年度購入車両：第 7 分団本部のポンプ車）。			A		引き続き、「低排出ガス重量車」に認定されている車両の運行を継続する。	地域防災課			
		低公害車の普及・啓発（再掲）	東京都等を通じて寄せられる低公害車の情報や融資制度等、必要に応じて情報提供を図った。 ただし、低公害車の普及に関する施策は一段落を迎えており、次世代自動車等に関する施策に移行しつつあるため、低公害車に関する情報等は非常に少なくなっている。			A	A	平成 25 年度と同様である。	環境政策課（環境政策係）			

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度			平成 26 年度			担当課		
					実績		評価		予定・進捗				
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	自動車対策	燃料電池車両の開発動向に対応した施策の実施 (エコエネルギーステーションの設置研究ほか)		実施していない		C	C	実施予定なし			環境政策課 (環境政策係)
				情報収集に努めた。		C		情報収集に努める。			企画政策課		
		重点	電力使用量の削減	省エネルギー対策の普及・啓発	情報提供と協力呼びかけ	春のリサイクルフェアにおいて、太陽光発電システム等の紹介及び市補助金制度の周知を図った。また夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催した(参加者:個人18、団体9)。省エネモニターの取組をホームページ等により市民へ周知した。		A	A	夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの取組を推奨するとともに、グリーンカーテンコンテストを開催する。省エネモニターの取組をホームページ等により市民へ周知する。			環境政策課 (環境政策係)
					セミナーの開催	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画(案)」の中で検討を行った。		B	B	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画(案)」の策定に合わせ、セミナーの実施について検討する。			環境政策課 (環境政策係)
				省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	省エネ型生活10か条・環境家計簿の普及	ホームページで周知を図るとともに、省エネモニター登録者へ周知を行った。		A	A	引き続き普及・啓発を図る。			環境政策課 (環境政策係)
					省エネモニター制度の実施	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者を新たにモニターに登録した。(省エネモニター登録数:継続者102+新規39=141世帯)また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックするとともに、市ホームページにもデータの掲載を行った。		A	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金の受給者をモニターに登録する。また、モニターには各家庭からのCO2排出量を算定し、フィードバックする。			環境政策課 (環境政策係)
				雨水貯留槽設置の導入促進	雨水貯留槽の設置支援	平成23年度をもって、雨水貯留槽設置費補助金の交付は終了している。		F	F	雨水利用推進法の策定を受け、国の動向を見ながら、雨水貯留槽の設置促進策を検討する。			環境政策課 (環境政策係)
				一般	電力使用量の削減	家庭での省エネルギー生活の普及・啓発(エコハウス等の情報提供)		パンフレット等を設置し、周知を行った。太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 ・補助件数46件(太陽光21・太陽熱2・エコキュート11・エコジョーズ10、エコウィル1、エネファーム1) 節電・省エネの呼びかけを行った。 ・広報・ホームページ掲載、町内会・自治会各戸配布、ポスター掲示、パンフレット設置等		A	A	パンフレット等を設置し、周知を行う。太陽光発電システム等の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行う。電力需給に対応するため、節電・省エネの呼びかけを行う。	

分野	方針	施策		関連する施策・事業		平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
						実績	評価	予定・進捗		
エネルギー環境	省エネルギーの推進	一般	電力使用量の削減	事業者への省エネルギー対策の普及・啓発		商工会で独自に施策を実施しているため、市においては夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を行うとともに、コンテストへの参加を呼びかけた。 また、夏の節電対策リーフレットを作成し、商工会を通じて配布した。	A	A	「地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における地球温暖化対策を呼びかける。 また、夏の省エネ・節電対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発を図る。	環境政策課 (環境政策係)
				事業所のエネルギーマネジメントの普及		「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画(案)」の中で検討を行った。	B	B	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の中で、BEMS などの事業所におけるエネルギーマネジメントの必要性について呼びかけを行う。	環境政策課 (環境政策係)
				中小事業所や商店に対する普及・啓発		夏の節電対策の一環として、節電・省エネに関するリーフレットを作成し、商工会を通じて配布した。	A	A	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、事業者における節電・省エネを呼びかける。	環境政策課 (環境政策係)
				公共施設での「あきる野エコ活動」の推進		本庁舎の電気使用量について、平成 24 年度比で 41,908kWh (2.9%) 増加した。 また、その他 21 の外部施設については、24 年度比で 848,441kWh (45.6%) 減少した。	A	A	節電対策と併せ公共施設におけるエコ活動の推進に関する要綱に基づき、より一層の削減を実施する。	総務課
	新エネルギーの導入	重点	新エネルギー技術の活用	家庭における新エネルギー・省エネルギー機器の導入促進	情報提供と普及促進	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度に合わせ、春のリサイクルフェア、広報・ホームページで周知を図った。	A	A	新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度を継続する。また、広報・ホームページで周知を図る。	環境政策課 (環境政策係)
					新エネルギー・省エネルギー機器の設置支援	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置費補助を行った。 (補助件数 39 件：太陽光 23、太陽熱 2、エコキュート 10、エコジョーズ 4、エコウィル 0、エネファーム 0)	A	A	住宅の新エネルギー・省エネルギー機器の設置に対し、補助金を交付する。 (補助予定数：太陽光 20、太陽熱 4、エコキュート 10、エコジョーズ 5、エコウィル 2、エネファーム 2)	環境政策課 (環境政策係)
		事業所での新エネルギーの導入促進		都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施した。	A	A	都と連携し、商工会・観光商工課を通じて情報提供を実施していく。	環境政策課 (環境政策係)		
		新エネルギーに関する情報の入手と普及・啓発		春のリサイクルフェアにおいて、新エネルギー・省エネルギー機器設置費補助金制度を周知するとともに、対象となっている機器の紹介を行った。 また、夏の節電対策の一環として作成したリーフレットにおいて、新エネルギー・省エネルギーに関する制度の紹介を行った。	A	A	「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の概要版を配布し、新エネルギー・省エネルギーに関する取組の促進などを行う。また、必要に応じて都の制度などの周知を図る。	環境政策課 (環境政策係)		

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
エネルギー環境	新エネルギーの導入	新エネルギー技術の活用	木質バイオマスの利用促進	焼却灰の検査結果により、木質バイオマスボイラーを一時停止している。	A	A	木質バイオマスボイラーの稼働を検証する。	観光まちづくり活動課 (H25～) (H24：観光商工課)
				実施していない	C		実施予定なし	農林課
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
			普及啓発・環境教育の実施	温浴施設での見学受入件数：1 件 視察等に対応した。	A	A	木質バイオマスボイラーの稼働状況により、 視察等の受け入れを検討する。	観光まちづくり活動課 (H25～) (H24：観光商工課)
				実施していない	C		実施予定なし	農林課
				実施していない	C		実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)
		リサイクル型エネルギーの利用	焼却炉の効率的な稼働の促進	西秋川衛生組合に対し、要請しており、平成 26 年 1 月からは新炉（ガス化溶融炉）稼働に伴い、ごみ発電が行われている。	A	A	平成 26 年 4 月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
				ごみ焼却余熱の利用	西秋川衛生組合において、12 月まで使用した旧施設では可能な限り利用した。平成 26 年 1 月からは新炉（ガス化溶融炉）の稼働（試験運転）により、ごみ発電で施設内の電量供給を行っている。	B	B	平成 26 年 4 月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。
				12 月まで職員の手洗い用の温水に余熱を利用した。平成 26 年 1 月からは新炉（ガス化溶融炉）稼働（試験運転）に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行っている。（1 月 31 日～3 月 31 日発電量：1,576,190kW）	B	平成 26 年 4 月から新炉（ガス化溶融炉）本格稼働に伴い、ごみ発電で施設内の電力供給を行うとともに、余剰電力は売電する。		西秋川衛生組合
			最新動向の把握及び調査研究	新たな新エネルギー技術の導入検討	実施していない	C	B	実施予定なし
	小中学校を含めた市有建築物について、太陽光発電の屋根貸しについて検討を行った。	B			引き続き検討を行う。	施設営繕課		
	森林・緑地の拡大による CO2 の吸収	森林の保全	森林の CO2 吸収量に関する普及・啓発	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を 2 事業者行い、24 業者が登録済である。またあきる野市 Uni4m マークを 2 業者へ発行した。	A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課
				「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画（案）」の中で検討を行った。	B		「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の中で、森林の CO2 吸収作用などについて記載し、普及啓発を図る。	環境政策課 (環境政策係)

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課		
				実績		予定・進捗				
					評価					
エネルギー環境	森林・緑地の拡大によるCO2の吸収	一般	森林の保全	森林のCO2吸収量に関する普及・啓発	小宮ふるさと自然体験学校での自然体験学習を通して、森林や環境についての興味・関心を高めた。 また、理科や社会科、総合的な学習の時間を通して、環境問題について学習し、各学校においてペットボトルキャップ集めや節電など、身近な環境への取組を実施した。	A	A	小宮ふるさと自然体験学校での自然体験を通して、森林や環境に興味をもたせる。 環境問題について理解を深め、身近な環境を守る取組について考えさせる。	指導室	
				森林等の適正管理・保全の促進（再掲）	森林再生事業（間伐）を実施した。	A		森林再生事業（間伐）を実施する。	農林課	
					「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性の観点から、森林等の適正管理・保全の促進について検討した。 また、「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画（案）」においても、CO2吸収作用の向上のため、森林等の適正管理・保全の促進について検討した。	B	A	「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性の観点から、森林等の適正管理・保全の促進について検討する。 また、「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」においては、CO2吸収作用の向上のため、森林等の適正管理・保全の促進について位置付けていく。	環境政策課（環境政策係）	
				総合的な森林保全・再生策の検討（再掲）	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施した。	A	A	森林調査、施行計画、間伐、植栽事業を実施する。	農林課	
				地域林業の活性化（再掲）	郷土の恵みの森事業による積極的支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を検討した。	A	A	郷土の恵みの森事業による積極的支援を実施する。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を定め、地域林業の活性化を図る。	農林課	
				材木生産の合理化とブランドイメージの向上	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を2事業者行い、24業者が登録済である。またあきる野市 Uni4m マークを2業者へ発行した。	A	A	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の登録制度（Uni4m）の追加登録を受け付ける。	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	観光商工課	
				木材加工産業の育成	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を実施した。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針の検討を行った。	A	A	秋川木材協同組合、あきがわ木工連への支援を実施する。 あきる野市公共建築物等における多摩産材利用推進方針を定め、地域林業の活性化を図る。	農林課	
					実施していない	C		実施予定なし	観光商工課	
				緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	実施していない	C		実施予定なし	建設課
						各公園にさつき等の植樹をした。（森の下公園、さくら公園、萩野公園、峯谷戸緑地）	A	A	各公園に植樹を予定	管理課

分野	方針	施策		関連する施策・事業	平成 25 年度			平成 26 年度			担当課
					実績		評価	予定・進捗			
エネルギー環境	森林・緑地の拡大によるCO2の吸収	一般	緑化の推進	街路樹、公園樹木の拡大	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」及び「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画(案)」の中で、それぞれの観点から、街路樹や公共施設の緑の拡大について検討した。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性の観点から、街路樹や公共施設の緑の拡大について検討していく。また、「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」においては、CO2吸収作用の向上のため、街路樹や公共施設の緑の拡大を位置付けていく。	環境政策課(環境政策係)		
				家庭等での植樹の推進(再掲)	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」及び「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画(案)」の中で、それぞれの観点から、家庭における植樹などの緑の拡大について検討した。緑化の取組の一つとして、春のリサイクルフェアにおいて、グリーンカーテン用のゴーヤの苗・種の配布を行った。	B	A	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」の中で、生物多様性の観点から、家庭における植樹などの効果について検討していく。また、「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」においては、CO2吸収作用の向上のため、家庭における植樹の推奨を位置付けていく。	環境政策課(環境政策係)		
				産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行った。	A		産業祭において、市民に対し苗木の無料配布を行う。	農林課			
				グリーンリサイクル(落ち葉・剪定枝)の推進(再掲)	A	A	落ち葉の堆肥化作を市内4箇所を設置し、堆肥化を図った。(うち1箇所は、平成25年度設置)	平成26年度も継続していく。	生活環境課(清掃・リサイクル係)		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	情報の共有	「環境白書」の作成・公表	平成24年度環境白書を発行するとともに、ホームページ等で公表した。	A	A	平成25年度環境白書を発行する。	環境政策課(環境政策係)		
				環境に関する情報の収集・公開	国、都などの情報収集に努め、必要に応じて広報やホームページ等で情報を公開している。	A	A	平成25年度と同様である。	環境政策課(環境政策係)		
					環境に関する図書を81冊購入。	A		環境に関する資料を100冊程度購入予定。	図書館		
				研究・活動実績等の発表の場づくり	実施していない	C	C	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」や「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の策定、さらに「(仮)あきる野市第二次環境基本計画」の検討を通じ、研究・活動の発表の場づくりについて検討する。	環境政策課(環境政策係)		
				環境情報サイトの立ち上げ	市の環境調査結果をホームページで公表している。また必要に応じてホームページや広報で情報を提供した。	B	B	ホームページ等で情報提供を行っていく。	環境政策課(環境政策係)		
				環境情報コーナー等の機能整備の検討	実施していない	C		実施予定なし	環境政策課(環境政策係)		
中央図書館2階、展示コーナーで、6月の環境月間に合わせて「暮らしと環境」をテーマに関連図書・資料の展示・紹介を行った。	A	A	中央図書館2階、展示コーナーで、6月の環境月間、6月5日の環境の日を意識してもらええるテーマを設定し、資料の展示を行う。		図書館						

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課
				実績	評価	予定・進捗		
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	重点 環境教育の推進	環境教育の場の充実	自然環境調査において観察会等を実施した。 ・ガサガサで生き物調べ（8月31日）	A	A	自然環境調査において観察会等を実施予定	環境政策課 （環境政策係）
				森林レンジャーあきる野が、小学生を対象として、森歩きを行いながら森、動物、植物についての体験学習を行った（市内小学校11校、市外1校）。また、森林レンジャーあきる野とともに学び、森づくりを行う子どもたちを森の子コレンジャーとして組織（小学校4年生から6年生までの20人）し、1年間、四季を通して森と生き物と人とのつながりを心と体で学ぶ活動を行った。さらに、産学官が連携した森づくりにより、環境教育イベントを1回実施した。	A		平成25年度の取組を継続する。	環境政策課 （環境の森推進係）
				「環境月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努めた。	A		「環境月間」を通して、学校や家庭での節電・節水に取り組むとともに、自然体験活動などの環境教育の充実に努める。	指導室
				あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」 小峰公園ビジターセンターにて 8月18日実施	A		生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）
				市民カレッジ公開講座を実施した。また、親子自然体験学習「伝統漁法あんま釣り」を7月23日に、「都民の森で自然観察」を8月20日に実施した。	A		市民カレッジ人材養成入門講座の自然史（野鳥観察、植物観察）を実施する。	生涯学習スポーツ課 （H24：公民館）
			人材の育成及び活用	実施していない	C		「（仮）あきる野市生物多様性地域戦略」や「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の策定、さらに「（仮）あきる野市第二次環境基本計画」の検討を通じ、人材の育成などについて検討する。	環境政策課 （環境政策係）
				・あきる野親子ふれあい塾「親子自然ふれあい塾夏休み教室」 小峰公園ビジターセンターにて 8月18日実施 ・五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施した。	A		・生涯学習コーディネーターの会との協働により、登録者を活用した講座を開催する。 ・五日市郷土館・二宮考古館において、市民解説員による展示解説を実施する。	生涯学習スポーツ課 （H24：生涯学習推進課）
				市民解説員の認定を受けた市民解説員が市内を案内する市内探訪・学校等からの解説依頼を受け、解説活動を実施した。市内探訪4回、解説依頼28回。	A		市民解説員の認定を受けた市民解説員が市内を案内する市内探訪・学校等からの解説依頼を受け、解説活動を実施する。市内探訪8回、解説依頼30回（予定）	生涯学習スポーツ課 （H24：公民館）

分野	方針	施策	関連する施策・事業	平成 25 年度		平成 26 年度		担当課	
				実績	評価	予定・進捗			
人の活動	市民・事業者・市の協働による取組の推進	一般	環境パートナーシップの形成	協働・団体等のネットワーク化	実施していない	C	C	「(仮)あきる野市生物多様性地域戦略」や「あきる野市地球温暖化対策地域推進計画」の策定、さらに「(仮)あきる野市第二次環境基本計画」の検討を通じ、団体のネットワーク化などについて検討する。	環境政策課 (環境政策係)
				市民・事業者・市の協働事業等の推進	環境委員会として産業祭に環境展を出展した。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施した。	B	A	環境委員会として産業祭に環境展を出展する。市民が主体となり、市内の自然環境調査を実施する。	環境政策課 (環境政策係)
					森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施した。(活動回数：15回)、参加延べ人数 248 人(内訳…レンジャー：36、サポートレンジャー：91、地域 121)	A		森林レンジャーあきる野、森林サポートレンジャーあきる野と地域が協働して、整備事業等を実施する。	環境政策課 (環境の森推進係)
				問題提起・政策提案等ができる仕組みの検討	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行った。	A	A	環境白書作成時の点検・評価の際に、意見等の収集を行う。	環境政策課 (環境政策係)
		様々な仕組みの検討	財源の確保の検討	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			ボランティアの活用の仕組みづくり	自然環境調査をボランティアで実施した。	B	A	自然環境調査をボランティアで実施する。	環境政策課 (環境政策係)	
				森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を行った。	A		森林サポートレンジャーあきる野や地元市民と活動を実施する。	環境政策課 (環境の森推進係)	
			点検・評価への参加の充実	平成 24 年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成した。	A	A	平成 25 年度の施策進捗状況等をもとに点検・評価を行い、環境白書を作成する。	環境政策課 (環境政策係)	
			家庭版・学校版 I SO 等の仕組み検討	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			事業者のマネジメントシステム導入支援	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	
			経済的手法の研究	実施していない	C	C	実施予定なし	環境政策課 (環境政策係)	

2 「関連指標」の評価一覧

【評価基準】

- A: 目標値を達成している
- B: 現在の取り組みを継続、拡大すれば目標値を達成できる
- C: 現在のままでは目標値の達成が困難と考えられるため、改善措置を講じる必要がある
- D: 目標を達成していない
- Z: 今年度は評価ができない

分野	展開方針	指標	目標 (目標年度)	現状値	平成 25 年度		所管課
					実績	評価	
自然環境	1.あきる野市の自然を知る	「あきる野百景」の認知度(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		把握していない	Z	環境政策課 (環境政策係)
		あきる野版 RD 種の認知度(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		あきる野版 RD が選定されていない。	Z	環境政策課 (環境政策係)
	2.あきる野市の自然を守る	市内の緑地面積	現状維持		5,733.10h a	A	都市計画課
生活環境	1.美しい川を守り育む	「清流」に対する市民満足度(アンケート調査等で把握)	70ポイント(平成 27 年度)		把握していない	Z	生活環境課 (生活環境係)
		生活排水処理率	88.7%(平成 27 年度)	83%(平成 16 年度)	93%	A	管理課 (H24:下水道課)
		下水道接続率	98%(平成 27 年度)	87%(平成 16 年度)	96%	B	管理課 (H24:下水道課)
		ホテルが見られる水辺の箇所数	現状以上(現状を把握の上)	不明	約 30 箇所	Z	生活環境課 (生活環境係)
					把握していない	Z	建設課
		ホテルの保護等に係る助成金等の交付団体数	7 団体(平成 27 年度)	3 団体(平成 16 年度)	4 団体	D	環境政策課 (環境の森推進係)
		川とのふれあいマナー実践度	60%(平成 27 年度)	把握していない	Z	生活環境課 (生活環境係)	
	把握していない			Z	観光商工課		
	2.農地・農業を守る	農産物直売所数	3 件(平成 19 年度)	2 件(平成 16 年度)	平成 19 年度に秋川溪谷瀬音の湯「朝霧」が開設され、目標を達成している。	A	農林課
		あきる野産の農産物(あきる野ブランド)等の数	4 件(平成 22 年度)	2 件(平成 16 年度)	関東東海花展にあきる野産の花弁を出品した。	D	農林課
		地元野菜の活用件数		0 件(平成 16 年度)	学校給食に地元野菜を供給する。 ・提供野菜(予定) 人参、玉ねぎ、長ねぎ、なす、かぼちゃ、さつまいも、白菜、大根、ごぼう、のらぼう菜 他	B	農林課
生産緑地指定面積		現状以上	79.48ha(平成 16 年度)	71.37h a	B	都市計画課	

分野	展開方針	指標	目標 (目標年度)	現状値	平成 25 年度		所管課
					実績	評価	
生活環境	3.資源を循環させる	「へらすぞう」の発行回数	年間 4 回発行(平成 27 年度)	1 回発行(平成 16 年度)	1 回発行	D	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
		市民一人一日当たりのごみ排出量	平成 16 年度比 10%減(平成 27 年度)	893g(平成 16 年度)	780.9g	A	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
		市民一人当たり年間ごみ処理負担費		16,406円(平成 16 年度)	現段階では算出できていない	Z	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
	4.美しいまちをつくる	街並み・景観に関する市民満足度(アンケート調査等で把握)	30 ポイント(平成 27 年度)		55.87%	A	都市計画課
		土地区画整理事業による街並み整備か所数	10 か所(平成 27 年度)	7 か所(平成 19 年度)	実施予定箇所 6 箇所 現在 1 箇所にて事業計画中	Z	区画整理推進室 都市計画課
		「歩きたくなる」みちの箇所数(アンケート調査等により把握)			実施していない	Z	観光商工課
		市民や来訪者の「歩きたくなる」度(アンケート調査等で把握)	70 ポイント(平成 27 年度)		把握していない	Z	建設課
		たばこ・ごみのポイ捨てに係る市民満足度(アンケート調査等で把握)	70 ポイント(平成 27 年度)		把握していない	Z	環境政策課 (環境政策係)
		一斉清掃の実施回数、参加者数	現状維持	年 2 回、延べ 28,898 人 (平成 16 年度)	年 2 回 春、秋に実施 延べ 32,097 人	A	生活環境課 (清掃・リサイクル係)
エネルギー環境	1.省エネルギーの推進 2.新エネルギー(バイオマス技術)の導入	地球温暖化に関する環境教育実施校数	市内全校	未実施	小中学校全校で実施している。	A	環境政策課 (環境政策係)
		環境家計簿等の普及状況、モニター登録者数	モニター登録 100 人(平成 27 年度)		141 人	A	環境政策課 (環境政策係)
		家庭での電力使用量	平成 15 年度比 5%減(平成 27 年度)	148,947MWh(平成 15 年度)	電力使用量での把握はできていない。 (参考) 市内の家庭からの二酸化炭素排出量 91,000 トン-CO2(平成 23 年度) ※出典:オール東京 62 市区町村共同事業「みどり温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果:多摩地域の温室効果ガス排出量(1990 年度~2011 年度)	Z	環境政策課 (環境政策係)
		省エネ生活 10 か条の認知度、定着状況(アンケート調査等で把握)	50%(平成 22 年度) 80%(平成 27 年度)		把握していない	Z	環境政策課 (環境政策係)
		エコドライブ実践状況(アンケート調査等で把握)	70%(平成 27 年度)		把握していない	Z	環境政策課 (環境政策係)

3 環境調査結果

<平成 25 年度 秋川・平井川河川水質調査結果>

年間 4 回（5 月、8 月、10 月、2 月）実施の平均値

項目	pH	BOD	SS	DO	大腸菌群数
地点	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋 (秋川)	7.7	<0.5	<1.0	10.9	1,173
落合橋 (秋川)	7.7	<0.5	<1.0	10.6	
沢戸橋 (秋川)	7.9	<0.5	<1.0	10.9	
秋川橋 (秋川)	8.2	<0.5	1.3	11.0	1,033
天王沢 (秋川合流点)	7.4	<0.5	<1.0	10.6	
三内川 (秋川合流点)	7.5	<0.5	<1.0	10.4	
清水荘前 (秋川)	8.1	<0.5	<1.0	11.3	
引田堰 (秋川)	7.9	<0.5	<1.0	11.2	1,975
秋留橋 (秋川)	7.8	<0.5	<1.0	10.5	
東秋川橋 (秋川)	7.8	0.6	1.3	10.8	1,350
舞知川 (秋川合流点)	7.9	0.6	1.8	10.2	
小宮小前 (養沢川)	7.9	<0.5	<1.0	10.7	
観音橋 (平井川)	7.8	0.5	<1.0	10.1	1,875
小宮久保橋 (平井川)	7.9	0.6	1.5	10.2	
新開橋 (平井川)	7.8	0.5	1.3	10.9	
多西橋 (平井川)	7.9	0.5	<1.0	11.3	1,325
鯉川橋 (鯉川)	7.7	0.6	1.5	10.5	
氷沢川ヒル橋 (氷沢川)	7.8	0.7	3.0	11.2	
参考値(※)	6.5~8.5	2mg/l以下	25mg/l以下	7.5mg/l以上	1,000MPN/100ml以下

(※) 参考値は河川A類型（平井川）の環境基準値である。

＜平成 25 年度 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査＞

採取日 平成 26 年 2 月 27・28 日

項目・単位	pH	BOD	全窒素	アンモニア性窒素	大腸菌群数
調査場所	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	7.0	<0.5	5.41	0.02	13
真城寺	6.8	0.6	6.05	0.01	27
白滝神社	7.2	0.6	4.74	0.01	27
牛沼287	7.1	0.8	5.24	0.01	39
雨間698	6.9	<0.5	4.73	0.05	47
秋川グリーンスポーツ公園前	6.9	0.5	4.09	0.01	79
小川820	7.2	<0.5	7.57	0.01	46
平沢617	7.0	<0.5	5.93	0.01	46
広済寺付近	6.6	0.6	6.78	0.01	46
二宮お滝	6.6	<0.5	6.90	<0.01	46
二宮神社お池	6.5	<0.5	9.02	0.01	70
八雲神社	6.7	0.5	7.71	0.02	26
草花公園	6.7	0.5	5.40	<0.01	22
草花1127	6.5	<0.5	4.64	0.02	27
草花小学校西	6.9	0.8	4.29	0.02	46
菅生夫婦橋下	7.6	0.6	3.82	0.01	79
折立坂	7.5	0.5	5.70	0.02	47
南秋留小横	7.5	0.6	4.62	0.02	47
ミユキ組宿舎(西)	7.7	0.5	4.07	0.03	47
舞知川	7.7	<0.5	2.33	0.03	49
広済寺下	7.4	<0.5	5.91	0.03	70
玉見ヶ崎公園隣	7.3	<0.5	6.90	0.02	27
養沢川	7.9	<0.5	1.52	0.01	49
盆堀川	7.4	<0.5	3.63	0.04	27
入野沢	7.6	<0.5	1.71	0.08	79
北裏水路	7.4	<0.5	3.61	0.02	49
樽沢	7.3	0.7	2.62	0.03	49
宮の入沢	7.2	<0.5	1.80	0.01	49
横沢	7.3	<0.5	1.65	0.02	70
引谷川	7.5	<0.5	2.38	0.03	47
溝ッ堀	7.8	0.9	3.14	0.05	27
北川原	7.8	0.9	3.23	0.03	27
ふれあい橋	7.6	0.5	1.45	0.03	110
鯉川合流	7.0	0.6	2.47	0.01	70
氷沢川	7.4	0.9	1.77	0.02	70
新開橋下	7.3	1.6	2.59	0.01	49
参考値(※)	6.5~8.5	2mg/l以下	基準なし	0.1mg/l以下	1,000MPN/100ml以下

(※) 湧水の環境基準がないため、河川A類型(平井川)の環境基準値を参考値として記載する。

<平成 25 年度 地下水調査結果>

調査日 平成 25 年 4 月 16 日

調査項目 \ 調査場所	草花 1	草花 2	野 辺	雨 間	浏 上	伊 奈	留 原	環境基準
トリクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03 以下 (0.01 以下)
テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 以下 (0.01 以下)
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 以下 (0.03 以下)

(※) 環境基準：() は水道水質基準、水質管理目標設定項目を参考に示した。

<平成 25 年度 二酸化窒素調査結果>

(単位 ppm)

調査地点 \ 調査日程	5/21~22	9/10~11	11/11~12	2/3~4
野辺交差点	0.019	0.021	0.016	0.023
小川交差点	0.019	0.028	0.016	0.024
二宮本宿交差点	0.019	0.025	0.017	0.026
水沢橋交差点	0.015	0.020	0.013	0.022
菅生交差点	0.019	0.026	0.016	0.022
上菅生バス停	0.006	0.010	0.006	0.012
瀬戸岡交差点	0.018	0.027	0.017	0.026
西秋留交差点	0.015	0.018	0.014	0.020
秋川駅西踏切	0.024	0.029	0.017	0.023
油平交差点	0.020	0.028	0.018	0.024
秋留橋	0.023	0.032	0.019	0.024
浏上交差点	0.014	0.028	0.012	0.021
山田交差点	0.012	0.021	0.011	0.017
留原交差点	0.012	0.014	0.006	0.013
小中野交差点	0.010	0.012	0.008	0.014
十里木交差点	0.007	0.012	0.008	0.013
青木平橋入口	0.003	0.012	0.007	0.012
旧小宮小学校入口	0.003	0.005	0.003	0.007
五日市出張所	0.004	0.007	0.003	0.008
東町交差点	0.011	0.017	0.010	0.016
武蔵五日市駅前	0.014	0.017	0.011	0.022
小机バス停	0.016	0.024	0.015	0.026

(※) 環境基準：1 時間値の 1 日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

＜平成 25 年度 一般大気調査結果＞

測定日 平成 26 年 1 月 23～24 日

調査地点	調査結果 (mg/m ³)
屋城小学校	0.0447
農業会館	0.0386
一の谷児童館	0.0364
いきいきセンター	0.0319
阿伎留医療センター	0.0273
秋川給食センター	0.0602
秋川衛生組合	0.0416
野辺地内	0.0375
草花地内	0.0389
あきる野市役所	0.0320
五日市センター	0.0239
留原自治会館	0.0198
五日市出張所*	0.0224
横沢クラブ	0.0186
ファインプラザ	0.0383
参考基準値	0.1000

4 放射線・放射性物質測定結果

(1) 定点 6 か所の空間放射線量測定結果

地上 5 センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定機器：シンチレーション式サーバイメータ

「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき 5 回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

※平成 25 年度の測定においては、「あきる野市空間放射線測定等に関する基準」に示す毎時 0.23 マイクロシーベルト（年間 1 ミリシーベルト相当）を超えている地点はありませんでした。

①屋城保育園

単位：μSv/時間

測定地点	中心点	中心点	① 避難用滑り台横	② 植込(東)	測定地点	中心点	中心点	① 避難用滑り台横	② 植込(東)		
	高さ	1m	5cm			高さ	1m	5cm			
測定値	4月24日	0.05	0.06	0.07	0.07	測定値	10月25日	0.06	0.07	0.08	0.08
	5月30日	0.06	0.07	0.07	0.08		11月25日	0.06	0.06	0.07	0.11
	6月25日	0.07	0.07	0.07	0.08		12月24日	0.06	0.06	0.06	0.08
	7月25日	0.06	0.07	0.06	0.07		1月27日	0.07	0.08	0.07	0.08
	8月26日	0.06	0.07	0.06	0.07		2月25日	0.06	0.07	0.08	0.09
	9月20日	0.06	0.07	0.07	0.07		3月25日	0.06	0.07	0.07	0.09

②市民運動広場（中央公民館北側）

単位：μSv/時間

測定地点	中心点	中心点	① 枝葉置場	測定地点	中心点	中心点	① 枝葉置場		
	高さ	1m	5cm		高さ	1m	5cm		
測定値	4月24日	0.06	0.07	0.13	測定値	10月25日	0.06	0.07	0.14
	5月30日	0.06	0.07	0.12		11月25日	0.05	0.06	0.11
	6月25日	0.06	0.07	0.12		12月24日	0.06	0.07	0.12
	7月25日	0.05	0.06	0.12		1月27日	0.06	0.07	0.13
	8月26日	0.05	0.06	0.12		2月25日	0.06	0.07	0.13
	9月20日	0.05	0.06	0.13		3月25日	0.06	0.07	0.13

③市役所

単位：μSv/時間

測定地点		①			測定地点		①		
		中心点	中心点	雨水集水ます(南東)			中心点	中心点	雨水集水ます(南東)
高さ		1m	5cm		高さ		1m	5cm	
測定値	4月24日	0.11	0.15	0.07	測定値	10月25日	0.11	0.13	0.07
	5月30日	0.12	0.12	0.08		11月25日	0.11	0.15	0.07
	6月25日	0.11	0.13	0.06		12月24日	0.11	0.14	0.06
	7月25日	0.11	0.15	0.06		1月27日	0.10	0.13	0.07
	8月26日	0.11	0.14	0.06		2月25日	0.10	0.13	0.06
	9月20日	0.11	0.13	0.06		3月25日	0.11	0.14	0.07

④楓ヶ原公園

単位：μSv/時間

測定地点		①			測定地点		①		
		中心点	中心点	プランコ裏			中心点	中心点	プランコ裏
高さ		1m	5cm		高さ		1m	5cm	
測定値	4月24日	0.10	0.11	0.09	測定値	10月25日	0.08	0.09	0.08
	5月30日	0.08	0.08	0.08		11月25日	0.06	0.07	0.08
	6月25日	0.07	0.08	0.09		12月24日	0.07	0.08	0.09
	7月25日	0.07	0.08	0.08		1月27日	0.08	0.08	0.09
	8月26日	0.07	0.08	0.09		2月25日	0.07	0.08	0.08
	9月20日	0.07	0.09	0.08		3月25日	0.07	0.09	0.09

⑤五日市ひろば

単位：μSv/時間

測定地点		中心点	中心点	① ベンチ前 (南)	測定地点		中心点	中心点	① ベンチ前 (南)
		高さ	1m	5cm			高さ	1m	5cm
測定値	4月24日	0.10	0.11	0.13	測定値	10月25日	0.09	0.10	0.12
	5月30日	0.10	0.11	0.13		11月25日	0.09	0.11	0.10
	6月25日	0.10	0.11	0.12		12月24日	0.08	0.09	0.11
	7月25日	0.09	0.10	0.10		1月27日	0.09	0.11	0.10
	8月26日	0.09	0.10	0.11		2月25日	0.09	0.10	0.09
	9月20日	0.09	0.10	0.09		3月25日	0.09	0.11	0.10

⑥すぎの子保育園

単位：μSv/時間

測定地点		中心点	中心点	① 樹木下 (西)	② 雨どい東 (玄関横)	測定地点		中心点	中心点	① 樹木下 (西)	② 雨どい東 (玄関横)
		高さ	1m	5cm	高さ			1m	5cm		
測定値	4月24日	0.06	0.06	0.07	0.08	測定値	10月25日	0.06	0.07	0.10	0.08
	5月30日	0.06	0.06	0.08	0.07		11月25日	0.06	0.06	0.07	0.08
	6月25日	0.06	0.06	0.08	0.08		12月24日	0.06	0.07	0.08	0.08
	7月25日	0.06	0.06	0.07	0.08		1月27日	0.06	0.07	0.08	0.07
	8月26日	0.06	0.07	0.08	0.08		2月25日	0.06	0.07	0.08	0.08
	9月20日	0.06	0.07	0.08	0.08		3月25日	0.06	0.07	0.07	0.08

(2) 山間部 8 か所の空間放射線量測定結果

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1 地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
平成25年 4月24日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.11	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.12	0.10	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.10	0.09	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.09	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.11	砕石敷き上
5月30日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.11	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.11	0.11	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.10	砕石敷き上
6月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.11	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.10	0.09	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.11	0.10	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.11	0.10	砕石敷き上
7月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.10	0.09	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.09	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.11	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.11	砕石敷き上
8月26日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.11	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.11	0.09	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.10	砕石敷き上

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
9月20日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.07	0.06	
	深沢会館	駐車場	0.10	0.09	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.09	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.10	0.09	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.10	0.10	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.11	0.10	砕石敷き上
10月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.09	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.11	0.11	
	小峰台公園	歩道	0.13	0.11	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.10	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.11	0.10	
	西青木平橋	橋上	0.10	0.09	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.11	0.09	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.11	砕石敷き上
11月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.08	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.09	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.08	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.08	砕石敷き上
12月24日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.12	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.11	0.09	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.10	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.10	0.10	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.12	0.09	砕石敷き上
平成26年 1月27日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.12	0.10	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.10	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.09	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.09	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.11	0.10	砕石敷き上

単位：μSv/時間

測定日	施設名	測定地点	測定値		備考
			地上5cm	地上1m	
2月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.09	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.10	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.09	0.08	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.08	0.07	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.07	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.10	0.09	砕石敷き上
3月25日	横沢入管理棟	管理棟裏	0.08	0.07	
	深沢会館	駐車場	0.09	0.08	
	小峰台公園	歩道	0.10	0.10	アスファルト上
	戸倉会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	盆堀自治会館	駐車場	0.10	0.08	
	西青木平橋	橋上	0.09	0.08	アスファルト上
	小宮会館	駐車場	0.09	0.08	アスファルト上
	上養沢自治会館	境内	0.11	0.10	砕石敷き上

(3) 市内公共施設等の空間放射線量測定結果

平成23年度の測定で、毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えた施設につき、経過観察を行った。

地上5センチメートルの測定値は、測定施設の雨どい下や側溝、植え込み、砂場などで測定。

測定値については、毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えた地点については測定地点を個別に記載。毎時0.23マイクロシーベルトを超えなかった測定地点は、施設ごとにまとめてその最大値を記載。

測定機器：シンチレーション式サーベイメータ

「HORIBA PA-1000」及び「日立アロカメディカル TCS-172B」

測定方法：機器使用マニュアルに基づき使用。1地点につき5回測定し、その平均値を当該地点の測定値とする。

※地上5センチメートルの高さで毎時0.23マイクロシーベルト（年間1ミリシーベルト相当）を超えている地点については、除染（表土除去など）を実施した。除染実施後の測定値は（ ）で示す。

①学校等の空間放射線量測定結果（9施設）

単位：μSv/時間

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
西秋留小学校	雨どい下（体育館東側）	平成25年12月3日	0.08	
増戸小学校	雨どい下（給食配膳室北側）	平成25年12月3日	0.11	
五日市小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	平成25年12月12日	0.15	
戸倉小学校	雨どい下（体育館渡り廊下）	平成25年11月25日	0.12	
小宮ふるさと自然体験学校（旧小宮小学校）	雨どい下（体育館南側）	平成25年11月25日	0.09	

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
西中学校	雨どい下 (プレハブ倉庫)	平成25年12月3日	0.13	
御堂中学校	雨どい下 (武道場西側)	平成25年12月3日	0.09	
五日市中学校	落ち葉だまり (体育館入口)	平成25年12月12日	0.10	
五日市学校給食センター	雨どい下 (玄関横)	平成25年12月12日	0.12	

②保育園・児童館の空間放射線量測定結果 (1 施設)

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
草花児童センター	雨どい下 (建物南)	平成25年12月3日	0.07	

③公園の空間放射線量測定結果 (1 施設)

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
草花公園	雨どい下 (クラブハウス)	平成25年12月3日	0.09	

④体育施設の空間放射線量測定結果 (2 施設)

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
総合グラウンド	雨どい下 (倉庫入口左側)	平成25年11月25日	0.09	
	雨どい下 (倉庫北側)	平成25年11月25日	0.10	
秋川体育館	西側植栽付近 3 地点の最大値	平成25年11月25日	0.09	

⑤社会教育施設等の空間放射線量測定結果 (4 施設)

単位： $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
五日市郷土館	雨どい下 (南東)	平成25年12月12日	0.20	
	雨どい下 (東)	平成25年12月12日	0.09	

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
二宮考古館	雨どい下(入口)	平成25年11月25日	0.13	
菅生第二文化財倉庫	雨どい下(南西)	平成25年12月3日	0.12	
アートスタジオ五日市	入口側溝	平成25年11月25日	0.08	

⑥福祉関係施設の空間放射線量測定結果(3施設)

単位: $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
五日市保健センター (五日市学童クラブ)	雨どい下4地点の最大値	平成25年12月12日	0.13	
五日市希望の家	雨どい下(B棟南東角)	平成25年12月12日	0.07	
	雨どい下 (西側カーポート南側)	平成25年12月12日	0.09	
	雨どい下 (西側カーポート北側)	平成25年12月12日	0.09	
あきる野保健相談所	雨どい下(北西倉庫)	平成25年12月3日	0.09	

⑦地区会館・市営住宅等の空間放射線量測定結果(4施設)

単位: $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
北伊奈会館	雨どい下(東側)	平成25年12月3日	0.09	
引田区画整理相談事務所	雨どい下2地点の最大値	平成25年12月3日	0.16	
中村住宅	雨どい下4地点の最大値	平成25年12月10日	0.13	
小中野住宅	雨どい下	平成25年12月12日	0.09	

⑧農林・観光関係施設の空間放射線量測定結果(1施設)

単位: $\mu\text{Sv}/\text{時間}$

施設名称	測定地点	測定日	測定値	備考
			地上5cm(除染後値)	
秋川橋河川公園	雨どい下3地点の最大値	平成25年12月12日	0.14	

(4) 食品の放射性物質検査結果

【検査対象】

- ①小・中学校や幼稚園・保育園等で使用される食材
- ②秋川と五日市のファーマーズセンターで販売される農産物
- ③瀬音の湯の直売所で販売される農産物

【検査項目】

「セシウム134」及び「セシウム137」

※放射性ヨウ素については半減期が8日と短く、すでに検出が認められておらず、規制の対象となっていないため記載はしていない。

【放射性物質検査の基準値】

放射性セシウムの基準値（平成24年4月～）

食品群	基準値（ベクレル/kg）
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100
乳児用食品	50

※ベクレル/kg・・・1kg当たりの放射性物質の濃度

※検査の結果、放射性セシウムが基準値の半分より上回ったものは、登録検査機関で確定検査を行う。

【結果の見方】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
〇月〇日	学校給食センター	人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	11	10	13	10

- ・検査日……………検査を行った日
- ・対象施設……………試料を持ち込んだ施設（試料を使う施設）
- ・試料名……………検査に用いた試料
- ・産地……………試料の産地
- ・検出結果……………試料中の放射性物質の濃度
検出限界値未満の場合には不検出、検出限界値以上の場合には数値を記載。
- ・検出限界値……………各測定における検出可能な最小数値のこと（測定条件によって変化する。）

【検査結果】

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果（ベクレル/kg）			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
4月1日	光明第六保育園	エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		マイタケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
4月2日	あきる野こどもの家	牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		大根	静岡県	不検出	10	不検出	10
4月3日	秋川ファーマーズセンター	長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	福岡県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ハウレンソウ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
		ネギ	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
4月4日	みどりの園	キクイモ	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		ネギ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	沖縄県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
のらぼう菜	群馬県	不検出	10	不検出	10		
豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10		
サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10		

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
4月5日	屋城保育園	のらぼう菜	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	沖縄県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
4月8日	神明保育園	麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
4月9日	すぎの子保育園	豚こま肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・埼玉県・千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		カブ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
4月10日	瀬音の湯 農産物直売所	キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
4月11日	西秋留保育園	ハウレンソウ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		フキ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
4月12日	学校給食センター	キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		アスパラガス	長野県	不検出	10	不検出	10
4月16日	草花保育園	長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		アジ	タイ	不検出	10	不検出	10
		シラス	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		鮭	チリ	不検出	10	不検出	10
4月17日	学校給食センター	鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		清見オレンジ	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ(マークII)	北海道	不検出	10	不検出	10
4月18日	すもも木幼稚園	キュウリ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		大根	茨城県	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シブ海	不検出	10	不検出	10
4月19日	多摩川幼稚園	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
4月22日	よつぎ第一保育園	白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮城県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	山形県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
4月23日	東秋留保育園	パプリカ	韓国	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		カブ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		清見オレンジ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
4月24日	秋川ファーマーズセンター 五日市ファーマーズセンター	牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	宮城県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
4月24日	秋川ファーマーズセンター 五日市ファーマーズセンター	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ハウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		豚肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ネギ	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
4月24日	秋川ファーマーズセンター 五日市ファーマーズセンター	レタス	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	あきる野市五日市	不検出	10	不検出	10
		ハウレンソウ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
4月25日	秋川文化幼稚園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
4月26日	くさばな幼稚園	豚肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		カブ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		タケノコ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		溝見オレンジ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
4月30日	ほうりんじ幼稚園	豚肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
5月1日	秋川ファーマーズセンター	タケノコ	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市秋川	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
5月2日	学校給食センター	葉玉ネギ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
5月7日	すぎの子保育園	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		カツオ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ブリ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
5月8日	瀬音の湯 農産物直売所	ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	高知県	不検出	10	不検出	10
		人参	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
5月9日	神明保育園	キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・埼玉県・千葉県	不検出	10	不検出	10
		カジキ	太平洋	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
5月10日	屋城保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
5月14日	東秋留保育園	キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	宮城県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
5月15日	西秋留保育園	アスパラガス	長野県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
5月16日	学校給食センター	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		セロリ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		豚こま肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		甘夏	熊本県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
5月17日	草花保育園	小松菜	福岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	三重県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
5月20日	よつぎ第一保育園	大根	東京都	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
オレンジ	アメリカ	不検出	10	不検出	10		
豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10		

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
5月21日	よつぎ第二保育園	カレイ	ロシア	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
5月22日	秋川ファーマーズセンター	牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	白菜	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
5月23日	秋川あすなろ保育園	玉ネギ	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		トマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		ヨモギ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		サヤエンドウ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
5月24日	誠和保育園	春菊	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		トマト	東京都	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ナス	高知県	不検出	10	不検出	10
5月27日	五日市わかば保育園	キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		トマト	茨城県	不検出	10	不検出	10
5月28日	五日市保育園	キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・青森県 他	不検出	10	不検出	10
5月29日	増戸保育園	玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
5月30日	光明第六保育園	人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		豚こま肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		レタス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
6月3日	学校給食センター	シイタケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
6月4日	すもも木幼稚園	玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
6月5日	秋川ファーマーズセンター	豚こま肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	玉ネギ	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	メキシコ	不検出	10	不検出	10
6月6日	秋川文化幼稚園	長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ミショウカン	熊本県	不検出	10	不検出	10
		キス	タイ	不検出	10	不検出	10
6月6日	秋川文化幼稚園	シシャモ	アイスランド	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
6月5日	秋川ファーマーズセンター	玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ヤングコーン	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		梅	あきる野市切欠	不検出	10	不検出	10
6月6日	秋川文化幼稚園	キュウリ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市五日市	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月6日	秋川文化幼稚園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
6月6日	秋川文化幼稚園	豚肉	栃木県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
6月7日	くさばな幼稚園	ニラ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		オクラ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
6月10日	みどりの園	カブ	東京都	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	香川県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮城県	不検出	10	不検出	10
6月11日	多摩川幼稚園	レタス	愛知県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
6月12日	秋川農業協同組合	玉ネギ	あきる野市生沼	不検出	10	不検出	10
		ズッキーニ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市小和田	不検出	10	不検出	10
	秋川漁業協同組合	小松菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
6月13日	学校給食センター	ニジマス	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉(皮付き)	岩手県	不検出	10	不検出	10
		イカ	南太平洋	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
6月14日	ほうりんじ幼稚園	キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
		ハセリ	長野県	不検出	10	不検出	10
6月18日	屋城保育園	鶏肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	岩手県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
6月19日	神明保育園	豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・埼玉県・千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
6月20日	すぎの子保育園	ホウレンソウ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		カブ	東京都	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
6月21日	東秋留保育園	キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ナス	高知県	不検出	10	不検出	10
6月24日	西秋留保育園	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		トマト	茨城県	不検出	10	不検出	10
		タイ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
6月25日	草花保育園	人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	山梨県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		赤パプリカ	オランダ	不検出	10	不検出	10
6月26日	よつぎ第一保育園	エノキダケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
6月27日	瀬音の湯 農産物直売所	ジャガイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ペクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
6月28日	よつぎ第二保育園	ごはん	山形県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		アサツキ	福岡県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
7月2日	学校給食センター	ジャガイモ	あきる野市上代継	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
7月3日	秋川農業協同組合	白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		イカ	南太平洋	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
7月5日	秋川文化幼稚園	トマト	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月8日	学校給食センター	鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月9日	秋川あすなろ保育園	ニラ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		豚ひれ肉	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
7月10日	誠和保育園	牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
		ピワ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ニラ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
7月11日	増戸保育園	ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		メロン	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
7月12日	五日市保育園	ナメコ	岐阜県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		メロン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月16日	学校給食センター	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
7月17日	五日市わかば保育園	豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月18日	光明第六保育園	キュウリ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・岩手県 北海道・群馬県	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		ズッキーニ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
7月22日	秋川農業協同組合	長ネギ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		鮭	チリ	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	青森県	不検出	10	不検出	10
7月23日	あきる野こどもの家	小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	11都道府県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
7月23日	あきる野こどもの家	キュウリ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
		スイカ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		トウガン	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ゴーヤ	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
7月23日	あきる野こどもの家	ナス	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
7月23日	あきる野こどもの家	玉ネギ	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		トマト	群馬県	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
7月24日	みどりの園	ジャガイモ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		シラス	兵庫県	不検出	10	不検出	10
7月25日	屋城保育園	鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
7月26日	神明保育園	鶏卵	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		トマト	岩手県	不検出	10	不検出	10
7月29日	東秋留保育園	ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・埼玉県・千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
7月30日	すぎの子保育園	キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		いんげん	山梨県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
7月31日	西秋留保育園	ジャガイモ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		トマト	岩手県	不検出	10	不検出	10
8月1日	草花保育園	オクラ	高知県	不検出	10	不検出	10
		メロン	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		スイカ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		インゲン	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	佐賀県	不検出	10	不検出	10
8月2日	よつぎ第一保育園	ヨーグルト	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	香川県	不検出	10	不検出	10
8月5日	秋川ファーマーズセンター	牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		トウガン	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ショウガ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		長ナス	あきる野市館谷	不検出	10	不検出	10
8月6日	よつぎ第二保育園	スイカ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		人参	青森県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
8月7日	秋川あすなろ保育園	グレープフルーツ	南アフリカ	不検出	10	不検出	10
		ゴーヤ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		インゲン	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		スイカ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ブルーベリー	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		オクラ	高知県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
8月8日	誠和保育園	大根	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		鶏卵	あきる野市	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道・東京都 等	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
8月9日	神明保育園	牛乳	東京都・千葉県・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		トマト	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道・東京都 等	不検出	10	不検出	10
8/12~16の検査はお休みしました。							
8月19日	秋川ファーマーズセンター	トウガン	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
		クウシンサイ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	シシトウ	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
		トマト	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
8月20日	五日市保育園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ナス	東京都	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	青森県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		豆腐	アメリカ・カナダ	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
8月21日	五日市わかば保育園	牛乳	北海道・青森県 ・宮城県 他8県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	福島県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		トマト	北海道	不検出	10	不検出	10
8月22日	光明第六保育園	キュウリ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		豚こま肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
8月23日	あきる野こどもの家	キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		レタス	長野県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		ヒメトウガン	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		ゴーヤ	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
8月27日	みどりの園	キュウリ	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		カレイ	ロシア	不検出	10	不検出	10
8月28日	屋城保育園	チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		葉ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		梨	茨城県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
8月29日	増戸保育園	シイタケ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
8月30日	すぎの子保育園	ナス	福島県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	岩手県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
9月3日	秋川文化幼稚園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
9月4日	西秋留保育園	カボチャ	北海道	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
9月5日	草花保育園	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
9月6日	学校給食センター	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		梨	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
9月11日	秋川ファーマーズセンター	鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ナス	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		トマト	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
9月12日	東秋留保育園	豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ナス	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
9月13日	学校給食センター	キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シナ海	不検出	10	不検出	10
9月18日	瀬音の湯 農産物直売所	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ナス	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
9月19日	くさばな幼稚園	柿	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
9月20日	すもも木幼稚園	ピーマン	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		ごはん(おかゆ)	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
9月24日	多摩川幼稚園	大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		カブ	青森県	不検出	10	不検出	10
9月25日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	サツマイモ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
9月26日	ほうりんじ幼稚園	キャベツ	東京都	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
9月27日	よつぎ第一保育園	白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	宮城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
9月30日	よつぎ第二保育園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ナス	栃木県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ごはん	山形県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
10月1日	秋川あすなろ保育園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	長野県	不検出	10	不検出	10
		梨	福島県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	東京都	不検出	10	不検出	10
サツマイモ	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10		
トウガン	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10		

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果(ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
10月2日	誠和保育園	リンゴ	福島県	不検出	10	不検出	10
		白菜	長野県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
10月3日	学校給食センター	長ネギ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		大根	岩手県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	青森県	不検出	10	不検出	10
10月7日	五日市保育園	イワシ	長野県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		鶏こま肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		豆腐	カナダ・アメリカ	不検出	10	不検出	10
10月8日	増戸保育園	キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		大根	青森県	不検出	10	不検出	10
		赤魚	アメリカ	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	徳島県	不検出	10	不検出	10
10月9日	秋川ファーマーズセンター	モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	卵	青森県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
10月10日	五日市わかば保育園	大根	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		トウガン	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道 他	不検出	10	不検出	10
10月11日	光明第六保育園	生クリーム	千葉県 他	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	岩手県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
10月15日	学校給食センター	本シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		柿	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		生シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
10月16日	あきる野こどもの家	豚ばら肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		生ナメコ	長野県	不検出	10	不検出	10
		ブドウ(甲斐路)	山梨県	不検出	10	不検出	10
10月17日	みどりの園	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
10月18日	くさばな幼稚園	ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		サンマ	北海道	不検出	10	不検出	10
10月22日	すもも木幼稚園	キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		カブ	青森県	不検出	10	不検出	10
		トマト	千葉県	不検出	10	不検出	10
10月23日	瀬音の湯 農産物直売所	小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
10月24日	多摩川幼稚園	柿	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	群馬県	不検出	10	不検出	10
10月24日	多摩川幼稚園	ごはん(おかゆ)	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		豚肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
10月24日	多摩川幼稚園	キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果(ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
10月25日	秋川文化幼稚園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
10月28日	屋城保育園	モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		サトイモ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		生シイタケ	岩手県	不検出	10	不検出	10
10月29日	ほうりんじ幼稚園	カボチャ	北海道	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
10月30日	秋川ファーマーズセンター	サツマイモ	あきる野市小川東	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	キャバツ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		柿	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
10月31日	神明保育園	ブロッコリー	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャバツ	長野県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
11月5日	学校給食センター	牛乳	東京都・千葉県・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キャバツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ミカン	長崎県	不検出	10	不検出	10
11月6日	秋川ファーマーズセンター	リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	白菜	あきる野市引田	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
11月7日	すぎの子保育園	柿	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		キャバツ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
11月12日	増戸保育園	キュウリ	福島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		生シイタケ	群馬県	不検出	10	不検出	10
		キャバツ	北海道	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	新潟県	不検出	10	不検出	10
11月13日	西秋留保育園	サトイモ	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		白菜	東京都	不検出	10	不検出	10
11月14日	学校給食センター	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シブ海	不検出	10	不検出	10
11月15日	草花保育園	牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		柿	奈良県	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	山口県	不検出	10	不検出	10
11月18日	よつぎ第一保育園	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャバツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
11月19日	よつぎ第二保育園	リンゴ	山形県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
11月20日	瀬音の湯 農産物直売所	サツマイモ	あきる野市上代継	不検出	10	不検出	10
		カレイ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		カリン	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		キウイ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		キクイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出限界値	検出結果	検出限界値
11月21日	秋川あすなろ保育園	柿	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		大根(葉)	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	長野県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	長野県	不検出	10	不検出	10
11月22日	誠和保育園	牛乳	宮城県	不検出	10	不検出	10
		柿	新潟県	不検出	10	不検出	10
		ミカン	熊本県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	長野県	不検出	10	不検出	10
11月25日	東秋留保育園	ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	茨城県	不検出	10	不検出	10
11月26日	五日市保育園	牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		豚肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
11月27日	秋川ファーマーズセンター	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市平沢	不検出	10	不検出	10
12月3日	学校給食センター	白菜	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市五日市	不検出	10	不検出	10
		生シイタケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
12月4日	秋川ファーマーズセンター	長ネギ	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	青森県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	カブ	あきる野市秋川	不検出	10	不検出	10
		柚子	あきる野市小川	不検出	10	不検出	10
12月5日	秋川文化幼稚園	キャベツ	あきる野市入野	不検出	10	不検出	10
		葉大根	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
12月6日	くさばな幼稚園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
12月9日	学校給食センター	ミカン	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
		ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		万能ネギ	高知県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
12月10日	多摩川幼稚園	人参	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		水菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
12月11日	秋川ファーマーズセンター	ブロッコリー	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		赤大根	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	聖護院大根	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
		白菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
12月12日	ずもも木幼稚園	大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		米(おかゆ)	埼玉県・北海道	不検出	10	不検出	10
		鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
12月17日	光明第六保育園	シイタケ	秋田県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		ミカン	和歌山県	不検出	10	不検出	10
		人参	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
12月18日	瀬音の湯 農産物直売所	赤皮カボチャ	あきる野市養沢	不検出	10	不検出	10
		白菜	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
		大根	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
12月19日	みどりの園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
12月20日	あきる野こどもの家	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・千葉県・埼玉県 他	不検出	10	不検出	10
12月24日	神明保育園	豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
12月25日	屋城保育園	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豚もも肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
12月26日	すぎの子保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		レタス	香川県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
1月7日	よつぎ第一保育園	キュウリ	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		バナナ	フィリピン	不検出	10	不検出	10
		ワカメ	徳島県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
1月8日	西秋留保育園	シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		マイタケ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		ごはん	岩手県	不検出	10	不検出	10
1月9日	草花保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	群馬県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
1月10日	学校給食センター	チンゲンサイ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
1月14日	東秋留保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		チンゲンサイ	茨城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
1月15日	秋川ファーマーズセンター	ブロッコリー	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	白菜	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
1月16日	よつぎ第二保育園	鶏ひき肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		白菜	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		トマト	群馬県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
1月17日	学校給食センター	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚赤身ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		甘塩鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
		イカ	南太平洋	不検出	10	不検出	10
1月21日	五日市保育園	豆腐	(大豆) カナダ・アメリカ	不検出	10	不検出	10
		カボチャ	メキシコ	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
1月22日	瀬音の湯 農産物直売所	ジャガイモ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		八頭(サトイモ)	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
1月23日	誠和保育園	イチゴ	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ナメコ	新潟県	不検出	10	不検出	10
		レタス	静岡県	不検出	10	不検出	10
		米	宮城県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
1月24日	増戸保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	栃木県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		胚芽精米	長野県	不検出	10	不検出	10
1月27日	秋川あすなろ保育園	大根	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		ミカン	あきる野市原小宮	不検出	10	不検出	10
		カレイ	アメリカ	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		白菜	群馬県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
1月28日	多摩川幼稚園	豚肉	群馬県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		シイタケ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
1月29日	秋川ファーマーズセンター	チンゲンサイ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
	秋川ファーマーズセンター	ホウレンソウ	あきる野市秋留	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	サツマイモ	あきる野市深沢	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	小松菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
1月30日	くさばな幼稚園	鮭	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		白菜	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
1月31日	すもも木幼稚園	伊予柑	愛媛県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
2月3日	学校給食センター	米(ごはん)	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サワラ	東シナ海	不検出	10	不検出	10
2月6日	すぎの子保育園	牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		フロッコリー	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
2月7日	神明保育園	レタス	静岡県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	青森県	不検出	10	不検出	10
		カブ	東京都	不検出	10	不検出	10
		豚肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県 他	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
2月10日	学校給食センター	鶏もも小間肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		豚もも小間肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		清見オレンジ	和歌山県	不検出	10	不検出	10
2月12日	秋川ファーマーズセンター	サバ	ノルウェー	不検出	10	不検出	10
		春菊	あきる野市野辺	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	ホウレンソウ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市留原	不検出	10	不検出	10
2月13日	屋城保育園	のらぼう菜	あきる野市網代	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サヤエンドウ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		フロッコリー	群馬県	不検出	10	不検出	10
2月14日	東秋留保育園	鶏肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	長崎県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
2月17日	秋川あすなろ保育園	ピーマン	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		白菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
2月18日	草花保育園	カボチャ	メキシコ	不検出	10	不検出	10
		リンゴ	長野県	不検出	10	不検出	10
		カブ	東京都	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		ヨーグルト	北海道	不検出	10	不検出	10
		チーズ	兵庫県	不検出	10	不検出	10
2月19日	秋川ファーマーズセンター	キャベツ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		人参	埼玉県	不検出	10	不検出	10
	五日市ファーマーズセンター	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市牛沼	不検出	10	不検出	10
2月20日	よつぎ第一保育園	赤大根	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
		京菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		白菜	長崎県	不検出	10	不検出	10
2月21日	よつぎ第二保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		万能ネギ	福岡県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		バナナ	フィリピン	不検出	10	不検出	10
		鶏肉	宮崎県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	高知県	不検出	10	不検出	10
2月25日	西秋留保育園	長ネギ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
2月26日	誠和保育園	ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		大根	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
		伊予柑	愛媛県	不検出	10	不検出	10
2月27日	増戸保育園	サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		白菜	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		鶏ひき肉	鳥取県	不検出	10	不検出	10
2月28日	五日市保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
2月28日	五日市保育園	牛乳	栃木県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
2月28日	五日市保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		牛乳	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
3月3日	多摩川幼稚園	鶏肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		白菜	兵庫県	不検出	10	不検出	10
		人参	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
3月4日	学校給食センター	ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
3月6日	くさばな幼稚園	鮭	北海道	不検出	10	不検出	10
		ブリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ニラ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
3月7日	秋川文化幼稚園	エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	東京都	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	福島県	不検出	10	不検出	10
3月10日	学校給食センター	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ミニトマト	静岡県	不検出	10	不検出	10
3月11日	すもも木幼稚園	チンゲンサイ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		大根	千葉県	不検出	10	不検出	10
		セロリ	静岡県	不検出	10	不検出	10
		ハッサク	愛媛県	不検出	10	不検出	10
3月12日	秋川ファーマーズセンター 五日市ファーマーズセンター	牛乳	栃木県・東京都	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
3月14日	五日市わかば保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		米(おかゆ)	北海道・埼玉県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市雨間	不検出	10	不検出	10
		オータムボエム	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
3月17日	光明第六保育園	ホウレンソウ	あきる野市伊奈	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	あきる野市山田	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	茨城県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
3月18日	あきる野こどもの家	シメジ	長野県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		サツマイモ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		生クリーム	北海道	不検出	10	12	10
3月19日	瀬音の湯 農産物直売所	人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	神奈川県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		大根	神奈川県	不検出	10	不検出	10
3月20日	みどりの園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		ゴボウ	青森県	不検出	10	不検出	10
		エノキダケ	長野県	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月25日	秋川ファーマーズセンター	カボチャ	ニュージーランド	不検出	10	不検出	10
		長ネギ	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市乙津	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市戸倉	不検出	10	不検出	10
3月26日	屋城保育園	イワシ	千葉県	不検出	10	不検出	10
		鶏もも肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		レンコン	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	東京都	不検出	10	不検出	10
3月26日	屋城保育園	ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		ブロッコリー	愛知県	不検出	10	不検出	10
		ホウレンソウ	あきる野市草花	不検出	10	不検出	10
		小松菜	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
3月26日	屋城保育園	赤カブ	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		のらぼう菜	あきる野市二宮	不検出	10	不検出	10
		豚レバー	青森県	不検出	10	不検出	10
		小松菜	茨城県	不検出	10	不検出	10
3月26日	屋城保育園	麦茶	茨城県	不検出	10	不検出	10
		ピーマン	宮崎県	不検出	10	不検出	10
3月26日	屋城保育園	玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10

検査日	対象施設	試料名	産地	測定結果 (ベクレル/kg)			
				セシウム134		セシウム137	
				検出結果	検出 限界値	検出結果	検出 限界値
3月27日	すぎの子保育園	ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		人参	徳島県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		キュウリ	千葉県	不検出	10	不検出	10
3月28日	神明保育園	牛乳	東京都	不検出	10	不検出	10
		麦茶	福井県	不検出	10	不検出	10
		牛乳	栃木県・埼玉県・群馬県 他	不検出	10	不検出	10
		鶏むね肉	岩手県	不検出	10	不検出	10
		人参	岩手県	不検出	10	不検出	10
3月31日	東秋留保育園	キャベツ	愛知県	不検出	10	不検出	10
		豚ひき肉	青森県	不検出	10	不検出	10
		玉ネギ	北海道	不検出	10	不検出	10
		人参	千葉県	不検出	10	不検出	10
		ジャガイモ	鹿児島県	不検出	10	不検出	10
		モヤシ	栃木県	不検出	10	不検出	10
キュウリ	茨城県	不検出	10	不検出	10		

平成25年度 あきる野市環境白書

平成26年10月



発行：あきる野市

〒197-0814 あきる野市二宮350番地

電話 042-558-1111 (代)

<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>

編集 あきる野市環境経済部環境政策課
